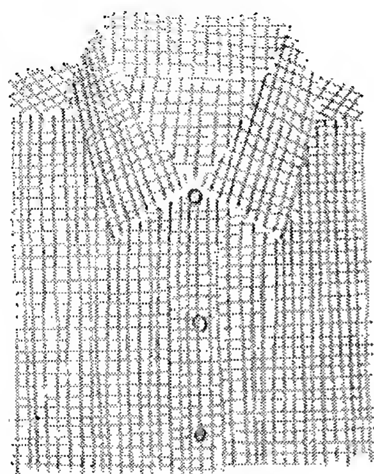
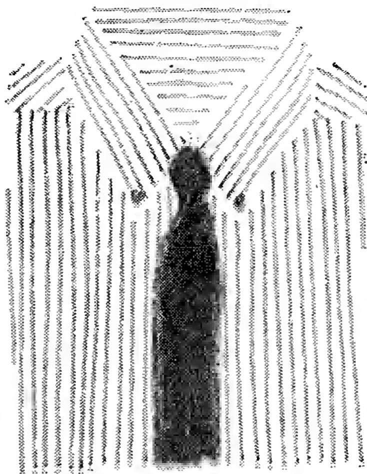
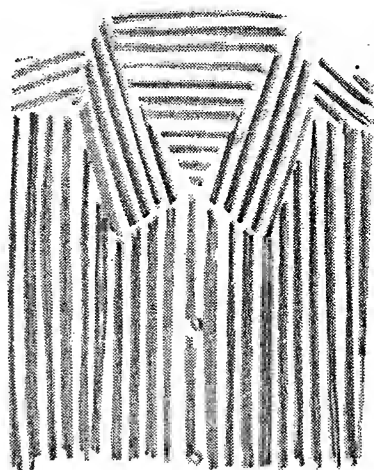
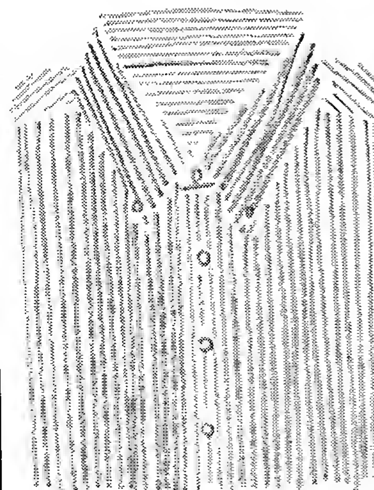
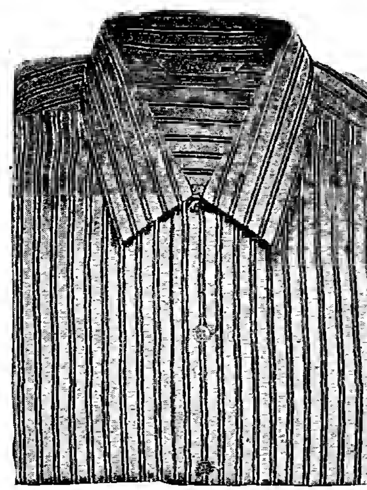
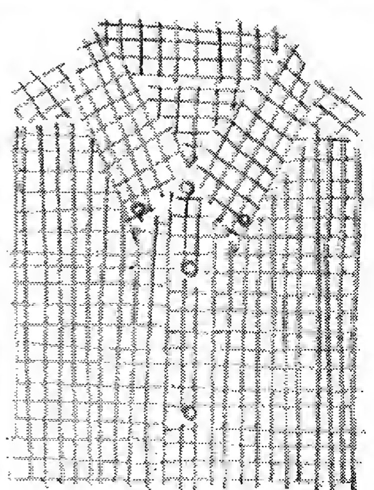







巻頭言

私の念願

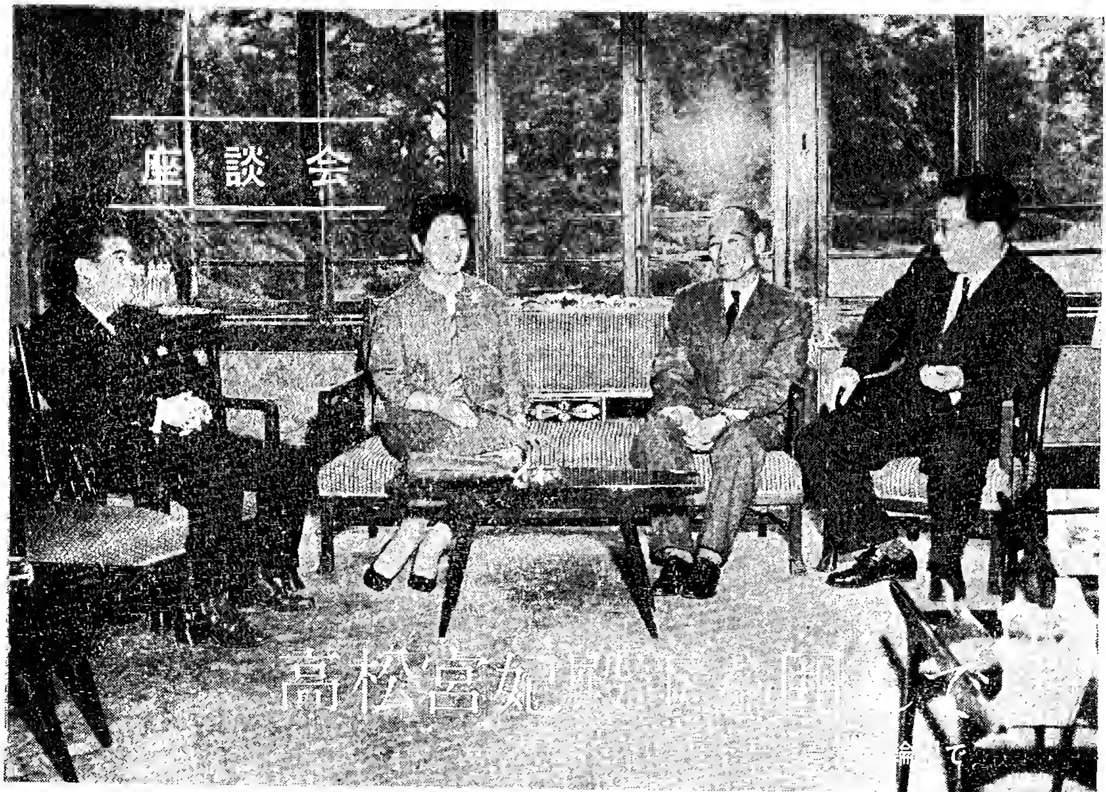
日本ハンドボール協会会長　式場隆三郎

私が日本ハンドボール協会長に就任してからもう十六年になる。日本体育協会の会長のなかでは、もっとも古い方であろう。現在全日本ハンドボール選手権大会のときに出している古ぼけた優勝旗は、私が就任後まもなく寄贈したものである。あれには日本送球協会と書いてある。協会の創立以来、ハンドボールを送球とよんでいたのだったが、私がハンドボールと改めた。そして会のマークもドイツ文字のhに変えてこれが現在のものになったのである。私は一九二八年ごろからドイツに留学していたが、ハンドボール競技は知らなかった。そこで会長になってから勉強をはじめた。私は技術的のことはよく知らないが、協会の組織をかためたり、普及することに努力してきた。あのころまだ普及度の低くかった日本ハンドボール界には、いろいろな障害があった。派閥も複雑で融和を欠き、みにくい争いもみられた。会議の おりなどは、議論のための議論ともおもえるものが激しく、まとめることができなくて深夜におよんだり、夜を徹する場合さえあった。私はいやけがさして、会長をやめようと決心したこともしばしばあった。しかし、やがて協会も成長し、人の和もできて組織も固まった。ことにドイツの選手団を招いて、各地で国際競技大会を開いたころからはめだって向上した。国体における地位も確保されたし、各種の大会は年々りっぱになった。それがルーマニアの選手団を招いたことがさらに大きな刺激なって成長をみせた。ついに昨年の世界選手権大会の参加と、ヨーロッパ各地、イスラエルや韓国への遠征によって自信を深める機会に恵まれた。東京オリンピックの種目からはずされたのは唯一の不幸ではあるが、これはやがて補えるよろこびをもたらすことができよう。

こうしてわがハンドボール協会の地位は世界的のレベルに達し、国内での一般の認識も深められてきた。この上はさらに組織を強化し、技術の向上につとめたい。そして日本で世界選手権大会を開く実力をつくりあげたいものだ。いまや人の和はじゅうぶんできたし、技術においても飛躍的な成長がみられつつある。私の念願は国内におけるハンドボールの一層の普及と向上をはかるとともに、東洋の各国にひろめ、やがてアジア大会への参加を実現させたい。そのためには東洋各国との交流をさかんにし、アメリカにもよびかけてみたい。もしアメリカがハンドボールをはじめたら世界のハンドボール界も一段と向上し、南米もさかんになるにちがいない。そしてイギリスも動いてくるだろう。ソ連のハンドボールも相当高いレベルだときいているので、ここ数年のうちにこの競技が文字通り世界中にひろがると思う。そしたらオリンピック種目に入ることは、問題でなくなるであろう。わが国がこの世界的の大きな飛躍に一役を買ってでるべき時がきたと思う。そしてこれはまた、ヨーロッパの国々でも望んでいるところであろう。昨年の遠征で日本の実力を理解したヨーロッパでは、東洋での日本の大きな活動を期待しているようだ。われわれはさらに自信をかため、大きな理想にむかって着々と歩をすすめねばならぬ。

ことしは年来の希望である強大な後援と普及、向上のための全国的な新しい組織をつくる機運もでてきたので、その結成に努力したい。幸に有力な人たちの深い理解と協力が得られることになり、希望にみちている。私は十五年間の経験を生かして、わが協会の大きな発展に全力をそそぐ決心でいる。全国の同志とかたく手をにぎって成果をあげたい。一層の協力と支援を願ってやまない。

「第九号目次」



最初はなんとなく（妃殿下）

鶯尾　妃殿下はハンドボールをよくご覧になりますが、どういう動機から興味をお持ちになつたのですか。まずそれから。

妃殿下　それがなんとなく引っぱり出されたんですよ。ほんとうの話が……。最初は二十三、四年ごろだと記憶しています。なんでも高校の選手を育成しようというのが協会の考えのようでした。だからもう十三年になりますね。

渡辺　もう十三年にもなりますかね。そのとき協会が高松宮さまからカップをいただいたんですね。あのときは駒沢は砂ぼこりがひどく、お気の毒に思いました。それは大変なものでした。それからですよ。妃殿下とハンドボールの関係は……。

鶯尾　そうすると毎年インターハイにはお出かけになるのですね。

妃殿下　毎年ですね。とても暑いんですよ。涼しいときにできないものかと思うことがあります。（笑う）

三浦　高校生の夏休みを利用するんですから、ハンドボールのことを思ってがまんしていただきたいものですね。

鶯尾　最初にハンドボール競技の説明されたのはどなただったですか。

妃殿下　協会の高嶋さんでしたね。

渡辺　いまになってみると高嶋さんだった。

鶯尾　ハンドボールをご覧になって、おもしろいと思われますか。

妃殿下　このごろはなかなかおもしろいですよ。手に汗を握ることもあります。ハンドボールがわかってきたからでしょう。初めのうちはなんだかフワフワしておもしろくなかった。ハンドボールの人には悪いけれど。

三浦　初めはお義理で見ていらっしゃったんぢゃないですか。（笑い）

鶯尾　ハンドボールのどういうところがいいと思いますか。

三浦　室内の方がよろしいでしょう。

妃殿下　そうですね。室内の方がいいと思います。やはりじょうずな強いチームの試合はおもしろいですよ。たとえば芝浦工大とか大崎電気のような……。

三浦　渡辺　これはお義理だ。（笑い）

鶯尾　男子と女子とではどちらがおもしろいでしょうね?。

妃殿下　どちらともいえませが、やはりどちらかというと動きがきびきびしている男子の方がおもしろいですね。でも最近は女子もたくましくなったので、よいゲームを見せますよ。

鶯尾　高嶋さんの話ではチエコやルーマニアの選手と比較しても見劣りしない選手がいます。愛知紡の磯部選手などはりっぱ

出席者

高松宮妃殿下
渡辺和美（大崎電気社長）
三浦元秀（芝浦工大教授）
鶯尾武治（共同通信記者）

なものです。もっと図抜けてデカイ選手もいますが……。

妃殿下　背の高いのは有利なんですか。

渡辺　やはり有利です。なんといっても動きの早いことがいちばん有利だし、からだが大きいということも有利です。バスケットボールの選手みたいな大きい選手がいて、それが立っているだけで攻撃をはばまれることがあるんです。上からシュートしたのでは、すぐ防がれてしまいます。だから上からのシュートしないで下から行けといったものですよ。

鷲尾　妃殿下はインターハイだけでなく東京で開く大会には必ずお見えになるんですか。

妃殿下　大体全部見ています。

渡辺　芝浦工大が全日体大に6点差をつけられ、これをみごと逆転したとき、両殿下お出でになりましたね。

三浦　そうですね。

妃殿下が観戦歴で先輩　ハンドボールにとりつかれた男（渡辺）

鷲尾　（渡辺氏に）あなたはハンドボールに首を突っ込んでから何年になるのかな。

渡辺　静岡国体の前年だったかな。清水市で開かれた全日本総合選手権大会が最初です。それがハンドボールの〝ハ〟の字を始めたきっかけですね。

鷲尾　ここで「ハンドボールにとりつかれた男」登場というわけですね（笑い）。そうすると渡辺さんの球歴（?）はどのくらい。

渡辺　私のは球歴じゃなくて観戦歴ですよ（笑い）。七、八年ぐらいかな。

鷲尾　それでは妃殿下の方が大先輩ということになりますね。

妃殿下　そうですよ。

渡辺　そのとおり。

三浦　渡辺さんはほんとうにハンドボールをやったことないんですか。

渡辺　やりたいと思っているんです。ゴールキーパーぐらい（笑い）。

三浦　ますますりっぱな「とりつかれた男」だ（爆笑）。

鷲尾　三浦先生はどういう動機でチームをおつくりになったんですか。別に動機はないといっておられますが……。

三浦　そうですね。最初野球、バスケットボールを始めたんですが、あまり気乗りしなかったのです。そこへ高嶋さんが芝浦工大の面倒をみることになったのです。たしか二十四年ごろだったと思います。高嶋さんといろいろ話をしているうちにやってみようという気になりました。というのは六大学と肩を並べてやれるスポーツという目標があったからです。しかしここまでくるとは全く思わなかった。

妃殿下　芝浦工大はほんとうにりっぱですね。三浦先生、高嶋さんの努力ですね。

三浦　スポーツをなぜやらせるかというと、発想は決して宣伝になるからではない。選手にはあくまで強い健康と根性をつくらせるのが第一です。競技の方法や技術は第二としています。選手は十二部、六百人いますが、根性とファイトと粘りと熱意の四つを要求しているんです。

渡辺　全く頭が下がります。このファイトなら公式戦47連勝、四大タイトル獲得は当然のことです。

妃殿下の影響が強い

妃殿下　そうすると、ここには「ハンドボールにとりつかれた男」が勢ぞろいしたことになりますね。

鷲尾　私は商売ですから別です。渡辺さんは「仕事の方にもつかれ」なければならないので大変でしょうね。

渡辺　私の場合「ハンドボールにとりつかれた男」になったのは、大いに妃殿下の影響力があったわけです。これは非常に珍らしいケースだと思います。大会期間はほとんどグラウンドにいます。昨年夏の倉敷の全日本総合選手権は、向こうへ行ったきりでした。

三浦　仕事の方はどうするんですか。

渡辺　新聞記者の方から「仕事の方は重役諸公に全部まかせて、ハンドボールばかり見ている」とよく言われるんです。

妃殿下　その記事はハンドボールの機関誌に書いてありました。あれは全部ほんとうのことです。非常に正確でした。（鷲尾氏の方を向いて）あなたがお書きになったんでしょう。



実業団男子決勝から

鷲尾　犯人は私です（笑い）。

三浦　そういえば「ハンドボールにとりつかれた妃殿下」というのを、最初に飾っていただければよかったですね。

妃殿下　それ、なんのこと？

渡辺　ハンドボールの機関誌に、私のようなことを掲載することですよ。

鷲尾　私なんか気違いの類かもしれませんね（笑い）。私は終戦後のある冬でしたか。日本ハンドボール協会と運動記者クラブの懇親試合で始めてハンドボールを知ったのです。当時は協会がビールとサツマイモを準備してくれました。食糧難の時代でしたから、このビール、サツマイモにつられてみな集まったものです。そのとき高嶋さんとの出合ったのです。これがそもそものきっかけということですね。

妃殿下　（鷲尾氏の方を向いて）でもあなたなんかは、お仕事の性格上ハンドボールばかり見るわけではないでしょう。

鷲尾　多角経営です。いま大阪にいますが、全日本大会はできるだけ見るようにしています。

渡辺　彼はプロでは相撲、アマチュアではハンドボールが担当ですが、相撲をほったらかしにして、その方にとりつかれていますよ（笑い）。

鷲尾　そんなこともないけれど（笑い）

義宮さまにも……

妃殿下　義宮さまはいまバスケットボー

ルに非常に興味をお持ちになつていらっしゃるのです。ハンドボールのことを申し上げると、いちどぜひ見たいとおっしゃっていました。そのうちお誘いしたいと思っているのですが……。

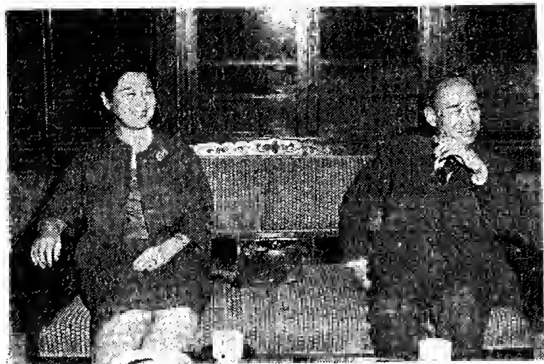
三浦―渡辺　それはうれしいことです。ことしの全日本学生選手権が仙台でありますす。決勝戦をご観戦いただけるようお誘い申し上げてください。

妃殿下　義宮さまにお話しておきます。

竹野、田口はすばらしい

鷲尾　妃殿下の観戦歴のなかで、印象に残った選手といいますと……。

妃殿下　ありますね。昨年十二月の全日本室内総合選手権の決勝で活躍した大崎電気の竹野選手。すばらしくよくやったと思います。それから二月の全日本実業団選手権のときの田口選手です。この人もすごく活躍しましたものね。



高松妃宮殿下と三浦芝浦工大部長

渡辺　実にいい選手です。彼はヨーロッパに遠征してからずっと伸びました。精神的にも……。

妃殿下　やはりどのスポーツでもそんなものではないでしょうか。精神的に伸びなければ、ほんとうにいい選手にはなれないでしょう。

三浦　田口はうちの卒業生です。

妃殿下　芝浦工大ですか。そうでしょうね。

鷲尾　妃殿下におうかがいしますか。11人制と7人制とでは、ごらんになってどちらがおもしろいと思いますか。

妃殿下　そこまではっきり見ておりません。

鷲尾　どちらがスピードがあると思いますか。

妃殿下　一緒に考えてみたことがありませんのでよくわかりませんね。

渡辺　私は11人制でも、もう少し距離を短かくしてもいいと思うんです。真ん中をとって……。

鷲尾　要するに中盤のゲームがないからです。

三浦　私もそう思います。

妃殿下　グラウンドの広さはインターナショナルでしよう。

三浦　インターナショナルです。ヨーロッパはその最大をとっています。日本は真ん中を採用しています。日本は百メートル。ヨーロッパは百十メートルで、高校は九十メートルをとっています。やはり十メートルの差でもずい分感覚が違ってきますね。

妃殿下　ああそうですか。

ことしも地方へ

鷲尾　ことしのインターハイは小倉市ですね。

渡辺　七月二十九日です。

鷲尾　妃殿下はご出席になるご予定ですか。

渡辺　行っていただく予定です。

妃殿下　もう決まっているんですか。

三浦　インターハイの前に仙台でインターカレッジがあります。これにもご出席していただかないと……。

渡辺　いそがしいスケジュールになりそうだ。

(芝浦 大崎)はライバル　他のチームよ!!強くなれ

鷲尾　三浦先生は学生NO・1、渡辺さんは実業団NO・1のチームを引きいているわけですが、当分は好敵手なしとみてこの両チームで決勝を争うことになりますね。

三浦　そういう傾向はハンドボールの発展からいうと好ましくないですがね。

渡辺　女子も愛知紡の常勝ではおもしろくないんです。どうしてもうちががんばらなければならない。

三浦　大学の場合でも、日体大がひところの強さを失なってから芝浦工大が圧倒的に強い。これらは他のチームが、もっと強くならなければ次第におもしろ味がなくなってきますよ。

鷲尾　そういう点から早大、慶大、明大、教大、日体大の名門校が強くならなければいけない。ハンドボールの発展は学生チームがもっと強くなることです。

渡辺　こんどはどこが優勝するだろう。どのチームがどのへんまで行くだろうということに興味を呼ぶのが、スポーツのおもしろさですから……。

三浦　うちはことしあたりがヤマでしょう。そんな気がします。

渡辺　いや、芝浦工大はまだ強い。三十五年四月に芝浦工大から宮原（俊）、宮原（藤）が入社したとき、〃もうしめた〃と思ったんです。ところがなかなかどうして、全日本総合でも最初のうちはまずいプレーをしているんだ。だからこれはいけると思っていると、うちとやるときはベストコンディションになってかかってくる。実におもしろいチームですよ、芝浦工大は（笑い）。昨年の倉敷の全日本総合のときがいい例です。

鷲尾　最初は大崎がリードし、これなら大崎が勝つと思いましたよ。

三浦　私は別になんとも感じませんでした。

渡辺　あのときの芝浦工大は全く非の打ちどころがなかった。うちはそういう風にベストコンディションにはいれないという弱味がありますね。

鷲尾　（三浦先生に）本部席で高嶋さんと渡辺さんが隣合わせにすわっているんです。黙って二人の顔を見ると真剣そのものでした。冷やかすわけにも行きませんものね（爆笑）。

三浦　そうでしたか。

鷲尾　ある人はこんなことをいっていました。芝浦工大はいまが全盛期というが、三十七年度のチームは三十六年度よりも強いというんです。どういうことかときいてみたら、中心勢力が同じ学年になり遠慮がなくなるからです。三十六年度はキャップテンの勝倉君、副将の佐藤君に遠慮していたように見えました。ことしはそれがないんです。このことは実に大崎電気のある選手にきいたことです。ことしは大崎電気はよほどがっちりスクラムを組まないと、フィ

ルードで三連敗しますよ。

渡辺　三十八年は大丈夫だろう。

鷲尾　大丈夫かもしれません。

三浦　うちも大いにがんばりますよ。

妃殿下 大崎電気は強い

鷲尾　全日本実業団選手権の男子決勝戦大崎電気対住友化学菊本の試合をテレビで見た人たちが、みんながっかりしていましたよ。「問題にならないって!!」

妃殿下　大崎電気の試合は実にあざやかでしたよ。テレビを見た人たちがおもしろくないといったそうですが、私はおもしろかったと思っています。

三浦　現場で観戦した方がおもしろいですよ。やはり立体感があり、動きそのものにおもしろさがあるんです。

渡辺　スポーツはやはり現場で見るに限りますよ。テレビではふん囲気が味わえませんからね。

三浦　この決勝戦は始めからわかっていた試合です。大崎電気の完勝は順当です。それにしても実力差がありすぎた。

妃殿下　大崎電気は強い。自衛隊チームが出ていましたね。

渡辺　そうです。自衛隊から四チーム出ました。二、三年したらかなり強くなりますね。三浦先生のチームとは勝ったり負けたりするんですが、先生の口にはいつも負けている。実にうまいんだ。自分の方が押し気味のときでも「きょうは負けたよ、やはり大崎のものだ」とかいいながら、勝ちをさらっていくんですからね（笑い）。なんといっても芝浦工大の方が上なんだから、仕方がありませんね（笑い）。

三浦　いやいや。そんなことはない。やはり大崎電気は強いですよ。

胴上げは監督を

渡辺　昨年十二月の全日本総合室内でうちが優勝した試合はおもしろかった。

妃殿下　渡辺さんはあのとき〝もうダメだ〟なんていってらっしゃいましたのにね……（笑い）。

三浦　タイムアップ2分前まで9—7でうちがリードしていたんですよ。

鷲尾　球史に残る好ゲームだった。渡辺さんは胴上げされましたね。もし落ちてけがでもしなければいいがなと人ごとながら心配していました。

渡辺　いや。あの胴上げは特製なんです。ちゃんとつかんでくれているんだから大丈夫なんですよ（大笑）。足を握っていてくれて、からだの真ん中だけを突き上げていたんだから……。

鷲尾　三浦先生も全日本総合で芝浦工大が優勝したとき、胴上げされましたね。

三浦　胴上げは監督をやるもので、部長をやるもんぢゃないといったんですが、選手たちはきかないんですよ。

毎年ふやす女子チーム

妃殿下　いま女子は何チームあるの。

渡辺　愛知紡、熊本大洋デパート、レナウン工業本社、大崎電気、それに四月になるとレナウン工業大阪。レナウン工業立川（東京）が誕生します。四月以降は六チームです。

鷲尾　大阪の丸紅飯田には男子チームがあり、女子職員にはファンが多い。それに寝屋川高校（女子）出身者が三人ばかりいるというので、ここに女子チーム誕生のチャンスもあります。

渡辺　それはいいことをきいた。毎年一チームづつふやしていけば、十年後には十チームふえます。ことに女子は比較的はいりやすいので、実業団で大いにやってみようという子も出てくるかもしれません。日紡貝塚のバレーボールチームには二十七、八歳という人もいるようですが、これは考えなければならない問題だと思います。

妃殿下　そうですか。



渡辺大崎電気社長

鷲尾　河西という選手です。たしか山梨県の都留高の出身です。

三浦　女子の場合、最終的にはちゃんとした生活にはいらなければなりませんね。バレーボールで一生ということはできないんですから。そこは考えてやらなければ……。二十三、四歳ぐらいまでやるとして、五年ぐらい社会人としてやれるんですからね。

大崎電気の誕生まで

鷲尾　渡辺さんがチームづくりのハラを決めたのはいつごろですか。

渡辺　清水市でハンドボールを見てからというものは、おもしろいスポーツだと感心した。それからですよ。そこで協会の高嶋さんを知ったのがきっかけ。チームをつくったのは三十五年四月です。

鷲尾　そこで芝浦工大から優秀な選手をいただいたというわけですね。

渡辺　そうでもないんですよ。あの当時は就職難で、そんなにこちらの思うようにはいきませんでした。

鷲尾　ハンドボールは始めからおもしろかったと思いましたか。

渡辺　いまは「ハンドボールにとりつかれた男」でも、そのころはダメでした（笑い）。以後妃殿下のお供をして見に行く機会が多くなり、それからだんだんおもしろくなってきましたね。

三浦　わたしも見ているうちにおもしろくなりました。

渡辺　チームづくりの直接の原因は村上、宮原（俊）、宮原（藤）、高井、今野の五人が入社したからです。五人いればなんとかいけると思っていたところ、竹野君と東君とを見てこれをマークしたんです。東君（現在大阪三国丘高勤務）は故郷へ帰るというのでダメだったが。竹野が来るというので本格的にやり始めたわけです。初めからこんなになるとは思わなかったですよ。

鷲尾　チームをつくってまる二年にならないのに戦えばかならず勝つ。これはおもしろいというので、だんだん補強したわけですね。

渡辺　まあそうですね。ことし予定していた補強がダメになった。

鷲尾　大崎は芝浦工大にインドアで2勝し、フィールドで2敗していますね。

三浦　そうです。

渡辺　その弱点をなくすことが、こんごの課題と思っています。

一試合六千メートル走る

妃殿下　選手たちは始終あのように走る運動をしているんですか。あれだけ走るのは大変なことですね。三十分間始めから終わりまでですものね。

渡辺　うちでは相手チームによっては控えの選手を出して主力選手に息を抜かせるということもやります。しかし芝浦工大との試合では、芝浦が控えの選手を出しませんので、こっちも七人が始めから終わりまで走りまくるわけです。

妃殿下　前後半を通じて一時間半にどのくらい走るのですか。

三浦　選手の話によると、優秀な選手になるとフイールドの場合は六千メートルから七千メートル走ります。しかもあれだけのスピードで走っているんですよ。

鷲尾　全日本実業団のとき、自衛隊朝霞の西山逸成さんにきいたのですが、自衛隊の選手は一時間に一万メートル前後走るそうです。

妃殿下　それは大変ですね。

鷲尾　この前、日体大の荒川先生におききしたんですが、やはり六千メートルから七千メートルとのことです。荒川先生は技術面の第一人者ですから、この数字は標準でしょう。

妃殿下　ポジションによって、走る人とあまり走らない人があるわけですね。インドアの方が楽かしら？

三浦　インドアの方がきつい。休むひまがないほど、速攻の応しゅうですからね。見る方も急がしいものです。

渡辺　フィールドの場合は、FWが攻めているときはバックスの四人は遊んでいます。FWの五人ないし六人は走っている。室内の場合は全員動き回ります。もっともフィールドの方は走る距離が長い。いつか高松宮さまが「真ん中はいらないのではないか」とおっしゃったことがありますよ（笑い）。

鷲尾　初めてハンドボールを見る人は高松宮さまと同じことをいいます。ハンドボールが一般大衆に受けないのは、さきほども言ったように中盤のゲームがないからでしょう。サッカーの名選手だった早大OBの岩谷君（毎日新聞記者）も「中盤のゲームがないから伸び悩んでいる。いっそのこと七人制に切り替えたらいい」と言っておりました。



鷲尾記者

遅攻より速攻を

妃殿下　ハンドボールはやはりスピードがあった方がいいですね。

三浦　速攻の連続でないとおもしろくありませんね。スポーツはなんでもスピードがないと、見ていてもおもしろくない。

鷲尾　私はいちばんおもしろいのはアイスホッケー、その次が室内ハンドボール、バスケットボールです。いずれもスピードを要求しているからです。

渡辺　うちの選手は芝浦工大出身が多いので、最初から攻めて攻めて攻めまくれと言ってあるんです。第一回の全日本実業団（広島で開催）で三菱レイヨン大竹工場との試合では、勝つには勝ったのですが、三菱レイヨンはボールをとるとドリブルばかりやっているんです。十分ボールを持っていて一分しか攻めて来ないのです。そんなことを三十分もやられては、少しもおもしろくないんです。昨年の全日本総合（倉敷）のときもそうでした。

鷲尾　実力に差がありすぎたときは、往々にしてスピード感が欠けた試合になりますね。

三十歳が限度？

妃殿下　ハンドボールは年令的にはいくつぐらいまでやれるのですか。

鷲尾　三十歳ぐらいまででしょう。

三浦　高嶋さんは現役をいつ引退したんでしょうかね。

鷲尾　終戦直後から二、三年は走り回っていました。中学時代は野球の投手をやっていただけあって強肩でした。あの人の好プレーはずいぶん見ました。名古屋の国体を最後にやめたと思います。それまでは現役のバリバリでしたから、昭和二十五年、二十九歳でやめたことになりますね。

三浦　もう限界だということは自分のからでわかるんですか。

鷲尾　高嶋さんの場合は、そうではありません。そのころは自分でプレーし、審判もやり、協会の運営にもたずさわるという一人三役をやっていた。それではとてもからだが持たないというので……。優秀な選手を見つけることはできるが、協会運営の適任者を見つけることはむずかしいというので、プレーを断念したんです。



実業団女子決勝戦から

妃殿下　三十すぎたらダメですか。

渡辺　そんなことはないと思います。

鷲尾　やはり平常からトレーニングをやっていればできるでしょう。

三浦　そうです。

渡辺　うちの竹野はまだ使えるな。

妃殿下　全日本実業団に出場した柏崎市の選手のなかには、三十すぎた人がいたでしょう。

渡辺　いましたね。なかなかりっぱですよ。しかも新しいチームですから……。ただ体力だけに頼るよりは、キャリアがものをいう場合があります。豊富なキャリアはどのスポーツにも共通した貴重な利点といえます。私はスポーツの種目に関係なく、国際選手になるためには十年やらなければならないと思います。

三浦　少しぐらい体力が衰えても、キャ

リアがものをいってリードマンになり得ると思います。

十年で一人前

妃殿下 さきほどの十年のキャリアというのは高校から起算するのですか。

鷲尾 中学からです。ちょうど大学を卒業したとき、十年になる選手なんです。そのためにはいい先生をつくり、中学に送り込まねばなりません。

三浦 ハンドボールの場合、中学からやっているという地方は限られていますね。愛知とか熊本とか。

渡辺 そうです。いまいちばんいいのは愛知、熊本です。だから全日本の優秀選手はこの両県で占めています。

鷲尾 熊本で中学校大会を開くと、県内から大型バスを貸し切ってPTAの人たちが応援にくるそうですよ。

妃殿下 愛知紡が強いのもそのためですね。



高嶋理事長の説明で
ご観戦中の高松宮妃殿下

渡辺 愛知紡はチーム結成当時から名門校出身の選手で固めています。いまでも名門半田高出身が大半で、あとはいずれも名門の栃木女高、水海道二高、稲沢高の優秀選手を有しています。

妃殿下 愛知紡の磯部、沢田両選手はとくに優秀ですね。

鷲尾 この二人は外国へ行ってもりっぱに通用します。

渡辺 それに熊本大洋デパートの西村（八千代）選手もいいですね。

妃殿下 渡辺さんはなかなかくわしいのですね。

三浦 スカウトもやるの？（笑い）。

渡辺 スカウトといっても男子の方は芝浦工大にまかせておけばいいんですから……（笑い）。女子は全国に目をつけなければいけませんから。

大学も同じ（三浦・渡辺）

妃殿下 三浦先生と渡辺さんとは、以前からご存じなんですか。

渡辺 三浦先生は大先輩なのです。早稲田大学理工学部の……。先生は建築、私は電気です。

妃殿下 ああそうですか。だいぶ先輩なのですか。

三浦 息子ぐらいですよ。渡辺さんのお父さんをよく知っているんですから。

渡辺 父が生きていれば六十二歳。

妃殿下 そうですか。

鷲尾 昨年十二月のインドア決勝で芝浦工大が大崎に負けたとき、三浦先生は「大崎電気は兄貴なんだ。兄貴に負けたんだからくよくよするな」と慰めていましたよ。

三浦 大崎電気は芝浦工大の先輩が主軸となって活躍しているんですからね。

渡辺 先生がそんなことを選手に言ったんですか。

三浦 何年前だったかよく覚えていませんが、柔道の三船十段と初めて会ったとき、色紙を書いてくれましてね。それが「天下無私、春また来たる」というんですよ。すべてスポーツにはこの精神が必要だと思いましてね。さっそく選手に教えました。

渡辺 私の方は調法ですよ。三浦先生がそういうふうに教育されたのを、チョイチョイといただいてくるんだから（笑い）。

印象に残る試合
大崎—芝工大戦（妃殿下）

鷲尾 最後に……。妃殿下が長い間ハンドボールの試合をご覧になって、特に印象に残った試合は……。

妃殿下 昨年の全日本総合室内選手権の芝浦工大—大崎電気の決勝戦です。さきほどお話のあったあの胴上げの試合ですね。やはり両チームの実力が伯仲している試合は見ていても力がこもります。

渡辺 いやあ。あのときは残り時間二分で2点差では、もうダメだ、参ったと思いましたね。

鷲尾 妃殿下にはことしも大いにハンドボールを応援していただきたい。長い時間いろいろとありがとうございました。

× × × × × ×

海外通信

× × × × × ×

▽ヨーロッパのスポーツ記者は、ソ連からのニュースおよびソ連チームの戦績に非常に関心をもっている。昨年の世界選手権大会予選でルーマニアにわずか1点差で敗れた。このルーマニアが優勝したのでソ連チームの力はあなどりがたい。

近く行なわれる男子各国チャンピオンチームによるヨーロッパカップのときにソ連チームが行なう試合は新たな進歩をみせてくれるだろう。（注、ヨーロッパカップの最終的な戦績はまだはいってない）。その前にポーランドのコーチであるシガネック氏がソ連へ男子および女子チームを遠征させた。そのときのソ連ハンドボールの状況を紹介しよう。

「ソ連の選手たちは大きな進歩をとげた。いくつかの都市でポーランドの優秀チームと匹敵する強いチームを発見した。ツルヅ・モスコーの女子チームは、ソ連チャンピオンのザルギリス・コウノを破り特に注目をひいた。このほかにもグルジア共和国やウクライナ共和国などに優れたチームがある。ハンドボールはソ連で非常にポピュラーになり、バスケットと張り合っている」。

▽デンマーク協会とスウェーデン協会はそれぞれの国の第一級の選手権大会の試合を相手国の審判員によって行なうことに同意した。これは競技規則の統一をはかるのが目的である。FIH競技委員会のアクセル・アーム氏（デンマーク）がスウェーデンの国内試合の審判を行なった。

▽ヨーロッパカップ戦績準々決勝

▽FAギョッピンゲン（西独） 34—7 OCフレマロワ・リエージュ（ベルギー）（於エスリン）

▽DHFKライプチッヒ（東独） 9—6 ダイナモ・ブカレスト（ルーマニア）（於ライプチッヒ）

▽ダクラ・プラーグ（チェコ） 39—16 WSKスラスク・ワルソー（ポーランド）（於プラハ）

▽AGFアルハス（スウェーデン） 20—16 ノルドストランドIF（ノルウェー）（於オスロ）

ことしのスケジュールから

海外遠征が三つ

女子は世界選手権参加

日本ハンドボール協会は一月の全国評議員会で別項のようなスケジュールを発表した。国内の部は来年一月の招待試合（新潟県柏崎市）が増えただけ。国際関係は派遣4、招待2となり、協会創立いらい初めての最も大がかりなスケジュールとなっている。東京オリンピックの開催種目から除外されたが、これをはね返すようなたくましい前進とみていい。総経費約五千万円、ことしは球界にとって最良の年になりそうだ。海外派遣、招待の内容次のとおり。（鵜尾記）

「海外派遣」

▽第二回世界女子七人制選手権大会

日本が初めて女子チームを参加させる大会である。派遣チームは全日本最強チームにするか、単独チームにするか。協会は「原則として実業団の単独チーム」とはっきりした線を出した。第一候補は愛知紡である。高嶋理事長は「三十六年度の女子の実績からみてまず愛知紡に大会参加を要請する」と言っているから、まず愛知紡となろう。第二候補は大崎電気だ。愛知紡が「単独で参加したい」と言ってみたところで、参加選手団は役員5。選手15なので愛知紡の単独はまず人員、経費から考えて無理なようだ。（昨年同様経費は個人負担となるのではないか。）愛知紡がたとえ15人いたとしても強力なチームとはいえない。こうなると当然補強ということになる。愛知紡に敬意を表して中心となってもらい、大崎電気、熊本大洋デパート、レナウン工業からの優秀選手を補強するようになるのではないか。つまり日本女子実業団の選抜チームとなるわけである。あるいは選抜の対象を高校女子まで広げて文字どおりのピックアップチームということも考えられる。要は愛知紡の出方ひとつである。経費の面をみると実業団チームからの選抜がよさそうだ。愛知紡、大崎電気の二チームが主力となった方がスムーズに行くのではないか。この大会の開催国であるルーマニアは「8チームしか受け入れられぬ」と言っている。8チームによる世界選手権である。ところがその後国際連盟は1チーム増やして9チームにした。いずれにせよ日本は予選に出場しなければならないが、協会としては「日本をアジアの代表として認めてほしい」と国際連盟およびルーマニアに申し入れている。つまり予選なしで大会に出場するわけである。この大会は9チームを三つのブロックに分けて予選を行なうものと思うが、正式な通知はない。ルーマニアに向かう前に西独で練習試合を計画している。

▽男子チームの欧州遠征

昨年の欧州遠征に次いで二度目である。昨年は芝浦工大、大崎電気が主力となり、関学、関大、日体大から補強された。こんどの派遣方法はどうだろうか。選手団20人、このうち役員4－5人、選手団15～16人となっている。欧州遠

速　報

チェコ、来日を断念

日本ハンドボール協会は三月にチェコ女子チームを招待するため、昨年からチェコハンドボール協会に招請状を出したが二月五日電報で「来日できない」むね連絡があった。また2月2日付けの手紙がチェコ協会から日本協会に届き、日本からの招待について感謝するとともに日本遠征中止についてその理由を書いてきた。手紙の内容次のとおり。

××××

拝啓　美しい日本に遠征するようチェコ女子チームにあてられたみなさんの友情に深く感謝いたします。この招待をわれわれはチェコハンドボール協会およびチェコ文化体育協会に対する偉大なる名誉と思っています。

日本から提案された日時が、1962年7月ルーマニアで行なわれる第二回世界選手権大会の準備、練習と重なるので残念に思っています。協会幹部会で討論し、監督最高会議の意見を求めた。この監督最高会議はわが国代表チームのスポーツ上の準備と訓練について責任を持っているものであります。この結果、世界選手権大会が接近している理由から招待をお受けすることができないことに決まりました。世界選手権大会でわれわれのチームはチャンピオンのタイトルを守らねばならないし、その練習に懸命です。どうぞこの事情をご理解願いたいと存じます。

チェコハンドボール協会（在プラハ）

1962年2月2日

日本ハンドボール協会御中

××××

新聞から

◎日本など九カ国参加

▽二月四日朝日新聞掲載〔バーゼル（スイス）二日発AFP〕世界女子室内ハンドボール選手権大会は今年七月八日から八日間ルーマニアで開かれるが、デンマーク、ドイツ、日本、ユーゴ、ポーランド、ソ連、チェコ、ハンガリー、ルーマニアの九カ国が参加すると二日国際ハンドボール連盟で発表した。同連盟の総会で、ドイツは東、西両ドイツで編成したチームでもあるいは東、西間の選抜試合の勝者でも認めることにした。

◎二カ国で予選

▽二月五日読売新聞掲載〔バーゼル（スイス）三日発AFP〕国際ハンドボール連盟技術委員会は三日当地で、きたる七月八日から十五日までルーマニアで開かれる女子世界室内ハンドボール選手権大会の運営について協議した。この大会にルーマニアの組織委は8チームの出場を認めているのに対し欧州八カ国と日本が参加を申し込んでいるので、二カ国による予選試合を行ない8チームにしようということになった。予選出場の二カ国は同技術委で選考されるが、日本側は九カ国中もっとも高い旅費を払ってくるのだから予選に出るのは免除してほしいといっている。

征の行き先はソ連、ルーマニアの二カ国である。この遠征は7人制、11人制の両種目であり、したがって選抜される選手も両種目できるものに限定される。日本では男子は11人制が主体となっているので文句はないが、7人制になると範囲が狭くなる。昨年遠征した選手が当然浮かび上がってくる。芝浦工大、大崎電気の選手がかなり有力である。こうなると竹野(大崎電気)、佐藤(芝浦工大)、宮原(藤)(大崎電気)、福本(大崎電気)、今野(大崎電気)らがかなり有力。昨年の選抜方法について一部から異論が出たが、やはり強いチームから、優秀な選手を選抜するのが常識である。名もないチームの監督がいくら強がりを言ったところでそれは無理というもの。芝浦工大、大崎電気、日体大から主力を集めるのが常識。相手チームはルーマニア、ソ連の最強チームであり、やはり全日本チームも最強チームを編成するのが最大条件である。欧州でのゲーム数は約20ゲーム。

▽男子高校の韓国遠征

夏のインターハイが八月三日に終了するが、それから人選にはいったのでは手続きなどの点でかなり遅れる。高体連としてはインターハイの前に20～40人の候補選手を選んで決定する方針。単独チームでなく広く全国から選抜するが、条件がきびしくなる。それは体力、技術、学業の優秀なプレーヤーで、しかも個人で経費を支出できるもの。この四つの条件がそろっている選手ということになる。韓国からは正式な要請はきていないが、昨年日体大が韓国に遠征したとき、日韓両国関係者の間で約束してある。おそらく日本ハンドボール協会から韓国協会に対して「韓国大学チームの来日、日本高校チームの遠征」の公文書を出すことによって実現される。選手団は役員5、選手15の計20人。遠征は手続きその他の関係で予定より遅れて八月下旬から九月上旬にかかるのではないか。

「外国チーム来日」

▽韓国大学チームの来日

主催は日本ハンドボール協会だが、運営は全日本学生連盟に一任する形。韓国チームは単独の大学チーム、国内で10ゲーム行なう。日本の対戦チームはいずれも大学チーム、主として関東学連、関西学連が対戦するが、地方都市で開催の希望があればこれに応じることになっている。韓国大学チームの実力は昨年日体大が韓国に遠征した経験からそう強くない。極論すれば日本の大学チームが韓国の大学チームから学び得るところはおそらくひとつもないのではないか。しかし学び得るものはないといっても日本は丁重に迎え、日本チームはベストをつくして戦かうことが大切だ。これは国際礼儀である。

▽チェコ女子チームの来日は日本から正式に招待したものだが、二月五日に電報で「訪日できない」と通知があった。

「国内の部」

来年一月柏崎市の招待試合の出場チームは第九回全日本総合室内選手権大会(十二月)のベスト4(男女とも)となっている。同市が招待したのは三十九年の第十九回国体(新潟県が開催地)のハンドボール競技が同市で開催されるためである。ハンドボールのPRのためにこの招待試合がスケジュールに織り込まれた。

昭和37年度スケジュール

▽国内の部

第5回全日本学生選手権大会
(7月22日～26日・仙台)
第13回全日本高等学校選手権大会
(7月29日～8月3日・小倉)
第5回全日本教職員選手権大会(室内)
(8月11日・12日・横浜市立体育館)
第14回全日本総合選手権大会
(8月下旬(19日～23日)・男＝下松・女＝徳山)
第12回全日本学生東西対抗戦
(9月9日または16日・名古屋一ノ宮)
第17回国民体育大会 (10月21日～26日・倉敷)
第6回全日本学生王座決定戦
(11月23日または25日。大阪豊中服部球技場)
第9回全日本総合室内選手権大会
(12月下旬(20日～23日)・東京)
第3回全日本実業団選手権大会(室内)
(2月2・3日または16日・17日・豊橋)
オープン招待試合(室内)
(昭和38年1月5・6日・柏崎)

▽国際の部

(派遣の部)
第2回世界女子7人制選手権大会
(7月8日～15日・ルーマニア・ブカレスト)
男子欧州遠征(7人制、11人制)
(8月～9月・ソ連、ルーマニアなど)
高校男子韓国遠征(11人制)
(7月～8月・韓国)
第9回F・I・H総会
(9月下旬・スペイン・マドリード)
(招待の部)
チエコ女子チーム(7人制)
(3月7日～・東京その他)
韓国大学チーム(11人制)
(11月・東京その他)

× × × ×

第2回西日本学生選手権大会
(4月19日～22日・大阪うつぼ公園の予定)
関西学生春季リーグ
(5月16日～6月3日・西宮市民グランドまたは服部競技場)
関東学生春季リーグ
(5月3日～27日・駒沢グランド)

表紙写真—第8回全日本総合室内選手権大会女子決勝戦から——撮影・的場

ことしの抱負

タイトル目指して

アンケート 1

① ことしの抱負。
② ことし期待される選手のポジションと特徴（中心選手はくわしく）。
③ 得意な攻撃法と弱点。この弱点をどう補強するか。
④ ことし最もマークするチーム。

（注＝高校の学年は四月の新学年としました。◎は主将。）

練習、練習＝タイトル

高校男子

盛岡第一（岩手）

① 昨年まで岩手県高校大会、県民体育大会で13年連続優勝し、昨年はインターハイで3位、国体で2位になった。ことしも記録更新をめざしている。

② 杉田、北田は昨年の国体に出場しており、なによりも心強い。攻撃中心の選手をつくらず、全員がボイトゲッターになるように練習している。欲をいえばサウスポーの千葉、体力に恵まれている杉田、細かいプレーの北田、チャンスメーカーの菊地、GKの佐々木が期待できる。

③ 昨年は上背に恵まれた選手が少ないため、カットイン攻撃が中心だった。ことしはこれに中、長距離シュートを加えた攻撃法を用いたい。

④ みんな強敵。一戦一戦大事にしたい。

監督	千葉	絛助	（盛岡工専出）
GK	佐々木	徹郎	②
FB	外川	房司	③
	橋本	晧	③
HB	中村	世紀	②
	内村	鉄弥	③
	坂下	明喜	②
FW	白井	元	②
	菊池	輝彦◎	③
	千葉	建	③
	杉田	盛彦	②
	北田	武文	②
SuB	川村	英陽	②
	近谷	進	②
	鳴海	喜文	②

仙台第二（宮城）

① インターハイ出場。

② GK熊谷は県下で一、二を争う好選手。サイドからのシュートに対して、やや前に出る欠点はあるが守備は定評がある。

③ 部員の不足でFW、バックスとも経験年数が少ない。得意な攻撃法といえるものはないが、高校で最も必要と思われるパス、キャッチの確実なこと。ことしはバテないように馬力をつけたい。

④ 古川工（宮城）、仙台第一。

監督	高橋	長偉	（東北学院大在学中）
GK	熊谷	明徳	③
FB	加藤	則光	②
	小川	孝	②
HB	高橋	実	③
	阿部	真幸	③
	古谷	多聞	②
FW	南館	忠夫	③
	佐藤	隆信	③
	北村	英武◎	③
	渡辺	勝年	③
	加藤	幸男	③
SuB	石本	義将	

安積高（福島）

① 夏のインターハイでベスト5にはいること。東北大会の決勝で盛岡第一（岩手）を破ること。

② 高橋、山の井の二人。足が早く、百メートルを11秒台で走る。腰が強く、フェイントがうまい。

③ 得意は速、遅攻の使い分けとFWのコンビネーションプレー。弱点は後半の得点力が前半に比べて鈍る。これをなおすためにはスタミナをつけることであり、練習によってこの点を解消したい。

④ 中京商、桜台、盛岡第一。

監督	三浦	賢一	（東北大出）
GK	梅野	三郎	③
FB	横田	稔	③
	佐藤	実	③
HB	菊地	健	③
	矢部	幸一	③
	滝田	康雄	③
FW	前沢	昇	③
	山の井	隆夫	②
	志村	正智	②
	最上	道広	②
	高橋	弘明	②
SuB	柳沼	実	②
	菅野	淳	②

（◎印＝未記入）

墨田川高（東京）

① 実力向上の自信を与え、生活態度の確立。これに勉学を両立させるよう指導する。新入生を期待し、三年先には同一学年で一チームを編成したい。

② CF高田はオールラウンドプレーヤーでリードマン。LW今井はスピードがあり、ロングシューターとして楽しみが持てる。RH佐久間はディフェンス専門のきらいはあるが期待できる。

③ ゴール前のローリング、ポストプレーに特色を出している。しかしこれは各選手が基礎技術を完全にマスターしたときに発揮できるものである。弱点はボール出し、ボールさばき、速攻、攻防のコンビネーションのまずさである。これをなおしたい。またオールラウンドプレーヤーを養うことも重視している。

監督	松本	重雄	（教育大出）
GK	牛込	嘉幸	②
FB	戸田	猛	②
	高島	正夫	②
HB	佐久間	誉	③
	榎本	信幸	②
	高田	正徳◎	③
FW	今井	寿男	③
	今村	哲夫	②
	宇田川	茂一	②
	大和田	恒夫	②
	小池	治男	②
SuB	天野	明芳	②



タイトル目指して激しい攻防――実業団女子決勝から

④ 神代高（東京）

桐生工（群馬）

① 昨年の国体で3位になったので、ことしも好成績をあげたい。〃練習即タイトル〃のスローガンの下に桐工の伝統を守りたい。

② 坂口（学）の脚力、フェイントシュートに大きな期待をかけている。CF大下、GK小芝の活躍が楽しみ。

③ 速攻を得意とし、フェイントを多く使う。弱点はパスワークのまずさ。パス練習に重点を置く。

④ 愛知、東京、九州の代表チーム。

監督	中島　英一	（桐生工高出）
GK	小芝　好弘	②
FB	松永　　清	③
	奈良原勝治	③
HB	平井　　甫	③
	丸山　伸一	②
	丸山　利夫	③
FW	高草木幸夫	②
	坂口　　学	◎③
	大下　三吉	③
	松井　　忠	②
	斎藤　静雄	②
SuB	神永　義男	②
	横田　邦男	②

石岡第一（茨城）

① 昨年のインターハイには県大会で土浦工に敗れて出場できなかった。ことしはぜひ出場したいし自信もある。

② 滑川は左利きでスピードがあり強肩。FW五人のうち三人が左利き。

③ 石毛、滑川を中心としたダブルカットイン攻撃とミドルシュート。弱点はバックが若いことだがこれをFWの得点によってカバーしたい。

④ 土浦第一。

監督	山内　孝雄	（茨城大出）
GK	牛木　昭治	③
FB	鶴野　庄一	②
	大塚　郁夫	②
HB	小松崎邦夫	③
	大槻　雅夫	③
	川上　　博	③
FW	石毛　誠一	③
	古室富士男	③
	小松崎昭夫	③
	藤井　忠幸	③
	滑川　　武	③

中京商（愛知）

① インターハイで四連勝、国体優勝。もしくはこれに恥じぬ戦績を残したい。

② CFの渡辺は小柄だが、高校界では最高の技術を持っている。GKの牧は長足の進歩をとげ、大いに期待の持てる選手。LW升本、RW山田、CH安藤の二人は強肩、FBの末松、近藤の二人はインターハイ、国体出場の経験を持っているので楽しみ。

③ 速攻、とくに中央およびサイドの活用が得意。弱点は守備の甘さ。

④ 桜台、墨田川、清水市商、寝屋川、熊本市商、福岡県のチーム、氷見。

監督	藤松　　博	（名古屋工大出）
GK	牧　　邦弘	③
FB	末松　節夫	③
	近藤　　孝	③
HB	蟹江　将文	②
	安藤　　勘	②
	柳沢　宏明	②
FW	山田　貢機	③
	吉田　博司	②
	渡辺　信義	③
	小島　英男	②
	升本　　晃	③
SuB	平松②、神田②、西尾②	
	森川②、前田②	

（◎印未記入）

ライバルは中京商

桜台高（愛知）

① 最近の四年間は不調だったがこれを一気に吹き飛ばすよう努力する。

② CF近藤は昨年腰を痛め、まだ完全になおっていないが、これが完全になおると楽しみだ。RW山田、RI小川も大いに期待できる。

③ 得意は速攻、フリースローが弱い。この弱点は練習によってなくしたい。

④ 中京商以外にない。

監督	稲石　三二	（日体大出）
GK	山村　三男	②
FB	神谷　治夫	③
	林　　一毅	③
HB	鳥居　　廣	③
	河村　克己	③
	竹内　大博	②
FW	小川　安人	③
	山田　　透	②
	近藤　信行	◎③
	竹内　　裕	②
	小林　直樹	③
SuB	神谷（葭）②、加古②、各務②、伊勢②、小林（直紀）②、宇井③	

清水市商（静岡）

① インターハイで優勝。悪くてもベスト3に残りたい。国体東海予選で愛知勢を破って岡山国体に出場し、高校の部で優勝すること。

② FWの斎藤、西貝、HBの渡

監督	片桐喜代治	（日体大出）
GK	松本　　力	②
FB	望月　徳和	②
	長沢　勝紀	③
HB	海野　充弘	③
	渡辺　　正	③
	見城　　昇	②
FW	斉藤　　隆	③
	松本　寛司	②
	藤井　利規	◎③
	今福　恵作	②
	西貝　友嘉	③
SuB	小沢②、野田②	
	上野②、長沢②	

辺。

③ 得意は速攻。弱点は五人のFW技術の差がありすぎること。また六人攻撃ができない。

④ 中京商、桜台高。

小松実業（石川）

① 過去においてインターハイでベスト8に残ったが、ことしはベスト4をめざしている。

② GK吉田の好守、FW橘は俊足で正確なシュート力、喜多はサウスポーでロングに強い。この三人に期待をかけている。

③ 得意は速攻と確実なフリースローによる得点。弱点は新人が多いこと。これは練習ゲームを多くして実戦的な試合運びを身につけさせたい。

④ 桜台。

監督	升井	友治	（神奈川大出）
	吉田	勝雄	③
	安田	健次	②
	石田	勝男	③
	黒沢	喜憲	②
	中川	英明	②
	蓮田	修次	②
	前田	範勝	②
	閑戸	真人	②
	橘	則行	③
	喜多	貞夫	②
	江幡	泰二	②

（◎印未記入）

◎男子高校身長調べ（175センチ以上）

	選手名	身長	ポジション
1	升本（中京商）	178.5	⑪
2	小林（兵庫工）	178	③
2	近森（徳　山）	178	⑧
2	小川（桜　台）	178	⑦
2	島村（幡生工）	178	⑪
2	大槻（石岡一）	178	⑤
2	早川（済々黌）	178	⑦
3	菅野（安　積）	177	⑤
4	牧（中京商）	176	①
4	松原（修　道）	176	⑤
4	岩崎（熊本商）	176	⑦
4	藤田（新居浜工）	176	⑧
4	加藤（〃）	176	⑪
4	平井（桐生工）	176	④
4	熊谷（仙台二）	176	①
4	坂田（済々黌）	176	⑩
5	長沢（清水商）	175	③
5	菊地（安　積）	175	④
5	今井（墨田川）	175	⑦
5	牛木（石岡一）	175	①
5	滑川（〃）	175	⑪
5	南館（仙台二）	175	⑦
5	尾形（神代高）	175	①

兵庫工（兵庫）

① インターハイ、国体に参加すること。もし参加できたら優勝をねらい、国体は連続優勝をめざしている。

② FWの松本、梶本、岩崎(英)はいまでも使える。特に梶原、岩崎(英)の二人は昨年国体（秋田）に出場し試合度胸がある。岩崎(英)のプレーは実にすばらしい。松本の好判断によるパスは期待できる。バックスは多田を中心にまとまっている。

③ 得意な攻撃法はないが、FW全員がシュート（得点）できることである。弱点はGKに脚力がないこと、FWに強肩者がいないこと。練習によってこれを補強したい。

④ 愛知県のチームだけを目標にしている。

監督	狩野	幸介	（日体大出）
GK	村津	宏	②
FB	茨木	一男	②
	小林	筆	③
HB	松井	洸洋	③
	多田	稔	③
	好田	吉次	③
FW	岩崎	厳	③
	梶原	進	◎③
	松本	圭介	③
	岩瀬	和也	②
	岩崎	英男	③
SuB	小坂	良之	②
	山吹	吉一	②
	西方	浩	②

明石高（兵庫）

① インターハイ、国体に出場すること。

② CFの臣は強肩で俊足。CHの伊藤の活躍が楽しみ。

③ 得意は速攻。弱点は得点の時間にブランクがある。

④ 兵庫工。

監督	三宅	三治	（日体大出）
GK	矢政	克弘	③
FB	灰藤	一郎	③
	小川	卓夫	③
HB	伊藤	孝也	②
	児島	俊雄	②
FW	大原	康昇	②
	臣	忠美	③
	山本	武	②
	佐藤	英之助	◎③

（4番、8番欠員）

那賀高（和歌山）

① 一にも練習、二にも練習、三にも練習、四にも……。全国優勝をねらってがんばる。

② LI田村は小柄だが脚力、強肩、体力の三拍子そろっている。LW岩本はハンドボールをやり始めてからまだ三カ年だが、ダッシュ力、切り込みがすばらしく、田村とのコンビがいい。ハーフ陣の三人の活躍が楽しみ。

③ 左サイドからの攻撃が得意。弱点は田村のワンマンチームなので、他の選手のシュート力を強化したい。

④ 別にないが全国のチーム。

監督	川口	譲	（和歌山大出）
GK	米田	昌司	③
FB	加藤	義人	③
	南出	増夫	③
HB	小島	勉	③
	金谷	博	◎③
	辻	嘉寿夫	③
FW	加山	磯二	②
	木村	正博	③
	森沢	茂	③
	田村	尚隆	③
	岩本	吉了	②
SuB	山本②、福井②、高野③		
	森田③、中前③		

徳山高（山口）

① インターハイで上位進出の足場を固め、全日本総合選手権、国体（岡山）でがんばる。

② FWの椎木、片山、近藤、HBの山田、FBの藤井。

③ 速攻。

④ マークすることは考えない。

監督	藤井	功男	（九州大出）
GK	竹下	洋一	②
FB	福田	哲夫	②
	藤井	雄二	②
HB	松田	勝彦	③
	山田	和行	②
	福田	晴昭	③
FW	宮崎	和彦	②
	近森	克彦	②
	片山	彰秀	◎③
	椎木	信吉	③
	山本	望東夫	③

修道高（広島）

① 七年連続してインターハイに出場し、三回戦まで進出できるようになった。七人の卒業生を出したが、持ち駒が豊富なので上位入賞をめざしている。精神的に頭脳的プレーを加えて突進するのみ。

② FWの児玉、藤岡、FBの西元、GKの朝村。

③ 攻撃法は別にない。強いて言えばインナー攻めから、ウィングで勝負する。弱点は速攻のチームに強く、遅攻のチームに弱い。

④ 県内では盈進商、全国では名古屋、神戸市から出場するチーム。

監督	平田	幸雄	（修道高出）
GK	朝村	三郎	③
FB	西元	成憲	②
	小笠原	昌文	③
HB	木下	泰充	①
	松原	和美	①
	広田	圭三	②
FW	黒田	英俊	②
	児玉	達夫	◎③
	藤岡	道治	①
	岩西	正憲	①
	桑原	稔和	③
SuB	飯田	康士	①
	小畑	雅矩	①
	信兼	旭男	②

下関幡生工（山口）

① 山口県には強敵が多いが、ベストをつくしインターハイ、国体出場をめざす。

② 平岡は体力があり、シュート力もすぐれている。乙部、江上も期待していい。

③ フェイント攻撃、遅攻は得意だが、パスによる速攻がどうしてもうまくできない。基礎練習の時間がほしい。

④ 徳山高、下松工。

監督	槇	敏夫	（日体大出）
GK	松木	亀八郎	②
FB	江上	鎮夫	③
	吉田	勝	②
HB	上木	庸和	②
	乙部	正美	③
	大畑	克己	③
FW	瀬川	信雄	②
	平岡	俊美	◎③
	坂田	紘一	③
	島村	洋和	①
	塩谷	康弘	②

新居浜工（愛知）

①中央で活躍している先輩（宮原藤支男＝大崎電気）の名をけがさないようにがんばる。望みはインターハイ、国体の出場。

②加藤は脚力があり、シュート力も正確なのでことしの主力。GK近藤の度胸を買う。

③得意は速攻。一年生が主体なのでまだまだハンドボールを知らない、走り負けないように、練習は走ることに主体を置いて行なう。

④各県代表。

監督	高橋	万年	（日体大出）
GK	近藤	博光	②
FB	合田	忠生	③
	藤村	和男	③
HB	西	英忠	②
	余吾東	洋民	③
	久枝	勝利	③
FW	田井	義正	②
	藤田	清	②
	合田	清司	②
	川原	実	②
	加藤	久勝◎	②
SuB	矢野	勝	②
	伊藤	守	③
	山口	浩幸	②

熊本市商（熊本）

①岩田―瀬口―橋本のセンタースリーは脚力があるので、ことしはかなりやれる。

②瀬口のポストプレー、橋本の倒れ込みシュート、本田、坂梨、坂崎のバックスのアタック。

③得意はセンタースリの攻撃（速攻）。弱点はシュートミスの多いこと。

④済々黌。

監督	河本	安弘	（熊本商高出）
GK	柿塚	和広	③
FB	西本	新一	②
	本田	勝年	②
HB	坂梨	勝	③
	坂崎	洋一	③
	戸泉	稔	③
FW	岩崎	光弘	②
	岩田	志郎	③
	瀬口	三郎	③
	橋本	勝◎	③
	宅地	三義	②

鹿児島工（鹿児島）

①昨年のインターハイは準々決勝まで進んだ。ことしはベスト4に勝ち残りたい。

②昨年はFW二人がポイントメーカーだったので、ことしもFWに力を入れる。HC日高を中心とするバックスに期待する。

③センタースリーのクロスでノーマークを作る方法。平均身長が165センチで低いから、バックは前に出て当たる方法を考えている。

④熊本市商

監督	古市	寿夫	（日体大出）
GK	平田	秀亜	③
FB	鶴薗	利彦◎	③
	田川	崇昭	③
HB	奥村	克彦	②
	日高	昭光	③
	竹之下	伸治	②
FW	森	征一郎	③
	室住	武利	③
	山口	篤	③
	栗山	実行	③
	井上	昇	③

済々黌高（熊本）

①ここ二、三年はインターハイ、国体に出場していないので、ことしは出場を目標にしている。

②HBの中川、FWの早川、坂田に期待する。中川は攻撃力をじゅうぶん身につけているし、早川、坂田は、長身で強シュートにスピードがある。

③コンビネーションによる攻撃が得意だが、バックスにくらべてFWの弱さが目につく。FWの強化とシュート力の強化に力を注ぐ。

④熊本市商。

監督	藤田	八郎	（日体大出）
GK	花田	亮輔	②
FB	城	征二	②
	柴山	武	③
HB	武富	功雄	②
	中川	浩海◎	③
	瀬口	洋右	②
FW	早川	典宏	③
	坂口	国三	②
	寺崎	孟	③
	坂田	俊明	③
	高野	一元	②
SuB	永田	忠則	③

土佐高（高知）

①インターハイ、国体に出場すること。四国大会で優勝すること。

②FWの杉村、下司。ともに強肩である。バックスの尾崎、黒岩。

③新チームなので弱点ばかり。要は練習。

④弘岡農（高知）。

監督	西田	元彦（日体大出）
GK	平野	
FB	森	
	尾崎◎	
HB	岩尾	
	黒岩	
	高橋	
FW	山中	
	杉村	
	高橋	
	石原	
	下司	
SuB	田上	

▽名前、学年なし。

神代（東京）

①36年度の新人戦（一、二年生）で優勝したので、ことしは東京で優勝したい。そしてインターハイ、国体に出場したい。

②CF関根はFWのリードオフマン。からだは小さいが動きがよく、シュート力がある。手首から先がいいし、体勢がくずれてもシュートを打てる。CH橋本は防御の当たりがいい。

③得意―選手の粒が小さいので走力とパスワークによる速攻からの得点力。また特定の選手がいないので全員がポイントする。弱点は防御、この補強は脚力の養成以外にない。

④東京都内では明星学苑、両国高。

監督	佐野	和夫	（教育大出）
GK	尾形	譲	③
FB	駒井	俊幸	③
	茂呂	和利	②
HB	平田	謙治	③
	橋本	隆之	②
	楊原	巧	③
FW	大宅	誠	②
	浜元	昭男	②
	関根	邦夫	③
	百武	忠明	③
	野中	耕三	②
SuB	千葉	進	②
	家根谷	憲三郎	②
	汐見	英征	②

ちょっと一言

プログラムはていねいに

▽…最近行なわれた第二回全日本実業団選手権のプログラムについて。第一回女子部門の優勝チームとしてプログラムに『愛知紡績』の名が記載されている。昨年の大会は女子チームのエントリーが愛知紡績だけで試合は行なわない。愛知紡績関係者にきくと『一時延期する』ということになっていたそうである。その後、愛知紡績を正式に第一回選手権チームに認定した話はきいていない。第一回大会は流会したものと思っていた。

ところがこのプログラムには優勝チームとして取り扱かわれている。プログラムを印刷したのは東京都連で、協会側は「都連の感違い」といっている。昨年の大会のときにあいまいな態度をとったため、この失態になったといえる。このミスのため毎日新聞など数紙が愛知紡績2連勝と報じてしまった。

筆者が問い合わせたところ、第一回大会の女子部門は流会が正しいそうである。

▽…第二に、大会第一日の男子予選リーグBブロックで防大小原台クラブ（神奈川）が、交通事故で遅刻し、没収試合扱かいにされた。その処置に文句はない。

ただそれを7―0の没収試合としたのはいかなる根拠によるものか。

まさか、野球の没収試合が9―0だからというわけではあるまい。野球は各回に1点づつ合計9点、競技人数に1を乗じたものではない。

バスケットボールは2―0、バレーボールは21―0である。ハンドボールの場合は当然1―0でよいだろう。

7―0とするのを規定とするなら、これを機会に全国に正式に通告すべきである。このことに限らず、その場、その場で処置されて困るのは、地方のプレーヤーと関係者である。

▽…第三に、今年の大会でもプログラムに選手の出身校がはいっていなかった。

本紙第5号の投書欄で、広島（前大会開催地）の読者から注文をつけられていたではないか。なんのために機関誌をつくっているのか。また前大会の反省などはしないのだろうか。

なじみのうすい実業団チームの選手構成を知るためにも、出身校を示してほしかった。選手の年令を記しただけでも、貴重なデーターになるのである。

こうした点では、東西の学連の運営手腕が圧倒的にすぐれている。プログラムをつくるときはもう少し親切に、そしてていねいにしてください。

ウィークポイントを潰せ

高校女子

涌谷高（宮城）

①強い団結力は他のチームにみられないものがある。ますます団結を固めて、上位進出を夢見ている。〝夢よもういちど〟。

②GK戸村は強い腰でかならず好プレーを見せてくれると思う。

③得意—俊足を生かしての速攻に相当威力あり。弱点—攻撃が単純である。

④みんなです。

監督	山崎 金夫（三重大出）		
1	戸村 康子	③	
2	佐藤 邦子	②	
3	太田緋奈子	②	
4	宮島より子	③	
5	鈴木佳代子	②	
6	佐々木利津子	②	
7	門間 栄子	②	
SuB	男沢 みよ	③	
	井沢 史子	②	
	佐藤美代子	②	
	根田トシ子	②	

（◎印＝未記入）

都立桜水商（東京）

①部員を増やして選手の強化をはかる。そしてインターハイで上位に入賞したい。

②チームづくりの途中なので特にいない。

③得意は速攻とカットイン。弱点は多いので、こんごの練習でなくしたい。特に体力、走力に欠けているのでみっちり練習する。

④半田、水海道第二、熊本市立。

監督	横山 孝光（日体大出）	
1	木下 京子	③
2	川辺 富子	③
3	鴬田 章枝	③
4	清水真木子	②
5	高橋 恵子	②
6	金子 静江	②
7	秋山 和子	②
SuB	村木 公子	②
	鈴木 文子	②
	本多 芳子	②
	滝沢 啓子	②

（◎印＝未記入）

水海道第二（茨城）

①国体に出場すること。

②昨年のレギュラー五人が抜けたので、特にすぐれた選手はいない。

③得意は速攻。弱点は遅攻。フォーメーションの研究が必要。

④栃木女。

監督	砂長 誠（教育大出）	
1	鈴木 冨子	◎③
2	香山かつえ	③
3	鈴木きみ江	②
4	立川美智代	②
5	後の上康子	③
6	横倉 くら	③
7	木村 清美	②
SuB	広瀬万里子	②

栃木女（栃木）

①性格もプレーも非常にすなおな点があるので、ことしも大いに期待できる。まずインターハイ入賞をねらう。

②全員に期待しているが、特に戸沢、加藤が動けると楽しみ。

③速攻を武器にしたい。

④水海道第二、静岡城北、菊池農蚕。

監督	細井 操（教育大出）	
1	穂坂 和子	②
2	戸沢 文江	③
3	加藤 和子	②
4	猿山 友子	②
5	関口 昌子	②
6	角田 幸江	②
7	寺内 君江	②
SuB	福富 秀子	②
	小林 トメ	③
	山崎のぶ子	②
	板倉 正子	②

（◎印＝未記入）

目標もちろん全国優勝

静岡城北（静岡）

①全国優勝しか考えません。それだけを目標にがんばります。

②特にめだつ選手はない。

③得意—特に見当たらない。弱点—あまり多すぎてこの用紙では記入できません。（編集者から……別の用紙に書いていただきたかった）。

④半田、稲沢（愛知）。

監督	望月 正（教育大出）	
1	川崎 幸子	◎③
2	纐纈とみ江	③
3	鈴木 功子	③
4	林 雄子	③
5	加藤 直子	③
6	伏見 時子	③
7	亀山 純子	②
SuB	山口千恵子	②
	山本真津恵	②
	寺沢 正子	②
	横山美智子	②

大垣南（岐阜）

①選手に根性を持たせ、確実性のあるチームに育てたい。これは京都女、尼ヶ崎のセットプレーに苦戦したので、大いに反省したから。新学期になると中学の優秀選手が入部するかもしれないので、もしそうなれば特に優秀な選手はレギュラーに登用する。

②小柄の岩園、中島はスピードがあるので楽しみ。サウスポーの細川、杉山を中心にセットプレーをおぼえせている。このセットプレーをマスターしたら期待してもいい。

③速攻は安定している。新チームの選手はいずれも高校に進学してからハンドボールを始めたので基礎的なプレーに欠けている。新入生のなかには中学校で三年間ハンドボールをやっているものもあると思うから楽しみ。

④半田、静岡城北、水海道第二、井原（岡山）、熊本市立。

監督	岡田 重博（岐阜大出）	
1	赤尾 澄枝	③
2	杉山 文夫	③
3	久保田千恵	②
4	高橋美津江	③
5	岩園 成子	◎③
6	中島 典子	③
7	細川 和子	③
SuB	大谷 文子	②
	浅野 紀子	②
	田中智恵子	②
	服部 幸子	②

（新入生が入部すればメンバーが変わるかもしれない）

富山女（富山）

①インターハイ上位入賞。

②特にいない。

③速攻。

④特にないが。速攻チームだけは注意する。

部長	中川 周三（日体大出）	
1	角井美恵子	②
2	西野 恵子	②
3	松谷 玲子	②
4	吉倉 清子	◎③
5	大浦 洋子	③
6	永瀬美喜子	③
7	大沢 裕美	③
SuB	木村 睦子	②
	渡辺 幸子	②
	舟田 純子	②

羽咋（はくい）高（石川）

①インターハイで上位入賞。かって第2位（準優勝）になった経験があるので、もういちど第2位に入賞したい。さらに国体に出場すること。

②橋本は体力があり、寺崎の早い動きに期待をかけている。

③得意な攻撃法は特にない。弱点はGKが弱いこと。

④富山女。

部長	山崎 省吾（秋田鉱専出）	
1	戸ヶ崎邦子	②
2	岡崎 一子	③
3	吉岡 節子	②
4	橋本 久代	◎③
5	笹山 鈴嘉	②
6	松原美智子	②
7	寺崎 治代	③
SuB	中島 繁子	②
	中西 明美	③

豊中高（大阪）

①インターハイに三年連続出場してベスト4をめざす。近畿大会で優勝し、さらに国体をねらう。最近中学時代からの経験者が多くなり、将来は明るい。

②谷脇のロングシュートはすばらしく、大阪の第一人者といわれている。細谷、岡元は左利きで、シュート力に威力がある。関（GK）はバレーボール出身であり、ジャンプ力があるので期待できる。

③フリースローからの得点力あり。全員が攻撃、防御できるし、走るチームだから速攻の完成が近い。速攻チームに弱い。したがって速攻中心の練習を行ない。馬力をつけるためにランニング、男子中学生と練習練合をやりたい。

④大阪では寝屋川、近畿では県尼ヶ崎、全国では半田、熊本市立、水海道第二。

監督	岡本 克彰（日体大出）	
1	脩 真美	③
2	岡元 葵	②
3	小山 紀子	②
4	谷脇 勝子	◎②
5	細居 克子	③
6	住田 勝子	②
7	飯田 節子	②
SuB	岩津 友己	②
	川野 章子	②
	関 富美子	②
	瓶子 初枝	③

ことしの抱負

那賀高（和歌山）

①望みは大きい。全国優勝。②谷口のダッシュ力とシュート力、松本のキープ力とパスのうまさ。また機をみて走る藤平など。③得意な攻撃法はないが、遅攻戦法をやっている。新チームは平均して身長が低い。これを補うには走る以外に手はない。④特にないが、全国のチーム。

監督	川口　　譲（和歌山大出）	
1	藤原　君代	②
2	根田　幸江	③
3	安部寿美子	③
4	藤平勢津子	③
5	竹畑　文子	②
6	松本　幸枝	③
7	谷口　真澄◎	③
SuB	空畑　勝子	②
	森沢　順子	②
	久保寿美子	②

倉敷青陵高（岡山）

①ことしの第十七回国体開催地なのでぜひ出場したい。（ハンドボールは倉敷市）。②FW永原は頭脳的プレーヤーであり、突っ込みがすばらしい。③得意は速攻。進学者が多いので選手の数が少ないのが弱点。部員をふやしたい。④井原高（岡山）。

監督	橋本千代子（日女体大出）	
1	沖藤　絢子	②
2	樋野　明子	③
3	雁木加代子	③
4	古家野満子	②
5	水川　万里	③
6	小郷　礼子	②
7	永原　久子	③
SuB	山田　文子	②

（◎印＝未記入）

徳山高（山口）

①インターハイで上位進出をねらい、全日本総合選手権（下松市）、国体（岡山）でがんばる。②全員に期待をかけている。③速攻、遅攻のチェンジ・オブ・ペースで試合する。身長差があるのが気になるが、選手が多いのでメンバーチェンジがじゅうぶんできる。④あまり考えない。

監督	星井　　直（日体大出）	
1	姫野百合子	③
2	磯村まさ江◎	③
3	関段紀代美	③
4	山時　　忍	③
5	原田スミ子	②
6	河窪　吉江	②
7	重岡　叡子	③
SuB	世良万佐江	②
	砂岡　德子	②
	沼田三津江	②
	堀本　早苗	②
	森田千恵子	②

新居浜東（愛媛）

①新旧入れ替えで実力にとぼしい。全国大会に出場してはずかしくないゲームをしたい。②CF田坂は長身、強肩で全国大会の経験を持っている。③走力が劣っている。④半田、水海道第二、静岡城北。

監督	上本　茂利（日体大出）	
1	井上　　檜	②
2	越智　淳江	③
3	神野　房子	③
4	畑野寿美子	③
5	森賀　信美	②
6	田坂　玉置◎	③
7	佐々木武子	②
SuB	真鍋嘉代子	②
	藤田　優子	②
	斉藤由美子	②
	篠原美代子	②
	佐々木シナエ	②

第二期黄金時代へ

熊本市立高（熊本）

①インターハイの三年連続優勝経験者を全部送り出し、ことしは二年生が主力。最初からやり直しの年である。インスタント強化をやめ、基本技から築き上げて行く。抱負としては別にないが、良いチームになるため、できるだけ多く試合をする。また大洋デパートを模範として努力する。②増永は小柄だが、すばらしいダッシュを持っている。津田、小林、増永の三人がチームをリードして行くだろう。第二期黄金時代を作るよう努力する。③昨年まで速攻一点張りだったが、ことしはサイドアタック法をやってみたい。新人ばかりなので試合運びがまずい。できるだけ試合をやって技術の幅をつけたい。④現在は県下で最下位の力しかないので、県内の各チームをマークする。

監督	北川　　浩（日体大出）	
1	森上美保子	②
2	津田由紀子	③
3	稲田　光代	②
4	清水千枝子	②
5	小林　　薫	③
6	増永　秀子◎	③
7	今池　正子	②
SuB	蓑田　節子	②
	安達　路子	②
	小場　嘉子	②

菊池農蚕高（熊本）

①三年計画の三年目に当たり、チーム力は昨年よりいいと思う。卒業生は一人、インターハイか国体のどちらかでベスト4にはいりたい。②特にない。全員に同じ力をつけさせたい。③ポストプレー中心の攻撃法をとっている。弱点は激しい動きの攻撃に対しての防御が弱い。大洋デパート（熊本）とできるだけ合同練習をして、ディフェンスを強くしたい。④県内で熊本市立、県外で静岡城北。

監督	荒木　時弥（熊本大出）	
1	山口　律子	③
2	高山やよい	③
3	八並　和代	③
4	中村千恵子	③
5	西口　文子◎	③
6	中村美恵子	③
7	中尾　孝子	③
SuB	田代すま子	③
	赤松　房子	②

明善高（福岡）

①インターハイで準優勝した経験者八人（保坂、吉田、山口、田中、北村、立石、青木（尚）、野口）を送り出したのでチームはすっかり一新した。ことしは上位確保は望めないが、来年に備えて大いに戦力をたくわえたい。試合経験を深め、インターハイは三回戦進出が目標。②昨年のレギュラーからは丸山が一人残っているだけ。しかし今シーズンは大いに期待している。脚が早く、強力なシュートを持っている。隈はファイトの持ち主で切り込みが鋭い。③得意は速攻。弱点は試合経験の不足。できる限り積極的に練習試合、公式試合を消化して経験を深めたい。④菊池農蚕高。

監督	荒木　英之（教育大出）	
1	三坂　　優	②
2	轟　美津子	②
3	青木　知子◎	③
4	隈　　茂子	②
5	鐘ケ江篤子	②
6	今村マスエ	②
7	丸山　絹子	③
SuB	山口香代子	②
	浮気千鶴子	③
	執行　京子	②
	伊東スマ子	②
	池田　信子	③

京都女高（京都）

①卒業生六人を送り出したのでことしは基本からみっちりやり直す。三年計画です。②福本、丹羽の二人です。③新チームなのでなにもない。昨年までは左利きがいたのでよかったが、ことしは左利きがいないので困っている。練習で走力をつける。④尼ケ崎高、寝屋川高、豊中高をマークする。

監督	白取　愛玲（日体大出）	
1	丸山　典子	②
2	植山　絹子	①
3	湯口　千鶴	①
4	奥田　洋子	②
5	福本　悦子◎	③
6	八木　順子	②
7	丹羽　弘美	②
SuB	堀　　利子	②
	中川美知子	②
	中山　雅子	②
	北川　馨子	②

宮崎朝子②、杉野三枝子②
伏田沙智子②、大藪幸子②

山陽女（広島）

①レギュラーの大半が卒業し、新入生が主力となるのでチーム力が落ちる。ことしよりも来年に多くを期待する。しかし昨年なみの成績をあげるよう努力する。インターハイをめざす。②栃林、小原に期待する。栃林は主としてガードに重点を置き、フットワークがよく当たりが強い。小原は攻撃を主体とし、ダッシュがよく効く。なかなかの強引さを持っている。③得意な攻撃は別にないが、弱点は長身者がいないこと。ロングシュートがないので、動きを早くしてよく走り、速攻のチームにしたい。④徳山（山口）。

監督	片岡　賢二（神奈川大出）	
1	津江　伸枝	②
2	谷口　悦子	②
3	工藤　秋子	③
4	栃林紀美枝◎	③
5	廻船三和子	③
6	小原　一恵	②
7	村田　富子	②
SuB	越野美智子	②
	中村万寿子	②
	稲田　静香	③

今年こそ全種目の優勝

大学

芝浦工大

① 全種目の優勝。海外遠征したい。
② FWの北村、越智。バックスの久保、GKの谷。大型チーム完成の年なので、これら大型選手がどのように活躍するか。こんごのハンドボール界に大きな興味を呼ぶと思う。
③ オープンなファーストプレークおよびゴール前の早いローリング。攻撃に重点をおくため、どちらかといえばディフェンスが弱いきらいがある。補強は練習以外に考えられない。
④ 大崎電気、日体大。

監督	中沢	重夫	(芝浦工大出)
GK	谷	義信	(桜塚高)
FB	川島	紘八郎	(中京商)
	久保	勉	(氷見高)
HB	中	一勲	(須崎工高)
	斉藤	明郎	(氷見高)
	野村	進	(〃)
FW	福島	幸雄	(中京商)
	北村	尚奕◎	(盛岡一高)
	森田	謙喜	(中京商)
	金山	大	(函館工高)
	越智	節生	(今治西高)
SuB	青木	実	(鎌倉学園)
	青木	孝次	(〃)
	住広	尚三	(下関西高)
	森谷	豊	(氷見高)
	池田	鉄哉	(清水商)
	多久	毅	(熊本市高)
	新	繁樹	(大垣南高)

中大

① 春のリーグ戦で上位進出をねらい、インターカレッジで優勝している。さらに秋のリーグ戦で優勝して王座決定戦にのぞみ、西日本代表を破って優勝したい。
② 両ウィングの有留、椿が昨年より脚力、シュート力において強くなっている。
③ 速攻、遅攻を織りまぜた攻撃が得意。横の動きが多くなることが欠点。
④ 芝浦工大。

監督	田中	秀夫	(中大出)
	西村	光興	(下関西高)
	坂井	弘元	(済々黌高)
	垰野	光伸	(修道高)
	坂本	弘樹	(函館中部高)
	樋沢	修	(上田高)
	平館	健司	(盛岡一高)
	有留	紀宏	(小倉西高)
	新島	光豊	(大宮高)
	大胁	忠明◎	(中京商)
	角谷	昇	(氷見高)
	椿	隆男	(済々黌高)
SuB	三浦	文精	(明星高)
	川口	隆夫	(中京商)
	佐藤	仁	(鎌倉学園)

慶大

① 勝利への意欲をさかんにすること。なんでもいいからひとつの大会で優勝したい。
② FWの全員と、バックスの古川、橋本。
③ バックスの主力が卒業したので失点が多くなる。
④ 対戦チームすべて。

監督	大久保	静男	(慶大出)
	高田	昌彦	(慶応高)
	曾田	悠	(〃)
	石原	正礼	(清水東高)
	渡辺	博文	(両国高)
	橋本	功	(清水東高)
	古川	皖司	(日比谷高)
	諏訪	紀一◎	(慶応高)
	白壁	傑昭	(〃)
	松尾	雄次郎	(唐津東高)
	堤	克孝	(関東学院)
	阿部	昭三	(仙台二高)
SuB	楢崎	勝久	(三国丘高)
	大塚	貞雄	(慶応高)
	宮内	正	(〃)

王座決定戦へ出場

広島商大

① 全日本学生王座西日本予選で関西学連チームを破って本大会に出場すること。
② 市原は未完成だが大いに伸びる素質があり、ロングシュートはすばらしい。内田はFWのリードマン、CH西元はバックスの要。
③ 得意は速攻。弱点はバックスの各人が努力する。
④ 関東。関西リーグの一部上位チーム。

監督	平田	幸男	(日体大出)
GK	八木	淳自	(修道高)
FB	佐伯	規夫	(山陽高)
	杉田	憲彦	(〃)
HB	和田	至	(修道高)
	西元	義昭◎	(〃)
	村瀬	正機	
FW	安達	正俊	(山陽高)
	上田	謙二	(宮原高)
	内田	国男	(山陽高)
	市原	則之	(〃)
	東	一行	(皆実)
SuB	松井	一裕	(宮原高)
	富重	憲治	(修道)
	松尾	敏	

中京大

① 全日本学生選手権で昨年以上(四位)の成績をおさめ、全日本総合室内選手権でベスト4にはいること。
② FWの活躍が期待される。昨年はGKが弱かったがことしはいい。
③ フェイントからの細かい攻撃法。ダイナミックな勝きに欠けるので基礎体力の養成が必要。
④ 芝浦工大。日体大。関学、早大。

監督	藤松	博	(名工大出)
GK	柴田	晴男	(中京商)
FB	吉田	宗孝	(〃)
	森川	俊章	(〃)
HB	葛島	敏彰	(〃)
	都築	勝	(〃)
	高橋	清和	(愛媛三条高)
FW	近藤	泰夫	(中京商)
	馬場	宣昌	(蒲郡高)
	羽上田	栄司	(中京商)
	杉本	真一	(〃)
	伊藤	精二	(〃)
SuB	荒井	不可志	(享栄商)
	長谷川	正	(加納高)
	横井	保信	(中京商)
	槙中	俊明	(高松一高)
	桃井	富士雄	(中京商)

東北学院大

① 関東、関西一部チームへの挑戦。
② CF高橋は球技に対するセンスがあり、チームのリーダー。LW村上は強肩であり、FWとしてのステップがうまくなっているので楽しみ。GK斎藤は昨年からみると大いに進歩している。
③ 別に得意なものはない。ゲームをフルに走る以外に進歩はない。補強については技術面よりもまず自分のからだを自分でじゅうぶん使いこなせるようにしたい。
④ 関東。関西の一部チームの一角をくずすこと。

監督	森	恭一	(日高大出)
GK	斉藤	節朗	(仙台商)
FB	高橋	克夫	(仙台二)
	宮崎	孝男	(仙台高)
HB	鎌滝	久敬	(盛岡一)
	高橋	実	(東北学院)
	伊藤	豊美	(仙台二)
FW	村上	豪	(仙台高)
	小林	輝夫	(古川高)
	高橋	長偉	(仙台二)
	高橋	芳昭	(育英高)
	片山	知行	
SuB	桜井	正広	
	佐藤	孝	(育英高)
	梅村	忠司	
	佐々木	定義	(古川高)

すべてが中心選手に

東京教育大

① 昨年初めて関東学生リーグで二部に落ちた。われわれは奮起して一部カムバックを期している。そのためにはチーム力の強化を第一義に考えている。
② すべてが中心選手になれるよう技術を身につけたい。おたがいがリードし、リードされる選手になること。
③ スタミナ不足の増加と個人技の体得。チームのテクニックワークの練磨。
④ 二部では追われる身だから東京学芸大。一部では下位チーム。

監督	岡村	昭二	(教大出)
	安田	清夫	(松山北高)
	大矢	三郎	(新津高)
	太田	毅	(水戸一高)
	菅原	紀男	(高松高)
	栗城	紘一郎	(関東学院)
	久保	武弘	(勝山高)
	塩崎	皓	(墨田川高)
	大塚	文雄	(〃)
	豊島	康彰	(加納高)
	増田	学	(盛岡一高)
	後藤	幸生	(千歳高)
SuB	石樽	昭之	(加納高)
	藤沢	邦彦	(桐陰高)

岩長(熊谷高)、高田(三田橋)

明大

① 昨年のメンバーからFW4人が抜けた。新人に期待するのは無理なので秋のリーグ戦で上位進出をねらう。そうして来年優勝をねらうチームにしたい。インカレでも上位保持すること。
② CF横野、ウィングの米倉、バックの神田、浜岡。
③ 得意は速、遅攻をミックスして相手のバックのすきをねらい、確実に、そして粘り強くチャンスをねらう。弱点は脚力不足、パスワークがうまくない。リーグ戦までに体力をつけ、基礎練習に力を入れる。
④ 芝浦工大。

ことしの抱負

防衛大

① 関東学生リーグの二部優勝と一部昇格。
② 泉は恵まれた体格と強肩、それに疲れを知らない体力を持っている。
③ 速攻。
④ 東大。

監督 林 和 (法大出)
GK 大杉 茂夫 ③(住吉高)
FB 田村 鞆利◎④(下松工高)
古沢 節夫 ③(下妻一高)
HB 藤原 鉄弥 ③(五島高)
宇都宮 隆 ③(小倉高)
高間 庄一 ②(金沢桜丘)
FW 伊東 実治 ③(熊本高)
山谷 康夫 ④(富山高岡高)
伊藤 文夫 ④(仙台二高)
北川 文高 ③(金沢桜丘)
泉 芳憲 ③(佐世保高)
SuB 黒沢(千葉大原高)、河内(石神井高)、山本(阿蘇高)、桑原(愛媛小松高)、納谷(三国丘高)、高藤(下松工高)、松原(松山東高)

同志社大

① 関西学生界で優勝、そして芝浦工大を破って王座につくこと。
② 大曾根。攻守両面にわたりチームの要。ハンドリングがうまく柔軟性がある。試合に対して冷静さを失なわない。
③ 得意は速攻。弱点はバックが昨年より弱くなった。この強化は練習以外にない。
④ 関学。

監督 奥田 平八 (同志社大出)
小西 喜博 (京都学大出)
GK 奥本 弘 (中京商)
FB 東尾 吉信 (八尾高)
若宮 登 (修道高)
HB 矢柴 俊成 (寝屋川)
小西 隆男
京上 裕一
FW 宮野 慶男 (八尾高)
大曾根幹彦◎(一ノ宮)
西川 昌平 (桜塚高)
鈴木 忠夫
鳥居 繁男 (奈良高)

芝浦工大をたおせ!

関大

① 全日本学生王座の獲得。
② 立石と近藤。ともに速攻で鍛えられ、ロングシュートが得意。
③ 速攻。チームが若い。
④ 芝浦工大。

監督 榎原 嘉之 (関大出)
GK 西島 隆 (福岡工)
FB 岩村 進 (桜台高)
細川 俊文
HB 橋本 和紀
村上 勝幸 (今治西)
中野 善裕 (中芸高)
FW 立石 俊朗 (愛知商)
寺田 清◎(春日丘)
池上 勝也 (兵庫工)
服部仁一郎 (熊本高)
近藤 善重 (中京商)
SuB 水野 弘久
市川 幸男
間崎 丈夫

関学

① 全日本学生王座決定戦で優勝すること。
② LW藤井—重厚なからだから繰り出すコンスタントなシュート
③ LH村田—タフであり、経験豊富オープン攻撃と遅攻。
④ 芝浦工大。

監督 渡辺 一己 (関学出)
中山 修 (泉陽高)
中倉 俊彦 (豊中高)
葛西 鴻三
中浦 宏◎(明石高)
村田 陽之 (池田高)
大河内潔史
大西 欣三 (寝屋川)
森末 和裕 (明石高)
吉田 隆夫 (三国丘)
十倉 信行
藤井 幸 (明石高)
香本 和彦
◎ポジションは決まつていない。新人がポジションを獲得する可能性もあります。

神戸大

① 万年四位の汚名返上、上位進出。
② 黒杭(GK)。上背があり、年々進歩している。
③ 得意は遅攻。弱点は防御陣とFWの両ウィング。
④ 毎シーズン取りこぼしている甲南大と京大。

監督 狩野 幸介 (日体大出)
黒杭 信祈
片山 昇 (甲陽)
海野紀司雄 (清水丘)
片山 秀雄 (甲陽)
川崎 勝造 (三国丘)
楠井 収
松山 新 (甲陽)
高井 敬二 (甲陽)
荘林 康次◎(三国丘)
西本 浩二 (豊中)
増本 征三 (甲陽)
岸 勝彦
友岡 弘之 (豊中)
小原( )、木下( )

桃山学院大

① 関西学生リーグ戦で上位進出。
② 前田は長身でサウスポー、岩津、永富にも期待する。
③ 速攻。横パスに流れる欠点をなおしたい。FWの強化。
④ 関西リーグの一部チーム。

監督 馬場 太郎 (日体大出)
GK 永富 義和 (明石)
FB 中井 健人 (〃)
辻本 弘武 (報徳学)
HB 渡辺 宗英 (桃山学)
坂本 雅孝 (東住吉)
藤林 治雄 (伏見)
FW 前田 清 (桃山学)
岩津 行 (桜塚)
五味 忠義 (寝屋川)
北垣 義明◎(明石)
大野 公郎 (寝屋川)
SuB 吉川 凱雄 (東住吉)
中畑 寛重
井上 ( )
水野 (三田学)

甲南大

① 関西学生リーグ戦で優勝すること。慶大との定期戦で圧勝すること。
② 大高—GKのタイミングを狂わす正確なシュート。
③ 遅攻によるローリングが得意。パスがまずいので正確にしたい。
④ 神戸大、関学。

監督 八馬 立 (甲南大出)
GK 田村 禎央 (池田高)
FB 今西喜一郎◎(追手門)
山中 尚 (東住吉)
HB 秋山 修 (星陵高)
島田 博 (北野高)
松田 隆次 (尼崎北)
FW 伊藤 (加古川東)
林 正義 (学大附)
川副 光傑 (桜塚高)
大高 恒貴 (池田高)
老田 寿三 (東 高)
SuB 本荘 (三田高)
丹羽

大阪府大

① 関西学生リーグ最下位脱出。
② 瀬恒—FWの中心。確実なシュート。
③ 得意は遅攻。弱点は遅攻から速攻への切り替えが遅い。練習で
④ 基本的な動きを体得したい。京大。

監督 高山 政悟 (日体大出)
GK 藤田 翼 (生野高)
FB 土師 利昭 (三国丘)
井上 光央 (天王寺)
HB 林 功裕 (豊中高)
大塩 英世
土井 定夫
FW 浦部 晃一 (寝屋川)
一山 雅弘 (豊中高)
藪田 卓二 (〃)
瀬恒 心吉 (〃)
菅野 拓三 (北野高)
SuB 松本( )、鈴木(奈良)
和田( )、谷内( )
斧田( )

京大

① 一部にとどまること。
② 浅野(CF)を中心としたパスワーク。バックスはほとんど変わらない。
③ 得意は遅攻、弱点は速攻チームに弱いこと。
④ 神戸大。

東北大

① 東北学院大、神戸大に勝つこと。
② FWの山村君。
③ 得意な攻撃法は特にない。個人プレーになりがちなので、これを徹底的になおしたい。
④ 1の回答と同じ。

対戦相手は全て強敵

実業団男子

大崎電気(東京)

① 全タイトルをとりたい。
② FWの竹野と小谷内。
③ 得意は速攻。遅攻に対する守備に難があるので、バックの補強。

監督 今野 邦彦 (芝浦工大出)
GK 福本 弘 (芝浦工大)
FB 高森 孝一 (〃)
高橋 滋夫 (日体出)
HB 村上 厳 (芝浦工大)
田口 侑義 (〃)
高井 弘 (〃)
FW 金田 純男 (中京商)
小谷内正信 (氷見高)
宮原藤支男 (芝浦工大)
井上 素行 (新居浜工高)
竹野 奉昭◎(日体大)
SuB 杉山(鎌倉学園高)
宮原(宏)(塩山高)
宮原(俊)(芝浦工大)
小島(新居浜工高)

でこれを補なう。
④ 芝浦工大。

住友化学菊本製造所（愛知）

① 国体でベスト4に残ること。
② 三十二年に部を結成していらい補強していない。でもみんなベテランぞろいです。得点力はセンタースリー（北山、伊藤、中野）、若手ウィング（中村、松井）の活躍いかんが勝敗のキーポイント。バックは上田を中心によくまとまっている。
③ 速攻を得意としているが、後半にもろい。これはスタミナがないからである。若手を補強したいのですが、ハンドボールをやったものが少なく弱っています。
④ 対戦相手はすべて。

監督	島田　壮助	（土佐工高出）
GK	宮崎　勝久	（新居浜工高）
FB	矢葺　鹿彦	（　〃　）
	上田　猛	（下松工高）
HB	夏井　史郎	（松山工高）
	菊元　英晴	（新居浜工高）
	水尾　護	（坂出工高）
FW	中村　信二	（松山工高）
	北山　義広	（坂出商高）
	伊藤　正◎	（新居浜工高）
	中野　正勝	（小倉工高）
	松井　英喜	（松山工高）
SuB	季原（尼崎産業高） 永易（新居浜工高） 長嶺（宮崎大淀高） 村田（佐世保工高）	

走るチームにしたい

丸紅飯田（大阪）

① 昨年六月にチーム誕生。ことしは計画的にチームづくりに努力する。いままでFW弱体のため苦敗しているので、走るチームにしたい。目標は大阪府民大会で優勝すること。

② 平（FW、バックスともできる。ポイントゲッター）。矢島（FW、個人技にまさる。チャンスメーカー）。松本（ポイントゲッター）。井狩（バックスの要。ファイターである。FWバックスの橋渡し役。貴重な選手）。
③ 速攻、遅攻を適当に織りまぜて、試合のペースを自己のものとする。フォームはV型フォーメーション。体力不足が欠点。
④ 大阪クラブ。

監督	井関　元彦	（関学出）
GK	山本　孝夫	（慶大）
FB	加藤　恭一	（神戸大）
	平田泰一郎	（　〃　）
HB	杉本　功	（東大）
	小城原盛一	（東京外大）
	井狩　修	（慶大）
FW	平　忠	（桐生工高）
	牧村　輝雄	（慶大）
	矢島　征二	（東大）
	横田　邦彦	（神戸大）
	松本　孝一◎	（慶大）
SuB	野路　啓毅	（慶大）
	土居　通顕	（神戸大）

本田技研（三重）

① ハンドボールを始めて一年にならない。経験者がほとんどいないので、練習によってハンドボールをおぼえた。いまはようやく試合のカンどころをつかみ、県大会優勝をめざしている。二月の全日本実業団選手権に出場したので自信を持った。
② CF松本は全日本、国体経験者なので期待できる。鋭いフェイント、左右から強力なシュートはすばらしい。
③ センターローリングによるサイド攻撃が得意である。守備が弱い。
④ 県内の鵜ノ森クラブ、全国的には未知である。

監督	鎌田　正章	（　　）
GK	近藤　昭	（上野商工高）
FB	桜井　直彦	（名古屋市高）
	木村　安利	（　　）
HB	岸田　恒夫	（津高）
	堤　政近	（津工高）
	小川　信	（　　）
FW	打田　一義	（津工高）
	市川　公久	（　〃　）
	松岡　富夫◎	（四日市工高）
	関　明	（四日市商高）
	林　洋次郎	（　　）
SuB	後石（　　）、藤川（　　）、萩（四日市工高）、河島（　　）	

新三菱重工名古屋（愛知）

① 愛知県はレベルが高い。早く優勝戦線にはいれるよう努力する。
② 深谷（FW、勝負に対する執念が強い。中京商のエース）。尾之内（FW、強肩のシューター。桜台高のキャップテン）。
平子（バックスのNO・1。一宮高のキャップテン）。
③ 得意なものなし。弱点はスタミナのないこと。
④ 桜丘会、中京大。

監督	岡田　一郎	（慶大出）
GK	早川　忠男	（上野中）
FB	平子　文敏	（一宮高）
	岡田一郎（兼）	（慶大）
HB	谷口　克徳	（桜台高）
	長谷川清久◎	（大阪大）
	河内　文雄	（早大）
FW	深谷　忠	（中京商）
	北野　修	（愛知商）
	尾之内　昇	（桜台高）
	岩村　忠男	（守山西中）
	大竹　直人	（古知野中）
	鈴木（都立一商）、岡田（清）（長野商）、荒木（東邦商）、小林（四日市工高）、安部（福島商）、片山（早大）、井上（東大）	

七人制大会に初出場

岡野バルブ（福岡）

① ことし小倉工高卒業の中原君の入社を待っています。そうなれば一応7人制のチームがそろい、ことしから7人制を完全にマスターするようベストをつくす。11人制のチームはまだ無理だが、若い人を補強して各大会に参加したい。
② 三宅、松山、原田、中原、友広（いずれも小倉工高卒で経験者）。しろうとでは永松、竹中に期待する。
③ しろうとの選手にハンドボール技術を植えつける。キーパーの育成。
④ 福岡県の自衛隊幹候校、宗像クラブ。

監督	小野　信	（九州経専出）
	安田　保	（小倉工高）
	原田　英樹	（　〃　）
	中原　武	（　〃　）
	三坂　俊逸	（築上西高）
	竹中　正記	（八幡中央高）
	友広　勝	（小倉工業）
	永松　英毅	（門司南高）
	三宅敬一郎◎	（小倉工高）
	松山　博隆	（　〃　）
	中村　広	（　〃　）
	杉本　博義	（豊前高）
	桜本（中津東高）、河野安訓（中津東高）、畑迫（中津東高）、川本（小倉工高）	

（注＝7人制が中心というのでポジションはつけませんでした）

淀川製鋼（呉市）

① 高校時代の経験者は松本学、太田、松本義の三人だけ。部創立して三年目を迎え大いにはりきっている。スタミナを養成し、速攻のできるチームにしたい。県大会優勝が念願です。
② FWの浜田は左ききでたのもしい。シュート力の太田、走力の前野、ファイトある山本に期待する。
③ 選手の平均年令が若いので、速攻のできるチームにするよう努力している。弱点はスタミナの不足、精神的のもろさ。練習試合を多くして力をつけたい。
④ 広島商大、三菱レイヨン。

監督	松本　学	（高知工高出）
GK	山口　義郎	（阿賀工高＝広島）
FB	広田　和夫	（須崎工高＝高知）
	門田　博	（高知工高）
HB	林　英雄	（須崎工高）
	大倉美佐男	（宮原高＝広島）
	重広　紀義	（岩国商高）
FW	浜田　守彦	（高知商高）
	松本　学	（高知工高）
	太田　洋一◎	（中芸高＝高知）
	山本　徹明	（広島工高）
	前野　正	（中芸高）
SuB	矢野（高岡高）、松本義（宮原高）、山下（宮崎大淀高）、細木（高知追手前高）、山本（中芸高）、相沢（広島電気高）、中田（須崎工高）	

三菱レイヨン大竹（広島）

① これからは11人制から7人制に切り替えられるので、ことしから7人制を中心に行なう。
② 沖重と田村。
③ 得意は遅攻。弱点は後半に弱いこと、攻撃が単調なこと。
④ マークするチームなし。

監督	吉野　秀敏	（岩国工高出）
GK	加藤　保澄	（大柿高）
FB	田村　光春	（長崎工高）
	山中　節男	（江津高）
HB	谷川　嘉正	（修道高）
	小谷　久夫	（岩国工高）
	佐々木義方	（岩国高）
FW	吉野　秀敏	（岩国工高）
	枝元　健司	（加治木工高）
	和田　安生	（岩国工高）
	赤名　弘重	（下松工高）
	沖重　順隆	（岩国工高）
SuB	横山　昌弘	
	渕辺　高輝	（加治木工高）
	赤沢	（倉敷工高）

実業団女子

大崎電気（東京）

① できるだけ試合に出て、試合

協会だより

日本ハンドボール協会は１月20日東京お茶の水の岸体育館で定例評議員会を開き、本年度の日程（別表）を発表したほか細目事項について次のことを決めた。

▽国体開催期日と場所

(1) 第17回（岡山県）は10月21日～26日まで。会場は倉敷市東中学（一般女子、高校女子）、倉敷商高（高校男子）、青陵高（一般男子）。

(2) 第18回（山口県）は10月27日～11月１日まで、一般男女は下松市（女子は体育館）。高校男女は徳山市。

(3) 第19回（新潟県）は東京オリンピックのため６月６日～11日まで。ハンドボールは柏崎市。

▽国際試合

チェコ女子チームは２月上旬までに回答がないと開催はむずかしい。（結局２月５日チェコから遠征できないむね返事があった）。

▽協議事項

① 36年度の第４回全日本教職員選手権大会は中止ただし37年度は第５回とする。

② 来年１月柏崎市の招待大会は男子４チーム。女子４チームとする。

③ 第17回国体の参加チーム数は別紙のとおり。一般男子はいままで学生３人を参加させていたが、ことしから削除し純粋な一般社会人とする。一般女子チームに学生の単独チームを削除せよとの要望があったが。研究とする。ただし実施は第18回山口国体からとする。

▽登　録

① 一般男女（１チームにつき）
（基本料金300円）＋（オリンピック基金100円）
＋（１人100円×登録人数）＋（雑誌１ヶ年分300円）

② 大学学生（１チームにつき）
（登録料600円）＋（オリンピック基金100円）
＋（雑誌１カ年分300円）＝1,000円

③ 高等学校生徒（１チームにつき）
（登録料400円）＋（オリンピック基金100円）
＋（雑誌１カ年分300円）＝800円

登録期限は、従来どおり５月31日必着とする。

ただし、いままで一般男子が行なってきた三重登録までの制限を撤廃し、１人がどのチームにでも登録していいことにした。

▽予選制度

全日本総合選手権大会は地区予選、推薦チーム制度の声が強いので予選制度委員会を設ける。委員は的場益雄、若崎重富、村田弘、中沢重夫の４人。

▽国体女子チームの件

研究委員会のメンバーは入江暢一、吉田正一、中川勇一、山田計、中沢重夫の５人。

▽機関誌の件

最低、１チーム　１部。理事は、１人　10部を講読することにし、年間４部（送料を含め300円）を登録と同時に納入することに決定した。

尚右に関する配布方法は、都道府県協会が、責任をもって行うことに決定した。

第17回国体（岡山）参加チーム数

種別＼ブロック別	北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	岡山	計
一般男子	1	4	7	4	3	5	2	2	3	1	32
一般女子	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
高校男子	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	12
高校女子	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
計	4	7	11	7	6	9	5	5	6	4	64

一般男子・高校男子｝監督　1　選手　13
一般女子・高校女子｝監督　1　選手　11

になれること。
②別にありません。
③得意はオープン攻撃。弱点はゴール前のボールさばきがまずいこと。ことしはこれを研究していきたい。
④愛知紡。

監督　今野　邦彦（芝浦工大出）
1　古谷　芳枝（水海道二高）
2　横井　キミ（栃木女高）
3　深津久仁子（〃）
4　早乙女芳枝（〃）
5　滝沢　洋子（水海道二高）
6　宇井　敬子◎（栃木女高）
7　伊藤せつ子（静岡城北高）
SuB　塚田　みつ（石岡一高）
（注）四月以降になると新入社員が参加します。主将も変ります。

大洋デパート（熊本）

①速攻を主体に、きびきびしたチームにしたい。
②西村、徳永、久連松、千原。
③得意は速攻。これをさらに充実したい。弱点はローリングからの攻撃が弱い。
④愛知紡。

監督　井　薫（中大出）
1　木原千代子（菊池農蚕）
2　千原　五鈴（京都女高）
3　徳永　智子（熊本市立）
4　桜木　礼子（菊池農蚕）
5　久連松美和子（熊本市立）
6　山口　ヨシ（福岡明善）
7　西村八千代◎（熊本市立）
SuB　立山　康代（菊池農蚕）
迫　敦子（〃）
安藤　芬（〃）

ぜひ海外遠征を実現
愛知紡（愛知）

①四大タイトル（全日本総合、国体、全日本室内、全日本実業団）の獲得。それに海外遠征の実現です。
②全員に期待。
③フォーメーションによる攻撃と速攻が得意。多角的遅速攻撃とスピードの不足が弱点。目下サーキットトレーニングなどで、基礎練習を中心に体力の増進とスピードをつけ、ボールに対する連鎖動作を養成しています。
④日体大。

監督　亀岡　成昌（同志社大出）
1　篠崎　益野（栃木女高）
2　山崎　鉦子（半田高）
3　宮本　幸子（水海道二高）
4　早川　清美（半田高）
5　磯部　昌子（〃）
6　青木　悠子（〃）
7　小島　夏子（〃）
SuB　塚原　米子（水海道二高）
山田　和子（稲沢高）
古谷うめ子（水海道二高）
沢田　勝子（半田高）
石川　良子（成岩中）
（◎印＝未記入）

レナウン工業東京（東京）

①全日本総合選手権で決勝進出すること。ことしは大いにがんばる。立川工場にもチームができるので、選手の割りふりは四月になってから考えたい。
②桐原が倒れ込みシュートをマスターしたのが強味。椎名の出足はすばらしいし、パスワークがいい。この二人がレナウンのリードオフマン。GK山田のプレーはますますうま味を増した。

監督　塩川　安賢（芝浦工大出）
GK｛△山田帆浪◎（日体大）
GK｛武井　早苗（山梨高）
GK｛柿沼　夫美（栃木女）
△穴田　勝恵（富山女）
△桐原恵美子（太田二高）
△関　則子（〃）
△椎名　八重（〃）
△剣持トモヨ（清水商高）
鈴木　雅子（栃木女）
鈴木　孝子（〃）
野沢富美江（山梨高）
渡辺　征子（水海道二高）
風岡　亮子（富士宮東）
川上　きみ（太田二高）
太田美紀子（秋田和洋女）
斉藤せつ子（栃木女）
竹本千恵子（有磯高）
注＝△印は昨年度レナウン工業の選手。あとはいずれも新人。

③ロングシューターがいないのが寂しい。ことしは速攻を多く使かう。
④愛知紡、大崎電気。
注＝選手は四月に本社チーム、立川工場チームに二分される。

レナウン工業大阪（大阪）

GK｛岩田　洋子（梅花学園）
GK｛溝畑カオル（東生野中）
杉浦　正子（尼崎高）
今城麻濤子（梅花学園）
菊田　広子（布施女高）
東　和子（新居浜西高）
田林　久代（那賀高）
永盛　正子（京都女高）
藤戸　弘子（〃）
岸田　佳子（〃）
吉川喜代子（〃）
岩本　澄江（東生野中）
木村　美子（本庄中）
注＝責任者（コーチ）は寝屋川高校の中出先生。◎印は未記入



当面の敵は愛知紡

大洋デパート
主将　西村八千代

昨年のメンバーから井手さん、今池さん、関さん、蒲原さんが抜けたので、ことしは大いにがんばらないと大変です。四月から三人ふえて総勢十一人になるので心丈夫です。しかし新しいチームをつくらなければならないので責任が重い。昨年にくらべ戦力の半減はやむを得ないと思っています。当面の敵は愛知紡、それに大崎電気です。愛知紡には昨年全日本総合、国体と2連敗しています。〝打倒愛知紡〟。これが全選手の悲願です。ことし一月の県室内選手権の決勝で熊本商大クラブ（関、今池、井手、村上、弥富、徳富＝旧姓西村）を7―6で破って優勝しました。これであるていどの自信がつきました。でもこれだけで満足はしていません。練習に重点を置き、いま必死になってボールを追い駆けています。出社前に軽い練習、午後は三時三十分から二時間の練習です。朝はロードワーク、これは試合時間の40分をフルに走れるようにするためです。走らないチームは成功しません。シュートひとつをとってみても、走ることが大きな要素になっています。このごろは練習するのがおもしろくなりました。主力になる八人はハンドボールが命であり、恋人でもあります。



▽…練習を通じて得意なコースをマスターしたいと思っています。速攻一本槍でなく、ローリングを加えて強い一本の線とする考えです。桜木さんも「大いにやる」といっていますので安心です。チームワークのいいことがなによりも大切です。監督さんのいいつけどおりに動けるようになりたい。とにかくことしは昨年以上にがんばります。

泣く時間は反省に

熊本市高
主将　増永秀子

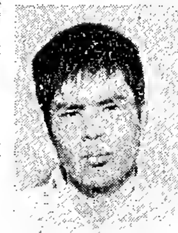
ことしは、三年生三人が主力です。二年生をみっちり仕込むのが目標ですが、これには三年生が努力しなければなりません。いまの実力は熊本県で最下位です。これはほんとうです。一昨年の西村八千代さん、西村美代子さん（現姓は徳富）時代に築き上げた〝黄金時代〟を再びつくりたいと思っています。それにはいままでの二倍、三倍の練習が必要です。相当つらいと思いますが、覚悟しています。幸いなことに大洋デパートという強力なチームがあるので、先輩にお願いして教えていただきます。練習は毎日二時間半です。監督さんも一生懸命なので。わたしたちも監督さんの努力に報いたい。ときどき監督さんに怒られますが、逆にファイトがわきます。二年生の津田さん、今池さん（大洋にいた今池さんの妹）の二人に大きな期待をかけています。県大会では菊池農蚕をマークし、でき得ることならインターハイで半田高を倒して優勝したい。負けても決して泣きません。泣く時間があったら試合経過を検討し、反省します。一にも練習、二にも練習、三にも練習です。練習即優勝をモットーにしています。



万年二位の汚名返上

桜台高
主将　近藤信行

ここ二、三年中京商に大事なところで負け続け、万年二位に甘んじています。ことしこそはその汚名を返上しようと張り切っています。昨年でも中京商と実力は互角だったと思っているのですが、インターハイ決勝、国体予選とここ一番の勝負に1点差で涙をのみました。ワンマンチームになりがちだったことが、せり合いに弱い原因だったと考えられます。ことしは、まずチームプレーに徹することと、これを第一目標にして王座を再び奪い返すつもりです。新チームは国体予選が終ってすぐに成、連日猛練習を続けています。昨年のメンバーから六人抜けましたが、チーム力は決して低下していません。ウチはもともと速攻を身上とするチームです。ことしはそれをさらに徹底させるため、稲石先生のご指導で毎日四、五千メートルを走って脚力をつけています。同時にウチは関西のチームのように遅攻でくるところに苦戦しがちなので、その対策もこれから身につけようと思っています。



インターハイ四連勝

中京商
主将　渡辺信義

新チームを結成してから、正月休みも返上して練習に励んでいます。場所は学校から、約一時間かかる名古屋工大千種分校グラウンド。ここで名古屋工大宇津野先生の指導を受けています。長い間ハンドボールに情熱を傾けてこられた宇津野先生の、理論を体得するのに僕たちは一生懸命です。もちろん目標はインターハイ四連勝です。

昨年のメンバーから七人が卒業

しましたが、僕たちはそれを不可能だと思っていません。新メンバーは昨年とくらべ、スケールが小さくなったのは事実です。それだけにもっともっと走れるチームにならなければと思います。もう一つ大切なことはコンビネーションプレーに熟達すること。要するに平均した力を持つチームなのだから、各自の力を最大限に生かそうというわけです。幸い名古屋には桜台高という好敵手がいます。たがいにわざを磨きあって、すこしでも高度の技術を身につけたいと思っています。

四大タイトル独占

大崎電気
主将 竹野奉昭



36年度は全日本総合室内、国体、全日本実業団の3大タイトルを獲得できたが、37年度は全日本総合（11人制）のタイトルを合わせて4大タイトルを目標にしています。このためには11人制で強敵芝浦工大を破ることです。ことしの芝浦工大は佐藤、勝倉の両君が卒業しているが、戦力は少しも落ちていない。むしろ昨年よりも強いと思っている。いままで芝浦に室内（7人制）で2勝しているが、11人制で2敗している。「11人制では勝てない」というジンクスを打ち破るようベストをつくす。それには芝浦工大に絶対走り負けぬようにすることがすべてである。それに球技はボールがどう変化するかわからない。したがって臨機応変のプレーができるようにしたい。さらにパスワークのフェイントを使わなければならない。こういうことをマスターしない限り芝浦工大には勝てない。ことしはどうしても芝浦工大を倒す。これがことしのいちばん大きな目標です。新人の坂野、餅原君（中京商出）の成長も楽しみのひとつです。

チームワーク忘れず

芝浦工大
主将 北村尚奕

昨年は惜しいところで4大タイトルを逸し、連勝記録も30連勝でストップされた。ことしは昨年の成績に劣らないように、また芝浦工大の名に恥じない試合をやって行きたいと思っております。

試合をするからには優勝したいのは人情である。「希望は大きく持て」と昔からいわれているので最終目標は4大タイトル獲得である。

しかしそういうことは抜きにして、とにかくいかなるときでも全力を出してプレーをする。その結果が勝利をもたらすのである。勝敗は度外視して実力をじゅうぶん出し切れるようにしたい。



スポーツにおいて、特に団体競技であるハンドボールではチームワークが最も大切なことです。これはスポーツマンであればだれでも知っていることです。この当たり前なことですが、なかなか守れない。後に悔いを残さないように、この平凡であるが大事な「チームワーク」という言葉を忘れないように心がけて行きたい。

実際にプレーをする11人はもとより、他の部員も一丸となってチームプレーに専念することです。いかなるときでも実力を出し切れるよう常に心がけなければならない。その結果得られる勝利を味わえたら、スポーツマンとしてこの上ない喜びではないか。このスポーツマンとしての理想に一歩でも近づけるように、練習—試合—合宿生活で努力して行きたい。

プレーの面では一試合、一試合全力をつくす。いつでも実力を出せ、同じ調子でプレーできるチームになりたい。速攻と遅攻の両方の攻撃方法および防禦方法もマスターしたいと思っております。

お笑い傑作集

戦後十七年ともなると、その間にはいろいろな出来ごとがある。それをご覧にいれます。

（その1）**「ヘコタイム」**……九州地方の人なら知っているはず。23年の国体九州予選でレフェリータイムならぬ「ヘコタイム」。「ヘコ」とは鹿児島地方の方言で「越中ふんどし」のこと。試合中にレフェリーのショートパンツから「晒（さらし）のふんどし」がなびき始めた。当のレフェリー君あわてて「タイム」をかけ、本部席前でやおらこのヘコを押し込んだ。プレーヤーはなんのためのタイムか最初はわからなかったが、あとになって腹を抱えてお笑い。「その人の名は言えない」が、いまだに語り草のひとつになっている（鹿児島の先生よお許しあれ）。

（その2）**「やぐらフリースロー」**……相撲のやぐら投げではありません。第五回国体（名古屋）一般男子の東京—大阪のゲームの出来ごと。東京のフリースローのときCF松本君（現協会常務理事、教大出）がCH川島君（教大出、現在弘前市で医師をやっている）の肩に乗っていきなりシュート。これがみごと決まった。ところがレフェリー君（特に名を秘す）はこれが〃有効か、無効か〃の判定ができず、一目散に本部席へ。そのときの審判長高嶋氏（現協会理事長）は即座に「無効」と判定したので、このレフェリー君大よろこび。ホイッスルをふいて「ノーゴール」。川島、松本君は「どうせゴールインは認められないんだが、ひとつ参考のためにやってみろ」と相談したあげくのやぐらフリースロー。まったくレフェリー泣かせですね。だからレフェリーはちゃんとルールを知らないといけませんよ。

（その3）**「判定勝ち」**……ボクシングみたいだが、ハンドボールでもあった話。第五回国体の高校男子高校、天王寺—済々黌のゲームは0—0のまま第3延長までやった。しかし相変わらず0—0。どうしたものかと審判員が頭をひねくった結果、投票で決めることになった。判定は7—7でこれも決まらず、最後に審判長に裁定してもらうことになった。この審判長は試合の内容を検討したすえ、「天王寺の勝ち」を宣した。これでやっと天王寺が判定勝ちで済々黌を破った。前代未聞のことである。いまでは抽選方法で決めるが、最近は某県で「ジャンケン」方式を採用したとか。インドアのため七人が向かい合って、ジャンケン、勝ちの多い方がいいわけである。だからこの県では「ジャンケンの練習」を始めたとか。ご苦労な話です。

（その4）……このほかレフェリーが試合中に入れ歯を落として大いにあわてたり（現在大阪に在住の人）、ノーマークの選手をバックスの二人（熊本の人）が両側からぶつかり「サンドウィッチの反則」といわれ、14メートルをとられて負けたゲームがあった。これを「うらみのサンドウィッチ」といっている。

ただ"練習"の二字

同志社大
主将 大曽根幹彦

三十七年度のシーズンがまもなくやってくる。ことしは卒業生五人を送り出し、相当のマイナスは覚悟しなければならない。したがって昨年以上の練習量でこれをカバーし、一日も早く昨年のレベルに追いつきたい。これがことしの第一の課題である。昨年は初めて全日本学生王座決定戦に出場し、われわれのめざす目的に一歩近づいた。しかし最終目的はまだまだ遠いところにある。昨年の全日本学生選手権大会の不成績は反省すべき点が多かった。学生にとってこの大会と学生王座決定戦に勝つことが最大の願いである。ことしは"練習"の二字をモットーに、昨年よりもいっそうの飛躍を期してきたるべき新しいシーズンにのぞみたい。

追われる苦しみ打破

愛知紡
主将 沢田勝子



希望に満ちた春が駆け足でやってきました。チーム結成いらい五年で念願の四大タイトルを獲得できていまは喜びに浸っています。しかし、この念願達成には、会社の温かい理解と環境に恵まれて、監督さんやコーチの先生を中心に部員全員が一丸となって努力してきたことが実ったものと思います。そのうえ地元の方々や多くの関係者の御支援が、私たちにファイトを与えてくださったことも忘れることができません。

ことしの私たちは、実業団チームの仲間が増えることを喜ぶとともに、追われる苦しみを打破したいと思っています。昨年以上の充実したチームをつくるよう、チームワークを第一に、技術、体力、精神三面の鍛練を積む覚悟です。

私たちの信条は、ただ勝つことのみでなく、立派な愛知紡績の従業員であり、またスポーツマンであることです。当社の社長訓である「人の和」「真の健康」「技術の向上」をハンドボールを通して一歩一歩努力し、練磨することにあるのです。

ことしは国際試合も開かれるとか。また他チームの新陣容を耳にするたびに更にファイトを燃やしています。ことしも四大タイトルを保持すべく、「おおいにやるぞ」と全員がトレーニングに懸命になっています。

愛知紡との距離短縮

大崎電気
主将 宇井敬子

ことしは愛知紡とのゲームで少しでも点差をちぢめること。これがわたしたちの願いです。それだけに大いにがんばらないと、この願いは達成できません。ことしは部員が7人増えたので思い切った練習ができます。いままでは8人だけのチームが、いっぺんに15人になりました。戦力は昨年の二倍です。ですからわたしたちは死にものぐるいで練習し、愛知紡との点差をちぢめることができると思います。さらに相手のペースに乗ったとき、いままではフォーメーションがくずれてしまいました。パスミスを繰り返えし、アタックするときのバックスのコンビが悪かったのは事実です。こんなことではだめです。幸いに新人はいずれもわたしたちより大柄なので、みんな期待できます。わたしたちも新人も、がっちりスクラムを組んで強いチームになりたいと努力します。



戦う以上勝利を

墨田川高
主将 高田正徳

三十六年度は、全国大会出場、国体に第3位、関東大会に優勝とめざましい活躍振りを示した。しかし三十七年度の陣容は、去年と同等な戦績はおろか、その半分の成績もあげることはできないかも知れない。だが、新人戦からの練習期間もじゅうぶんあったし、これからもまだまだある。シーズン到来までには、大いに練習をつみ、自信をつけるつもりだ。本校ハンドボール部には、輝やかしい伝統がある。いまの僕たちが最も心がけていることは、この"伝統を守る"ということである。勝つことだけがスポーツではないが、戦う以上は勝ちたい。そして僕たちは全力をつくして、この伝統を守る。その意味で今年の目標を関東大会においている。関東大会では前年の優勝校として恥ずかしくないように戦い、それに相当した成績を収めたいと思っている。もちろん、他の大会においても、全力をつくして戦いできる限りの成績をあげたい。



◇　◇　◇　◇

◇昭和37年度関東学生連盟役員

▽理事長　中沢重夫(芝工大出)
▽委員長　平館健司(中大)
▽副委員長　浜中惇次(立大)　小泉信(東大)　長渕建夫(芝工大)　小野慶子(日体大)　高田日呂美(教育大)
▽書記　海老原勲(日体大)
▽会計　小泉信　▽設備　浜中惇次　▽報道　長渕建夫　高田日呂美

ホット・ニュース・コーナー

民放でもTV中継

一月に行なわれた第二回全日本実業団選手権の男子決勝戦(住化菊本対大崎電気)を東京放送TV(TBS)が実況中継した。

これまで、ハンドボールの中継といえばNHKオンリーだったが、最近では民放でも盛んにとり上げるようになり、昨シーズンはこのほか、世界選手権日本代表対大阪戦を朝日放送TV(ABC)が、関西学生秋季リーグを毎日TV(MBS)が、それぞれ大阪から中継している。

商業放送が、ハンドボールの中継に関心を寄せ始めたのは、それだけハンドボールの一般的興味が上昇していることを示すもので、嬉しい話である。

五大都市大会に初参加

五大都市(大阪、神戸、京都、名古屋、横浜)体育大会に、ハンドボールをという声が、近年急激に高まって関係者の間で検討されていたが、今年七月に名古屋で開かれる第十三回大会からオープン種目として初参加が決まった。

栗本氏、体操協会会長に

日本ハンドボール協会顧問の栗本義彦氏(日体大学長)はこのほど日本体操協会の会長に選ばれた。日本スポーツ界の大黒柱であり、ソフトボール、バドミントン、アーチェリー、軟式庭球、ボクシングの各競技団体の役員を兼ねている。東京高師卒、和歌山県出身、六十四歳。

ことしの学連へ望む

内容の充実計れ

ここ二、三年、学生界の活動ぶりは実に活潑で意欲的である。昭和十三年に関東学生リーグが生まれて、今年はちょうど二十五年目。学連の基盤は文字どおり揺ぎないものとなった。

しかしまだまだ考えてほしい問題がある。

第一は、中央における運営、組織面の拡充に一応のメドがついた現在、次に心がけるものはその内容的な充実である。芝浦工大という傑出したチームの出現によって、学生界は最近、全日本の優勝をOBやクラブチームの手から奪い取っている。しかし正直なところ芝浦工大に次ぐべきチームは、わずかに関学をおいて他に見当たらない。

これでは学連の基盤がいかに確立されようとも、〝仏つくって魂入れず〟の格言どおりである。「学生界は球界の最高峰である」というには、いささかお寒い内容である。

名実ともに学連が日本のハンドボール界の中心勢力となるには、やはり試合内容の充実、高度化以外に道はない。これは学連加盟各校の自覚を喚起するほかはなく、またすべての学生プレーヤーが心がけるべき問題であろう。

その一つの実証として、今年こそ芝浦工大を打ち破るチームの出現を期待したい。

第二には中央と地方の積極的な交流である。東西の各チームが率先して地方の大学チームと手合わせをする機会をつくるべきである。初めて地方で開く今夏の仙台の全日本学生選手権の成果は大いに注目される。

第三には〝室内（七人制）〟の本格的研究を学生チームは怠ってはいないだろうか。

今春、実現を予定された全日本学生室内の解消は、学生の室内に対する研究をまた一歩遅らしたような気がしてならない。

国際的にも、国内的にも、もはや将来のハンドボール界に室内をはずしては考えられなくなった。

第四に定期戦の相互援助である。ハンドボール界の一つの動きとして、ハンドボールのPRのためそれを善用することは決して間違ってはいまい。

第五に女子チームの育成である。昨秋関東学連に二校ながら、十三年ぶりにそのリーグが復活した。

今年はチーム数の増加と、全日本学生女子選手権の実現をぜひ果してほしい。

第六に今秋、来日を予定される韓国学生チームと定期的な交流をはかり、将来ヨーロッパの大学チームと手をたずさえユニバシァード（国際学生スポーツ週間）への参加を練ってみてはどうだろう。

、学生ハンドボールが生まれて二十五年。それを飾るにふさわしいプランと思うのは筆者一人の大それた夢であろうか。

【駒沢球治郎】

ことしはこうする

関東学連委員長 平館健司（中大）

今年私がやろうと考えている仕事は、昨年の委員長が計画した「定期戦の集中」を本格的に実行に移すことである。

各大学が行なう定期戦の集中により、ハンドボールというスポーツを世間一般の人々に少しでも理解してもらいたいと考えている。

フイールドだけにかぎらず、独特のおもしろさを持っているインドアも、定期戦のなかに入れ、定期戦をさらに有意義なものにしたい。

春季リーグ戦をもって東京オリンピック準備のため駒沢グランドは使用できなくなる。日本のハンドボールが世界のAクラスにあと一歩というところにある現在、グラウンドの使用できないことはまったく残念なことである。

私はこの問題を一日でも早く解決し、ハンドボールの発展を期待する。

この時機にあたって協会ならびに学連の諸先輩の方々のご協力をお願いします。

なお地方で行なわれる大会に対しても、関東学連として関西、東海、東北北海道の各学連諸氏と連絡を密接にとり、ハンドボール発展のために協力を惜まぬ覚悟でいます。

先輩諸氏のご指導をお願いします。

5分間インタビュー

—昨年の秋に一部に昇格して6位になったが。春のリーグ戦はどうかね。

北垣—関学、同志社、関大のように歴史はないが、とにかく関西学連の三強から1勝したい。これが大きな希望です。

—学年別の選手数は……

北垣—四年生が4人、三年生が1人、あとは二年生です。全部で24人です。このうちプレイヤーは18人。

—ことしのエースはだれ……

北垣—桃山大はエースをつくらないことにしています。プレーする全員がエースということにしています。強いていうならばFWの大野、それにGKの永富です。コンビネーションプレーのチームです。



桃山学院大主将
北垣義明

—合宿はどうするの……

北垣—三月二十日から松山市の自衛隊を予定しています。桃山大のPRを兼ねて。そうしないと地方の選手が集まらないので……。

—日体大の栗山君（明石高）と同期とか。

北垣—そうなんです。彼はうまくなりましたね。明石高出身は桃山大に3人、関学にも3人います。関西学連副委員長の林君（桃山大）も明石高です。

—コーチはだれ?。

北垣—馬場先生、それに寝屋川高の中出先生にもときどきコーチしていただいています。いま部の庶務をやっている二人の女子を土台に、女子チームをつくる計画があるんです。とにかく少しでもハンドボール入口をふやそうと思っています。

家事見習い兼ねた女子合宿

=楽書帖= 第九回

鴛尾武治

▽……某月某日熊本の大洋デパートを訪れて、人事課長の山内藤吉さんに会った。「チームをつくってよかったと思いました。バレーボールのチームもありますが、ハンドボールの選手たち(八人)は職場で評判がいい。規律も日常生活も正しく、非常に明るい娘さんたちです。やはり全国大会で優勝した熊本市立高校の選手はりっぱです」と手放しでよろこんでいた。もちろん山口社長のお声がかりはいうまでもない。新しい寮もできて合宿にはいっている。選手の食料品は山内課長のハンコひとつでデパートから取りよせる。八人が順番に炊事当番となって、目玉焼き、みそ汁、野菜の油いためをつくる。家事見習い―練習―職場の三つを一度にやりとげる。キャップテンの西村八千代ちゃんはものすごい張りきり方である。第八回全日本室内総合選手権は棄権した。「年末大売り出しで忙しい」というのがその理由――だった。りっぱな心がけ。

▽……〃水俣の雲助〃といってもわからない人が多い。本名は白取義輝といい、熊本県水俣市教育委員会のハンドボールファンである。一昨年の熊本国体では水俣市の国体事務局の〃ボス〃だった。これは良い意味での〃ボス〃である。なんでもこんどは7人制普及のため水俣体育館をつくったとか。この人もハンドボールはしろうとだが、三十四年の全日本総合、三十五年熊本国体と二度にわたるハンドボール競技で、いまやハンドボールにかけてはくろうとはだしである。水俣といえば鹿児島県境に近い小都市、スポーツはハンドボールオンリーとか。市長さんも助役さんも熱心なファンだ。雲助というのは見るからに〃箱根の雲助〃を思わせるから……。生れはズーズー弁の産地である青森県、いまは熊本弁でしゃべりまくる。むすめさんは京都女高の監督をしている白取愛玲さん、年ごろのむすめさんなので「早く結婚させんと」と人一倍気をもんでいるとか。親父は熊本弁、むすめさんは「そうどす」と京都弁、仲をとり持つのがこのハンドボールです。この雲助さん、こんどは東京オリンピックに備えてカヌーに力を入れるとか。

▽……全日本室内総合選手権で大崎電気(男)が優勝したとき、渡辺社長は「国体に次いで二つのタイトル、この感激は忘れられない。三十七年は国体、全日本総合、全日本室内総合、全日本実業団の四大タイトルをとりたいものだ」という。その晩は祝勝会で生れて初めて酔いつぶれたそうだ。よほどうれしかったんでしょうね。惜しくも31連勝と四つ目のタイトルを逸した芝浦工大の選手は帰りのバスのなかでショボリ。三浦先生は「くよくよするな。弟(芝浦工大)が兄貴(大崎電気)に負けたんだ。来シーズンがんばればいいさ」と選手を慰めるのにひと苦労していた。年寄り(三浦先生ゴメンサイ)に心配をかけるもんぢゃないですよ。芝浦工大の諸君よ!!。

☆☆

時評

故意の反則どしどし退場

ゲームのスピードアップに研究を

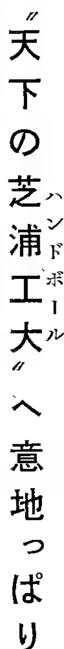
▽……スポーツはスピードがあってこそおもしろいものである。アイスホッケー、バスケットボール、室内ハンドボールはスピードとスリルがある。スピードこそスポーツの本質であろう。昨年欧州遠征に同行した荒川清美氏(日体大監督)は本誌に「欧州における審判の問題」をとりあげている。このなかで「欧州のハンドボールはスピードに富んでいる」といっている。日本のインドアはかなりスピードがあると思っていたが、荒川氏の説明によると欧州は日本以上にスピードがあるそうだ。それは審判員のジャッジによるところが大きい。たとえばフリー・スローの場合、スピーデーな試合運営を常に考えてフリー・スローの場所は全く問題にしない。またフリー・スローの場所につきながら、相手チームがボールを返さなかったり、反対の方向にボールを投げたりすると2分間退場の反則が適用される。これはいいことである。日本ですぐこれを実行すると無理がでるだろうが、やはり欧州の長所は日本にとり入れてもいい。

▽……わたしはいつでもこう思う。どうも日本の試合は反則が多すぎる。戦後西独、ルーマニアが来日したとき、反則はあまり見られなかった。日本は大学でも高校でも反則の連続である。反則すれば相手チームのフリー・スローとなってチャンスをあたえる。それだけ時間のロスとなり、スピードが鈍る。ゲームが常に中断されるとおもしろくない。故意に反則したときはどしどし退場させるか、14メートルスロー(男子)、7メートル(女子)を適用すれば自然に反則が少なくなる。「どんな場合でも反則はやってはいけない」ということを選手自身に植えつけさせる。その点バスケットボールの「5反則退場」は効果的だ。十二月の全日本室内総合をみた新聞記者のほとんどが「ハンドボールの反則はどうにかならないものだろうか。制限回数を設けたら選手自身が自覚し、試合はもっとスピードを増す。またゲームそのものもおもしろくなる」といっていた。確かにそうである。協会関係者はこの声をどう受けとるか。

▽……全日本室内総合は第六回から第八回まで三年連続して東京で開いた。第九回大会も東京に内定した。これは大会を引き受けてくれるところがないのだろうか。これでは7人制の普及は遅れるばかりだし、なんとかならないものだろうか。国体開催の前年の夏に全日本総合を開く方法はすでに行なわれ、またインターハイは引き受け先が多すぎるという。どうもインドアだけが〃ままっ子扱かい〃のようだ。ところで第九回大会を新潟県の柏崎市が国体のPRとして開催したいとか、またハンドボール王国の愛知県の豊橋市でもなにか大会を誘致したいとか。これは耳寄りな話。東京で開くときは他のスポーツがオフシーズンであり、ハンドボールにとってプラスのときである。新聞、テレビなどマスコミの扱かいも大きい。地方で開催したときは大きく扱かうのは地元紙だけだという。ちょうど板ばさみの形。しかし大きな目でみたら地方で全日本インドアを開く方が、それだけファンを増すことになろう。(結局理事会で豊橋で全日本実業団(三十八年二月)、柏崎で招待試合(三十八年一月)に決まった。)

〃天下の芝浦工大（ハンドボール）〃へ意地っぱり

芝浦工大ハンドボール部部長
三浦元秀



「ハンドボールといえば芝浦工大」――このことはスポーツマンならだれでも知っている。芝浦工大がハンドボールの代名詞になっているといっても言い過ぎではない。〃天下に芝浦工大あり〃といわせたのはハンドボール部長の三浦元秀教授である。この人はハンドボール部を創立するまでハンドボールの「ハ」の字も知らなかったというから恐るべき人物である。創立いらい選手を激励し十年たらずで名門日体大、教育大、関学、早大、慶大を蹴落としてハンドボールの王座についた。三浦先生の努力の賜物である。そこで三浦先生にチームづくりのいきさつをきいてみた。

――いったいどういう気持ちからハンドボールに首を突っ込んだんですか。

三浦――動機は非常に単純なんです。つまり野球、ラグビー、サッカー、バスケットボール、バレーボールを始めたところで、早大、慶大、明大、教育大にかなわない。どこの大学でも新興スポーツが手薄なので、このハンドボールを狙ったのです。ただそれだけですよ。

――そのころ芝浦工大にはハンドボールの関係者がいたのですか。

三浦――二十四年春に東大から高嶋さん（現協会理事長）が芝浦工大の体育の先生として来られたのです。当時芝浦工大は新制大学としてスタートしたばかりだったので、東大の口ききで高嶋さんに面倒をみてもらったのです。高嶋先生と学生スポーツのことでいろいろと相談した結果、ハンドボールを始めてみたらということになったんですよ。

――加盟はその翌年でしたか。

三浦――二十五年の秋に加盟しました。選手としての経験者はいなかったので、同好の士を集めてハンドボール部をつくったわけです。

▽…そのチームが十年の間に公式戦に47連勝、4大タイトル獲得、全日本学生選手権4連勝、全日本総合選手権3連勝と数多いタイトルを勝ちとった。三浦先生は「芝浦工大が強くなり、このことによって日本のハンドボール界が少しでも社会から認められ、前進すればわたしは満足です。もしお役にたったとしたらほんとうにうれしい」という。性格は非常な意地っ張り屋だ。自分では「無軌道」といっているほどである。無軌道というのは自分でこれがいいと思ったらすぐ実行する意味である。大学でも三浦先生には一目も二目もおいている。間違ったことが大きらい。大学での資格は建築学の教授、大学事務局長兼学生課長、ハンドボール部長である。朝八時には大学に出勤し、週四日講議の時間を持っている。この講議がまた大した評判である。話術はうまいが、本人は謙遜しながら「話題はへたです」というが、なかなかどうして。女子学生は一日も欠席せず講議をきくというし、教室はいつでも満員だ。講議が終わると事務局長に転身し、大学の重要書類に目を通す。学期末になって落第生があると「ご両親に心配かけるもんじゃない。しっかり勉強せい」となかなか恐い先生である。いくらスポーツの選手だからといってもなかなか厳しい。「勉強が第一、スポーツは第二」という。理工科系統の大学だから就職率がいい。「芝浦工大の卒業生なら安心して就職できるようにする。だが成績の悪い学生はいくら就職が決まっても卒業させない」となかなかの強気。実業団NO・1の大崎電気はこの芝浦工大の卒業生が多い。社長の渡辺和美さんは三浦先生の後輩、つまりこの二人は早大理工学部の卒業生である。この渡辺さんが「芝浦工大の卒業生はみな優秀です」といつもほめている。

▽…「ハンドボール部の選手はみなかわいいよ。合宿―試合―学業の連続にもかかわらずみながんばってくれる。〃芝浦魂〃というのだろうか」……松本の合宿といえば夜汽車で駆けつけ、全日本総合といえば二等の堅い座席にすわり、インカレといえば神経痛を押して選手と起居をともにする。昨年夏倉敷の全日本総合のときも夜汽車で駆けつけ、蚊張がなくて蚊に攻められ、神経痛も人に言わず、選手にいやな顔をみせない。「若いものが広いグラウンドを駆け回わっているのを見るとうらやましい」というし、「ハンドボールを見ていると、すべての苦労を忘れる。勝っても負けてもハンドボールはすばらしい」とハンドボールを礼讃する。栃木県栃木市は栃木女高の近くの生れ、奥さんと愛犬秀子さんの二人一匹の生活。酒はたしなむ程度、ことし六十四歳。

7人制か

アンケート 2

日本のハンドボールが世界に乗り出すには男子の場合、11人制と7人制のうちどちらがいいか。理由をあげてください。

スリルとスピード

7人制賛成

▽**河東田義郎氏**（河北新報記者、福島大出）

積極的な理由としてゲームがスピーディーなこと。高度の技術が必要なこと。観衆にとって見やすいスポーツであること。

消極的な理由として少人数でできること。グラウンド、時季を問わないこと。女子でも男子でも統一のとれた方式でできること。

▽**矢島征二氏**（丸紅飯田、東大出）

実業団チームを増やすためには7人制がいい。スピード感がより豊富である。（ただし学生は11人制）

▽**隅田正彦氏**（スポーツニッポン新聞、早大出）

フィールドの場合、サッカー、ラグビーに押される。7人制、それもインドアに限る。スピードがあって見やすい。

▽**岩谷俊夫氏**（毎日新聞記者、早大サッカー出身）

11人制はすたれているので、7人制に切り替えるべきだ。いまはスピードを要求しているから当然7人制である。11人制はラグビー、サッカーに押され、ゲーム自体も中盤のゲームがないのでポピュラーでない。グラウンド、ファンを考えて一日も早く7人制にした方がいい。

×××　　×××

▽**東北学院大**（宮城）

7人制は興行的価値がある。速攻の連続なら興味がわき、スリルと高度の技術がミックスして観衆がよろこぶ。

▽**清水市高商**（静岡）

11人制の方がいいと思うが、ハンドボールを普及させるためには7人制がより適当だと確信する。

▽**徳山高**（山口）

ハンドボール人口が増加する。

①競技場が狭くてもいい。
②選手がまとまりやすい。
③ルールが簡単で、ゲームに深みがある。青少年の心理にマッチしている。
④室内でもできる。

▽**石岡一高**（茨城）

日本の選手は身長、体重に差はあっても、テクニックの面では外人選手に少しも劣っていない。7人制になれば外人選手と対等に戦えると思う。

▽**桐生工高**（群馬）

日本の選手は外人選手にくらべ体力的に劣っているが、コートが狭いので7人制が有利と思う。

▽**中京大**（愛知）

体力的。体格的にみても日本人特有の細かい技術を生かすには7人制の方がよいように思う。

▽**兵庫工高**（兵庫）

7人制を推す。身長はあまり関係ない。スタートダッシュが問題だが、その点日本人は外人選手に負けぬと思う。小さい動き、そして走る。これが日本人に適している。

▽**下関幡生工高**（山口）

7人制がいい。日本人の体力からみてコートの広さ、ゴールまでの距離が適当だし、人員が集めやすい。

▽**新居浜工高**（愛媛）

世界が7人制に移りつつある様子なので、7人制にすべきである。高校も7人制であれば、チーム数も多くなると思う。

▽**安積高**（福島）

11人制が理想だが、ヨーロッパの実情から7人制で行くべきだろう。

▽**本田技研**（三重）

体力的な差を細かいテクニックでカバーできる。

▽**大洋デパート**（熊本）

世界選手権参加だけの目的からいえば11人制の方が有利と思う。しかしハンドボールの将来を考えると7人制の方が大切だ。体力、体格の点からは11人制の方がごまかしができるが、観客動員、会場の面からこんごは7人制をさかんにやってほしい。

▽**大垣南高**（岐阜）

プレーをしておもしろいのは11人制だが、近代スポーツは普及性と観客とを無視しては成立しない。また国際関係をみて7人制に切り替えるべきである。さらに実業団チーム育成を考えても7人制に賛成。

▽**栃木女高**（栃木）

体力的限界と巧ち性をじゅうぶんに活用したら外人に比較し、最も適していると思う。

▽**那賀高**（和歌山）

11人制に比して7人制の方が、スピーディーにゲームが展開され変化が多い。

▽**桜水商高**（東京）

スピーディーであり、見ている立場でもおもしろ味がある。ファンが増える。

▽**新居浜東**（愛媛）

体力的なハンディはあるが、得

アンケート集計

チーム ＼ 区別	アンケート発送	アンケート回収	11人制賛成	7人制賛成	其の他（わからない。研究中。）
大学	27	17	9	7	1
実業団（男）	8	6	2	3	1
〃（女）	4	4	1	2	1
高校（男）	43	22	10	10	2
〃（女）	31	18	2	11	5
個人	6	6	0	5	1
計	119	73	24	38	11

注＝回収率　.613

11人制か



点の経過は速攻による場合が多い。したがって7人制。

▽**愛知紡**（愛知）

7人制。

▽**涌谷高**（宮城）

細かい早いプレーはルーマニアに比べて決して落ちていない。走力さえ養成すれば必ず成功する。

▽**菊池農蚕高**（熊本）

バレーボールの9人制、6人制の問題と同じで、ヨーロッパ各国が7人制に重点を置いているなら、国際的に数の多い方を行うべきだと思う。

▽**明善高**（福岡）

7人制の方が発展性がある。なぜならば11人制がドイツ中心であるのに対し、7人制はヨーロッパ各国の強い支持を受けている。競技者にとっては、ゲームもやりやすく興味も多いし、見学者にとってもよりスピーデーで楽しめる。

▽**住友化学菊本**（愛媛）

ヨーロッパに見習らって、日本も七人制を主体に考える必要がある。

▽**山陽女**（広島）

世界的に進出するには11人制がいいと思うが。最近聞くところによるとヨーロッパ諸国は7人制がさかんとか。しかも競技的価値からいうとやはり7人制がいい。全面的に7人制に切り替えた方がいいと思う。

▽**京都女子高**

日本人はどうしても体格が小さいから11人制は無理と思う。その点7人制は日本人に適し、細かい技術が生かせる。

▽**土佐高**（高知）

広いグラウンドなら体格で劣る。スピーディーで、キメの細かいことは日本人の得意なわざである。

高度の技術と真髄

11人制賛成

▽**芝浦工大**（東京）

ハンドボールの真髄はやはり11人制にあると考える。日本では技術が低いため、7人制の方に興味がそがれている。身長差のハンディを少なくするためにも、世界に乗り出すためにも11人制の方が有利と考えられる。

▽**大崎電気**（東京）

11人制の方がいいと思います。7人制だと体力的相違から攻撃、守備両面をうまくこなす選手が日本には少ないため。

▽**中大**（東京）

7人制は技術よりも体力を要求する。11人制は体力よりも技術を要求する。11人制がいい。

▽**中京商**（愛知）

基礎技術の充実と強化につとめれば11人制の発展と希望との余地がありと考える。スローイングのハンディと体力からくるスピードの相違は7人制に多く現われるのではないか。

▽**桜台高**（愛知）

11人制がいい。体力の差によるカベを破ることは7人制においては不可能に近い。ゴールが小さい故に、シュート限界が限られる。スピードの点では7人制がおもしろいが、体力の差は五、六十年しないと追いつかない。

▽**明石高**（兵庫）

攻撃、防御の活動地域が広く、ハンドボールゲームの特徴を現わすゲームができるから11人制がいい。ただし年少者には7人制。

▽**仙台二高**（宮城）

11人制。なぜならばルーマニアが来日したとき、芝浦工大が善戦した。7人制だと小さな日本の選手は外人選手に圧倒されて不利。

▽**鹿児島工高**（鹿児島）

7人制は体格で勝負が決まる。11人制は体格で決まるようなことはあり得ない。11人制がいい。

▽**小松実高**（石川）

11人制。体格のハンディがあるので、フィールドの広いコートで脚力を生かせばあるていどカバーできる。日本の選手は全般的に見てフィールドの方がいいと思う。

▽**修道高**（広島）

広いグラウンドで走り回る11人制がいい。

▽**広島商大**（広島）

11人制なら国際ゲームに参加してもよい成績があげられると思う。

▽**レナウン工業本社**（東京）

11人制の方が体力的不利が少ないのではないか。11人制の方が有利と思う。

▽**新三菱重工**（愛知）

ルーマニアが来日したときの11人制、全日本チームが世界選手権に参加した7人制。これをくらべると11人制の方が接戦だった。11人制がいいと思うが、私見では7人制(岡田監督)。

▽**羽咋高**（石川）

身長差についてみると11人制の方が少ないような気がする。バスケットボールの身長差が致命的であるように、7人制の場合もこれによく似ている。

▽**豊中高**（大阪）

11人制。敏しょう性、フェイントの長所。

▽**済々黌高**（熊本）

11人制がいいと思う。7人制はあまりにも体力の差が目につく。11人制は走ることによって比較的その差を小さくすることができる。

▽**熊本市立商業高**（熊本）

11人制。

▽**東京教育大**

世界で三位以内に食い込むためには、現在の日本人の体格、体力、国際ルールから考えて7人制は無謀である。11人制ならスタミナ、スピード、パスワーク、シュート技術で、いままでの国際ゲームの経過からみても可能である。

未記入

富山女、慶大、大崎電気女子。

わからない

静岡城北高、盛岡一高、倉敷青陵(女)、水海道二高、熊本市高

研究中

墨田川高校

地方の声

活発なPRを

アンケート３

日本のハンドボール界も新しいシーズンを迎えました。ハンドボールをよりよくするためにみなさんの声をおきかせください。

ハンドボール球界も新しいシーズンを迎えた。ことしは海外遠征、外国チームの来日のスケジュールがたくさんある。ハンドボール界も戦後十七年にしてようやく軌道に乗り出したといっていい。協会、県協会、各チーム、ＯＢがひとつになってハンドボール発展のためにベストをつくさなければならない。協会の方針は広く地方に伝えるとともに、マスコミ関係に強力に働きかけなければいけない。また地方の声にも耳をかして、〝地方の切実な叫び〟を聞くことも大事である。わたしは1月10日に全国の大学、高校、実業団、ハンドボール関係者にアンケート（120通）を出して、地方の人はいったいなにを考えているのか、〝地方の声〟を集めました。さっそく回答が集まったので、本誌にこれを掲載した。回答はいずれも心からハンドボールを愛する人たちの真実の声だった。審判技術の向上、ＰＲの不足、指導者の養成、中学の指導要領改訂、協会への注文などが圧倒的に多かった。この〝地方の声〟を参考にして、ハンドボール界がさらに前進することを希望する。（幸）

▽ＰＲが足りない

高校チームが他のスポーツに比して少ない。協会、高体連は考えているのかどうか。さらに実業団チームをふやすこと（**長野県協会**）。

中部・東海地区は大衆化しているのに、全国的にみるとそれほどでない。原因はなにか。それは協会のＰＲが足りないからだ。本部の運営に計画性がなく、国際試合のときでもご都合主義のようだ。年間計画の立案、運営、ＰＲは本部で責任を持って行ない、地方に範を示してもらいたい(**中京大**)。

マスコミの協力を得て、ハンドボール人口の底辺を広げてもらいたい(**広島商大**)。

ＯＢが出身校（大学、高校）を通じてＰＲし、日曜日には試合を開いてＯＢも参加する。体育課目として採用されるよう努力すること(**横田邦彦**＝神戸大出)。

大学、高校の卒業生は、各自の職場でチームを編成するように努力すること。もちろんマスコミの協力を忘れてはならないし、協会自体も大いにＰＲしなければならない（**矢島征二**＝東大出)。

ＰＲの努力に欠けている。それをやるのが協会である。日本のハンドボールは地方の指導者の努力、そしてハンドボールを愛するプレーヤーによって成り立っている。底辺（地方）はしっかりしているが。頂点（中央）がかすんでいる（**東北学院大**）。

注＝このほかにも「ＰＲの不足、マスコミを活用せよ」というのが圧倒的に多かった。

▽審判技術と審判員の等級制

講習会を開いてあるていどジャッジを統一してもらいたい（**大崎電気**）。

審判のミスジャッジをなくすため、ルールを改正して二人制にしたらどうか。バスケットボールのように（**函館中部高校堂高栄治**）。

審判について申しあげたいことは多々ある。技術面においても審判の割り当てにおいても、審判長は果して責任の持てる人を当てているか。また準決勝、決勝になると審判は決まっているが、それ以下の試合はそのつど割り当てている。これでは少しも進歩がない。

審判によってはフリースローアゲインが多いとか少ないとか。選手は審判の名前をきいてプレーを考えている。これでは困る(**桜台高**)。

審判技術は中央と地方とでは格差がありすぎる。早く統一してほしい(**住友化学菊本**)。

毎年大会に参加して痛感することは審判技術の不足である。本部審判と地方審判とでは技術差、連絡の不備があり、これにともなってプレーヤーの技術差も大きく影響してくる。いまだかって審判員の講習会を計画的にやった例がない。大衆化を策するなら本部からの審判員講習会を絶えず実施し、審判技術の向上をはかってもらいたい(**中京大学**)。

各地区ごとに協会、学連が一体となって技術、審判の二つの講習会を数多く開いてほしい（**愛知紡**）。

審判員の技術が拙劣。ＡＢＣ級とも再審査して、ライセンスを権威あるものにすべきだ（**河東田義郎**）。

公認審判員の資格について疑問を持つ。大会ごとに疑問を持つのは私ばかりでないと思う。全日本総合室内選手権大会がそのよい例ではないか。東京では公認する場合、厳格な審査をするだろうが……。私は次のことを提案する。

一級…国際試合、世界選手権
二級…全日本選手権
三級…ブロック大会
四級…県大会
五結…養成機関

の階級を設ける。

まず五級からスタート、期間、実績を規定しておき県の審判長が認定したら四級に昇格させる。以後上昇するごとに中央で審査する方法。検定は大会を利用するか、毎年定期的に審査会を開いて認定する。こうすることによって権威が出てくる。三級以上になると大会審判を依頼されるケースが出てくるから、派遣規定に基づく旅費などを支給する。もちろん全国共通とする。また腕にマークをつけて何級の審判か区別するのもひとつの方法だ（**森恭一**＝東北学院大監督）。

名選手必ずしも名審判にあら

ず。昨年の国体で審判のジャッジがでたらめだった。これが公認審判員かと疑いたくなった。審判員はもっとルールを勉強すべきである。また防御側の反則によって攻撃側はいちぢるしく不利になるのが通例になっている。たとえフリースローを与えられても、それだけでは攻撃側は満足でない。反則が多すぎるし、故意による反則の場合は14メートル（7メートル）をどしどし適用すべきだ。「反則したら14メートル（7メートル）だぞ」というように、審判員もプレーヤーも念頭に入れてプレーするように協会は指導すべきだ（熊本県水俣市教育委員会白取義輝）。

▽指導者養成の問題

指導者養成の対策がなっていない。一部の大学卒業生だけのセクト主義では発展は望めない。教育大、学芸大などに強く働きかけ、指導者を数多く養成することが先決である。協会役員が自費で地方へ出かけて行くだけの熱意がほしい。講習会を開いて指導すべきだ。また自ら指導者と名乗るものに限って、選手の養成を忘れたり、チームを持たずに威張っているのが多い（明善高）。

一般。学校を通じて指導者が少ない。指導者（体育教官）のいない高校で新しくハンドボール部を設立することは困難である。広く一般を対象として審判技術の講習会を数多く開いて、指導者を数多くつくることが必要である（長野県協会理事長若林正五）。

地方指導者層の若返えりが必要。ことに東北地方の協会理事はハンドボール発展のガンといえる（河東田義郎、河北新報記者＝福島大出）

指導者が極端に少ない（栃木女高）

▽中学指導要領からハンドボールがはずされたこと

これはハンドボールにとって痛い。現場の声で獲得しょうとする熱意も努力もみられない。中学―高校―大学―実業団と一本の線になって発展して行かなければウソである（明善高）。

日本ハンドボール協会は文部省に対してもっと積極的に働きかけなくてはならない（長野県）。

三十三年度から中学校に正課体育としての単元がなくなり、いままで以上にせばめられる傾向にある（栃木女高）。

中学校の大会を開催すればよいと思いますが、どんなものでしょうか。小学校でハンドボールに似たドッジボール遊びが盛んに行なわれています。これを中学校でなんとかアレンジしてみたいものです（住友化学菊本）。

小、中学生のハンドボールに対する認識を高めさせるようにしたらどうですか（愛知紡）。

文部省の学習指導要領の改訂を働きかけ、中学での体育必修課目とすること（河東田義郎）。

▽協会、学連への注文

ほかのメージャースポーツのなかに食い込んで行くファイト、政治力のある役員になってもらいたい。地方軽視の風潮を除き、どんどん開拓に乗り出してもらいたい（明善高）。

バスケットボールのようにロスタイムをなくすために、計時係りを設けることはできないか。ハンドボールのPRはまず7人制から。この大会を地方で多く開くこと。実業団チームがハンドボールに目をつけ出したのは7人制である。バレーボールのように場所をとらないし、スピードがある。しかも人間本能の投げることの楽しさを味わうことができる（桜台高稲石監督）。

高校生が海外遠征できるようになればますます刺激になるのではないか（栃木女高）。

海外遠征はどんどんやって、国際レベルに近づいてください。われわれもなんらかの援助をします（住友化学菊本）。

新チーム結成のときは、協会が練習場を斡旋したり、コーチを派遣するよう実質的な援助がほしい（丸紅飯田）。

全日本総合選手権大会に地区予選制度を設けよ。そうして優秀なチームが出場し、一回戦から伯仲した試合内容にしてはどうか。（学連に対して）全日本学生室内選手権を開催すること。全日本学生王座決定戦の回数を第一回の関学―文理大（現教大）に逆のぼり、通算回数になぜしないのか（隅田正彦 早大、スポーツニッポン新聞）

昨年の秋田国体の開会式で式場会長は「いろいろ困難な条件を克服され、準備に十二分の実をあげられた地元関係各位のご苦労に対し、深く敬意を表します。これとともにこの地にハンドボールの普及が促進されることを念願してあいさつとします」といわれた。そのとおり地方の普及が第一です。このため協会関係者は巡回指導、地方大会の開催促進に努力してほしい（岡野パルプ・福岡）。

再考の余地ある欧州遠征

杉山　茂（NHK）

▽…ことしのスケジュールのうちチェコ女子チームの来日は、先方の都合で中止になった。しかし日本女子チームが夏の世界選手権に出場するのは時期尚早論もあるが、一応喜んでよかろう。どのようなチームが遠征するかは、おそらく本誌に特集されると思うので省略する。昨春の世界選手権での成績を思えば、女子はさらに国際水準からかけはなれた成績しかあげられないだろう。一度も国際試合を経験していないので、それもムリのない話ではある（それだけにチェコの来日中止が惜しまれる）。しかしこの遠征によって上昇機運の国内女子界がさらに刺激されて充実されるとすれば、意義のあることであり、決まったからには成功を祈ってやまない。

男子チームのヨーロッパ遠征は、どのていど具体化されているかは知らない。遠征の費用を捻出できるなら、ヨーロッパチームの日本招待を優先すべきではなかっただろうか。

あるいは単独チームの自費遠征が他のスポーツ界でも行なわれているので、それならば別に異論はない。二年つづけてヨーロッパに無理をして遠征するのは、球界の現状を考えるとき再考の余地がありそうだ。韓国との交流は大賛成である。昨秋の日本大の遠征、古くは戦前の早慶連合の遠征と日韓両国はその接触のたびに互いに好結果を生んでいる。特に高校チームを遠征させ、学生チームを招待する計画は当を得た策である。

これを機に両国の間に定期的な国際交流が実現し、近い将来それをアジアハンドボール連盟へと発展させるべきではなかろうか。



熊本放談会

高嶋日本協会理事長、渡辺大崎電気社長は一月二十八日熊本大洋デパートを訪れ、同社の山口社長、山内人事課長と懇談した。熊本県協会から藤田理事長、大洋デパートの井監督らも同席し、女子実業団の育成について意見を交換した。

▽出席者△
高嶋　冽（日本協会理事長）
渡辺和美（大崎電気社長）
山口亀鶴（大洋デパート社長）
山内藤吉（　〃　人事課長）
井　薫（　〃　監督）
藤田八郎（熊本県理事長）

高嶋——大洋さんが実業団チームを結成してくれたので、日本のハンドボール界にとって大きなプラスになりました。関係者の一人として厚くお礼申し上げます。

山口——わたしはハンドボールを知りませんが、人事課長、監督、それに藤田さんの指導をうけています。

山内——熊本県協会の協力がなければ編成できなかったのです。

藤田——むしろわたしの方が無理を承知でお願いしたんですよ。これが真相です。

山口——結成したからには強くならなければいけない。井君しっかり頼むよ。神経質にならないで。


山口大洋デパート社長

井——はい。新チームには明善高から三人はいるので、かなりやれます。しかし井手、関、今池さんが抜けたので戦力は落ちると思います。でもがんばります。

渡辺——大洋さんは強いよ。少なくてもうちのチームよりは。

山口——大崎さんに負けないようなチームにしたい。

渡辺——大洋さんにはどうしても愛知紡を食ってもらいたい。そうしてうちは大洋さんを目標にする。ちょっと厚かましいかな。

太洋——大洋さんと大崎さんとを比べると大洋さんの方が強い。お世辞を抜きにして……。

練習はみっちり一時間半

山内——高嶋さんにおうかがいしますが、練習時間はどのくらいがいちばんいいのですか。

高嶋——わたしの経験からいうと、一時間半みっちりやればこれでじゅうぶんです。

山口——なにもわからないから理事長さんや、渡辺さんにお世話にならなければ……。

山内——インドアの決勝戦をテレビで見ましたが、大崎電気の応援はすごかったですね。

渡辺——あの日は会社は休みです。しかし体育館に出勤簿を持ってきていたんです。途中で抜け出したら勤務は早退ということにしています。

山内——社長命令ですね。

渡辺——そんなことはないんですがね（笑）。大洋さんがチームづくりに熱心なので、九州地区から選手をスカウトしません。約束しましょう。

山口——そりゃありがたい。東京—熊本がもっと近けりゃ定期戦をやりたいですが……。


左は山内人事課長、右は井監督

渡辺——大洋さんとうちとで決勝をやりたいですね。でもうちのチームは弱いから三年後になりましょう。レナウン工業の実力が未知数なのでこわい。尼ヶ崎、京都が中心らしいね（レナウン大阪のこと）。

山口——レナウンさんと取り引きしているんですが。勝負は別ですよ。

高嶋——鈴木さん（レナウン工業社長）は三チームつくったんですから、まったく驚きました。

山内——すばらしいですね。

渡辺——だから国体東京予選は日体大、大崎電気、レナウン本社、レナウン立川の四チームです。日本一の激戦地になってしまった。

藤田——関東は実業団チームが三チームもあり。ほんとうにうらやましい。

渡辺——来年また一チームできますよ。（どうやらジューキミシンのことらしい）

藤田——女子高校のチームを増やし、女子実業団をふやす。これがハンドボールをさかんにする近道です。それに中学校の育成を忘れてはいけない。

山口——どうぞよろしく願います。

高嶋——こちらこそ。

渡辺——こちらこそ。

合宿めぐり

早朝出勤、社内の掃除

大崎電気

会社から徒歩2分のところにある。大きい方が男子、小さい方が女子の寮でいずれも二階建て。男子は一階三部屋、二階七室、女子は一階一部屋、二階四部屋という豪華なものである。食事をつくってくれるおばさんが三人で、男女合わせて二十四人の胃袋を満たしてくれる。食事は男子の寮で狭いながらも二十四人がいっぺんに食事できる。ダイニング・キッチン式のなかなかしゃれたもので、テレビ、ガスストーブがあり、調理場には大型冷蔵庫がデンと構えている。この冷蔵庫は渡辺社長がポンと買ってくれたとか。大崎電気の選手は実に恵まれている。四月になると男子二人、女子七人が寮にはいるので三十三人にふくれあがる。食事をつくってくれるおばさんは大変だろう!!。男子は三千五百円、女子は二千円の寮費を出し、あとは渡辺社長のお世話になっているらしい。現在二十四人が一日に食べる米は一日15キロ(約一斗)、ご飯は食べ放題で、いちばん食べると思った男子の福本君、女子の古谷嬢は三食ともパン食という。

▽……朝は六時三十分にベルが鳴り出しいっせいに起床し、全員で寮の掃除が始まる。七時に食事し、七時十分すぎに出社する。会社の出勤時間は八時なので「どうしてこんなに早く出勤するのか」と都丸マネージャーにきいたら『試合―練習でいつも会社の同僚に迷惑をかけているから、せめて社内の掃除ぐらい毎日やらせていただいているんです。別に強制したのでなく全員の総意なのです』という。なかなか立派な心がけである。男子の部屋をのぞいてみたら、テレビ、ステレオ、洋服ダンス、ベビーダンスがあり大したもの。なかには朝寝坊したのだろうか〃万年床?〃の部屋もあった。(それは今野君の部屋だったかな)夕食は練習が終わって夜八時、門限は十一時となっている。寮の前は資材倉庫になっているが、夏までには女子用のコートをつくる計画がある。風呂場には電気洗たく機があり、物干場、非常ベルと設備がいい。

健啖ぶりみて安心

芝浦工大

駒沢グラウンドの近くにある。〃滴水寮〃。これがハンドボール王者の合宿所である。部員四十数人、寮長はOBの近藤金博君、寮の近くには監督の高嶋さん、コーチの中沢さんが住んでおり、四六時間この四つの目が光っている。だから芝浦工大の選手は規則正しい。しかも門限があり、遊びに出かけることもあまりない。炊事当番は四年生を除き三人交代。練習―勉強―炊事とまったく休むヒマもない。いまの若い人には想像できないほど秩序が保たれている。ちょうどむかしの軍隊、そう思えばいい。高校を出てすぐ寮にはいる。故郷のご両親が炊事当番の姿を見たら、きっと驚ろくだろうし喜びもするだろう。ここの選手はだれでもごはんが炊けるし、十八番は〃オムレツ〃である。伝統のオムレツ……。このオムレツが、かの47連勝、30連勝。四大タイトルを生んだのだ。(ちょっとほめすぎたかな)。大広間に四十数人前の食事をならべると実に壮観だ。食欲の塊まりが首をそろえ、寮長の一声で食事が始まる。〃あっ〃という間にお膳の上の食べ物がなくなる。育つ盛りの若い人たちばかりだから無理もない。炊事当番の人は、この健啖ぶりをみて安心するそうだ。食事が終ると全員であと片づけ、見る見るうちに四十数人の食器が台所に運ばれて行く。なにごともなかったかのように静けさを取り戻す。このあとはミーティング、各自の部屋で勉強というコースをたどる。部員のなかには朝早く起きてアルバイトをやっているという。実にまじめである。このきびしい合宿も、楽しい練習が待っているから苦にならないという。恐るべきファイトである。

毎日変った献立

熊本大洋デパート

山口社長のお声がかりでデパートの近くにりっぱな寮がある。二階建、ハンドボールとバレボールの選手がにぎやかに住んでいる。ハンドボールはキャップテンの西村さんら八人、四月になると部員が増えて十一人になる。炊事当番はバレーボールの仲間を加え二十人たらずの食事を二人ないし三人交代。寮を訪れたときはハンドボールの西村八千代、久連松さんの二人。実にみごとに玉ネギのみじん切り。夕食はチキンライスとか。ハンドボールで鍛えたたくましい腕をふるって……。「とてもたのしいですよ」と彼女はニッコリ。食料品は米を除いてすべてデパートのもの。人事課長のハンひとつでなんでも好きな物を買う。ハム、チーズ、ブタ肉、タマゴ、キャベツ、魚、つくだ煮……。一カ月のうち同じ料理を食べたことがないという恵まれた合宿生活。部屋はハンドボールが三部屋、二人ないし三人が四畳半の部屋に寝る。橋幸夫をはじめ人気歌手のプロマイドがずらり。窓にはトレーニングパンツが干してあるところはさすが。鏡台には化粧品がいっぱい。「いったいいつお化粧するのか」と聞くのを忘れたが……。西村さんは「とにかくわたしたちは恵まれています。みんな社長のお蔭です。ですからわたしたちはがんばらないと申しわけありません。職場―練習―炊事当番はつらくありません。炊事のお蔭でごはんがうまく炊けるようになりました」という。久連松さんも「ほんとうに幸せです」と胸をふくらませた。(注=監督の井君と一緒に寮を見せていただいたものです)。



大洋デパートの寮風景



大崎電気（男子）愛知紡（女子）が初優勝
第八回全日本総合室内選手権大会

第八回全日本総合室内ハンドボール選手権大会は昨年12月20日から23日まで東京体育館、新宿体育館など四カ所で行なわれた。男子は予想どおり4大タイトルをめざす芝浦工大（東京）と実業団NO・1の大崎電気（東京）との優勝争いとなった。延長戦のすえ13―12で大崎電気が初優勝し、国体に次いで二つのタイトルを握った。芝浦工大は大崎電気に敗れて公式戦の連勝記録は30連勝にとどまった。女子は熊本大洋デパートの不参加で愛知紡の独走となり、八月の全日本総合、十月の国体に次いで3大タイトルを獲得した。最終日の23日には高松宮ご夫妻が決勝戦をご覧になった。（戦評は共同通信社の鷲尾武治記者）

男子

▽一回戦

明大（東京）32（14―4、18―10）14 KWS（静岡）

東京学芸大（東京）19（7―6、12―7）13 全都立五商高（東京）

明星ク 12（6―6、6―4）10 旭桜ク（東京）

松ケ枝ク（大阪）19（8―8、11―4）12 順天大（東京）

立大（東京）29（15―9、14―4）13 篝火ク（岐阜）

墨田川高（東京）23（12―7、11―2）9 函館工高OB（北海道）

日体大（東京）13（5―5、8―7）12 東北学院大（宮城）

全日体大（東京）21（11―5、10―5）10 早大（東京）

熊本ク（熊本）20（9―4、11―14）18 赤門ク（東京）

福島大ク（福島）19（8―14、8―2、1―1、2―1）18 浦和市高（埼玉）

京都ク（京都）28（14―5、14―8）13 全立大

全教大（東京）25（14―6、11―9）15 加納高（岐阜）

滴水会（東京）52（23―3、29―1）4 日大（東京）

明友会（東京）不戦勝 大阪イーグルス（大阪）

大崎電気（東京）23（14―3、9―7）10 清水市商高（静岡）

▽二回戦

芝浦工大 12（12―1、9―2）3 明大

明星ク 23（13―5、10―5）10 東京学芸大

立大 27（13―5、14―5）10 松ケ枝ク

日体大 21（8―4、13―4）8 墨田川高

全日体大 26（14―4、12―11）15 熊本ク

京都ク 35（13―2、22―4）6 福島大ク

滴水会 16（7―4、9―5）9 全教大

大崎電気 32（12―2、20―5）7 明友会

▽準々決勝

芝浦工大 24（12―1、12―3）4 明星ク

立大 18（6―4、12―5）9 日体大

全日体大 25（9―2、16―7）9 京都ク

大崎電気 16（6―6、10―3）9 滴水会

滴水会は芝浦工大の二軍メンバーであり〝16ミリ決勝戦〟といわれた。前半滴水会の善戦はすばらしく、大崎は受け身だった。後半大崎は竹野―宮原のコンビネーションで徐々に滴水会を引き離した。

▽準決勝

芝浦工大 17（7―2、10―7）9 立大

▽スローオフ　芝浦工大

▽レフェリー　大房（日体大出）

芝浦の立ち上がりは悪かった。立大の善戦にとまどってボールが回らず前半4分まで2―1とわずか1点差。15分佐藤（世界選手権出場）の7メートルスローでようやく4―1と3点差にしたが、芝浦得意の速攻は見られなかった。20分をすぎてから調子を出し22分佐藤、23分間（はざま）、26分佐藤のゲットで7―2で前半を終わった。これは両サイドをうまく攻めてポイントしたものであり、特に22分佐藤の得点は立大GKの意表をついた左手によるシュートである。後半は金山―佐藤―間の三人で得点して立大の追撃を断ち切った。立大は前半善戦したものの、ゴール前でのパスがおそく、しかも芝浦バックスにカットされて逆襲の浮き目に遇った。後半は全くスピードが落ち、コンビネーションがとれないうえに雑なシュートをくり返えして自滅した。結局は力の差というほかはない。

〔芝浦〕

	S	得	反
GK 谷	0	0	0
勝倉	3	1	9
久保	3	1	12
間	6	4	7
佐藤	12	5	5
斉藤	0	0	0
越智	11	4	9
（金山）	6	2	4
	41	17	46

〔立大〕

	S	得	反
GK 草ヶ谷	0	0	0
斉藤	0	0	6
与絹	0	0	6
江名	13	4	4
杉本	2	0	5
中根	6	1	9
小野	8	4	16
（松本）	0	0	3
（高久保）	0	0	1
	29	9	50

2（7メートルスロー）3

大崎電気 15（6―3、9―7）10 全日体大

▽スローオフ　全日体大

▽レフェリー　岡村（教大出）

〔大崎〕

	S	得	反
GK 福木	0	0	0
村上	5	2	9
高橋	1	0	11
田口	3	1	11
金田	1	1	9
宮原	5	2	3
竹野	16	9	10
	31	15	53

〔全日体〕

	S	得	反
GK 福田	0	0	6
蓮井	0	0	5
久保田	1	0	1
東	8	1	3
小林	2	0	6
青木	13	5	9
井上	8	2	0
（栗山）	2	2	0
（北山）	1	0	0
	35	10	30

1（7メートルスロー）1

前半は激しいつぶし合い。後半は速攻の応しゅうで好試合を展開したが、大崎が押し切った。大崎の竹野(世界選手権出場)、全日体大の井上(同じ)の打ち合いもおもしろかった。大崎は竹野にボールを回した。これがよかったわけだ。竹野は全日体の浅いゾーンを強引に割り、ジャンプシュートして前半5分、13分、28分と得点し前半リードの因をつくった。後半全日体大の井上、栗山が鋭い出足をみせて7分まで7―6と大崎1点のリード。しかし大崎は竹野のシュートで8分、11分、15分、23分と矢つぎ早やに決めて11―8と3点差にした。25分ごろから全日体大の帰陣がおそくなり、このスキをついて3点を連取して勝利を決定的にした。

過去の成績一覧表	男子		女子	
	優勝	準優勝	優勝	準優勝
第1回(大 阪)	日体大	大阪クラブ	春日丘クラブ	大阪カルチュアクラブ
第2回(平 塚)	日体大	大阪クラブ	日体大	大谷高校
第3回(大 阪)	全芝浦工大	日体大	日体大	四日市高校
第4回(名古屋)	日体大	全芝浦工大	半田高校	愛知紡績
第5回(大 阪)	全日体大	全芝浦工大	寝屋川クラブ	栃木女高
第6回(東 京)	全芝浦工大	全日体大	熊本クラブ	愛知紡績
第7回(東 京)	全日体大	大崎電気	熊本商大クラブ	栃木女高
第8回(東 京)	大崎電気	芝浦工大	愛知紡績	日体大

▽三位決定戦

全日体大 24（13―8、11―4）12 立大

実力の差である。立大が堂々とベスト・4に残ったのは大いに賞されていい。立大がこの気持を忘れずに春の関東学生リーグにのぞむと恐い。

▽決勝戦

大崎電気 13（2―2、2―1、6―3、3―6）12 芝浦工大

▽スローオフ 芝浦工大

▽レフェリー 松本（教大出）

〔大崎〕

	S	得	反
GK 福本	0	0	0
村上	3	1	8
高橋	1	1	7
田口	1	1	13
金田	5	1	6
宮原	3	1	3
竹野	20	8	5
	33	13	42

〔芝浦〕

	S	得	反
GK 谷	0	0	1
勝倉	1	0	19
久保	1	1	9
間	4	1	9
佐藤	14	7	6
北村	2	1	3
越智	5	1	3
(金山)	2	1	3
	29	12	53

5（7メートルスロー）4

大崎電気の観覧席には「STOP 31WIN」の横断幕。これは芝浦工大の公式戦31連勝をはばもうとする意味である。試合は芝浦の佐藤、大崎の竹野の打ち合いとなり、まれにみる激戦となった。

芝浦が後半27分9―7とリードしたときは勝負あったかに見えた。しかし勝負は最後までわからない。28分田口、29分には竹野がノーマークから右サイドにはいり、左すみに同点のシュートを決めた。学生GKの第一人者といわれている谷といえども、この一投には全く手が出なかった。それほどすばらしいものだった。大崎が最高殊勲選手を選ぶとしたら同点のシュートを放ったこの竹野だろう。

▽……延長戦は5分ハーフ、両チームとも速攻の連続で息をつくひまもない激しい試合だった。まず前半1分30秒芝浦は幸運な7メートルスローに恵まれ、佐藤がきれいに決めて優位に立った（芝浦10―9）。3分大崎は村上のシュートで10―10、5分にはフリースローから竹野が強引とも思われるシュートがあざやかに決まってこの試合で二度目のリード（大崎11―10）。後半1分竹野が7メートルを決めて大崎12―10と2点リードした。芝浦も2分50秒に間（はざま）のゲット（大崎12―11）、3分には竹野がGKの意表をつくアンダー・シュートでまたも13―11と2点差。芝浦は必死に追いかけ4分佐藤がノーマークから決めてまたも1点差。残り時間はあと1分、大崎はボールをキープして容易に攻めようとしない。芝浦は全員アタックに出てやっとボールをとって大崎ゴールに殺到、佐藤がシュート・モーションにはいったときホイッスル。佐藤のこの一投は不運にもゴールポストに当たってはね返えり万事休す。

▽……芝浦の敗因はどこにあるのか。佐藤選手にきいてみたら「9―7（後半28分ごろ）とリードしたとき、あと何分残っているか時計をみた。ところが前半の所要時間に引きつづいて回っていたので計算できず10分ぐらいあるのかなと思った。ところが実際は約2分しかなかったわけです。これで失敗した」といっている。記者席でもこの時計をいちいち逆算しながらメモしていたので、選手たちには計算するひまがなかったろう。プレーヤーがベンチに残り時間をきく余裕があったら勝っていたかもしれない。しかし芝浦は前年よりもスケールが小さくなったとはいえ、3大タイトルを握り、そしてインドアでも決勝に進んだのはりっぱだ。

▽……大崎は過去四回の対戦で35年の全日本総合(大曲市)、36年の全日本総合(倉敷市)に負けたが、35年の第七回全日本室内総合（東京）とこの大会に勝ってともに2勝2敗。フィールドは芝浦工大、インドアは大崎電気というところ。大崎の勝因はやはり竹野―宮原の名コンビによるものだ。国体（秋田）についで初めて二つのタイトルを握った。

女子

▽一回戦

桜水商高（東京） 7（1―2、6―4）6 日女体短大（東京）

レナウン（東京） 13（5―4、8―2）6 全熊谷女高（埼玉）

▽二回戦

愛知紡（愛知） 17（9―1、8―3）4 桜水商高（東京）

清水女高（静岡） 11（7―0、4―3）3 有磯高（富山）

西峯ク（茨城） 15（8―5、7―4）9 深谷女高（埼玉）

大崎電気（東京） 26（11―2、15―1）3 大垣南高（岐阜）

日体大（東京） 23（9―6、14―5）11 京都女高OG（京都）

栃木女高（栃木） 12（8―1、4―1）2 和洋女高（秋田）

大谷高ク（大阪） 22（12―1、10―1）2 菊華女高（東京）

半田高（愛知） 15（7―3、8―4）7 レナウン（東京）

▽準々決勝

愛知紡 9（7—1, 2—2）3 清水女高

大崎電気 22（15—3, 7—3）6 西峯ク

日体大 8（4—4, 4—3）7 栃木女高

半田高 17（8—6, 9—3）9 大谷高ク

▽準決勝

愛知紡 14（9—5, 5—3）8 大崎電気

▽スローオフ　大崎電気

▽レフェリー　松本（教大出）

〔大　崎〕

	S	得	反
GK古　谷	0	0	0
深　津	1	0	5
横　井	6	1	9
早乙女	2	2	4
竜　沢	7	2	5
宇　井	3	2	2
伊　藤	7	1	5
（塚田）	0	0	0
	26	8	30

〔愛　知〕

	S	得	反
GK篠　崎	0	0	0
山　崎	1	1	1
宮　本	2	1	3
塚　原	4	3	7
磯　部	13	7	5
青　木	3	1	2
沢　田	6	1	1
（山田）	1	0	2
	30	14	21

（7メートルスロー）

愛知紡の先制攻撃がきいた。立ち上がり速攻の連続で大崎デフェンスを大きくゆさぶった。前半6分までに4—0とリードし、試合の主導権を完全に握った。パスがよく通り磯部を中心にしたローリングはすばらしかった。前半9—5と引き離してまず安全圏。守備も厚い2—4ゾーンで大崎の攻撃を封じた。

このため大崎は強引なシュートに頼るだけ。エース宇井が機敏な動きで愛知のバックスをゆさぶろうとしたが、どうにもならなかった。早乙女—宇井のコンビで得点をあげても、体力的に歯が立たなかった。後半は割に接近したゲームだったが、愛知紡の2—4コーチゾーンにまともにぶつかったのが敗因。



女子4タイトル独点の愛知紡

日体大 13（6—4, 7—5）9 半田高

▽スローオフ　半田高

▽レフェリー　近藤（芝工大出）

〔半　田〕

	S	得	反
GK水　野	0	0	0
伊　藤	2	1	8
村　松	2	2	0
森ノ内	1	0	5
小　島	8	2	4
青　木	6	1	2
早　川	10	3	2
	29	9	21

〔日体大〕

	S	得	反
GK田　岡	0	0	0
佐　藤	3	2	9
磯	2	0	0
尾　田	7	4	1
園	11	5	6
鈴　木	7	2	3
藤　岡	1	0	2
	31	13	21

1（7メートル）1

日体大は最近一年間にすばらしい進歩をみせた。男子との合同練習が実を結び、速攻、シュート、ポストプレーは男まさりのものがあった。高校の名門である半田高をものみごとに破ったのには驚いた。試合は最初から速攻、ロングシュートの応しゅうとなった。女子の試合でこれほど激しいものはいままでにあまりなかった。日体大は前半3分までに3—1とリード、その後もサウスポーの園、鈴木のコンビで加点した。園のポストプレー、アンダーシュートはみごとだった。「ボリュームの差」といったらいいすぎだろうか。とにかくそんな感じがした。

▽三位決定戦

半田高 8（8—3, 0—4）7 大崎電気

▽決勝

愛知紡 9（4—3, 5—3）6 日体大

▽スローオフ　愛知紡

▽レフェリー　岡村（教大出）

〔日体大〕

	S	得	反
GK田　岡	0	0	0
佐　藤	2	1	5
磯	0	0	1
尾　田	4	2	3
園	8	0	3
鈴　木	7	2	4
藤　岡	0	0	3
	21	6	19

〔愛　知〕

	S	得	反
GK篠　崎	0	0	0
山　崎	0	0	6
宮　本	2	1	2
塚　原	5	0	5
磯　部	8	4	2
青　木	1	0	2
沢　田	4	4	1
	20	9	18

1（7メートルスロー）2

最多得点の記録

▽……男子一回戦で滴水会（東京）が日大（東京）を52—4で破った。これは七人制の国内最高得点記録および大差記録である。これまでの室内の記録は第二回大会の日体大B41—0Jクラブ（神奈川）。このほか第三回大会に37—0、第六回に34—5、第七回大会に38—9などがある。

女子は二回戦で大崎電気（東京）が26—3で大垣南高（岐阜）を破ったが大差ゲームとして記録的だ。七人制では一昨年の第十二回全日本総合で熊本ク28—2全岩井高ク（茨城）のスコアがある。しかし昭和三十五年秋の東海選手権で記録された愛知紡績38—2白梅ク（岐阜）には及ばない。

愛知紡は試合開始後の30秒に幸運な7メートルスローを磯部が決めて優位に立った。3分宮本のポストプレー、5分にも沢田がポストプレーとあざやかな攻撃で3—0とリードした。その後17分まで両チームとも無得点、日体大はシュートが雑で愛知のGK篠崎の好守にはばまれていた。日体大は18分ごろから速攻をかけ鈴木—藤岡のコンビで待望の1点をあげて調子づき、19分佐藤のゲットで4—2と追いついた。19分30秒にも尾田がきれいなシュートで1点差にした。日体大は攻撃範囲が狭く、常に中央突破を試みて失敗した。サウスポーの園をポストにおく作戦はよかったが、すぐ愛知バックスに見破られていた。後半30秒に日体大はフリースローから鈴木がゲットして4—4の同点。7分30秒鈴木が中央突破に成功して5—4と初めてリードした。愛知紡はあわて始め磯部—青木—沢田の三人でローリングパス、8分沢田のシュートで再び同点、9分青木のパスをうけた磯部が決めて愛知紡が6—5と逆転した。10分またも沢田がポストから倒れ込みシュートで7—5と2点のリード。14分30秒に塚原の手痛い反則（プッシング）で日体大は7メートルスローを得、尾田が決めて1点差。しかし接戦になると経験がものをいう。18分磯部、19分塚原のシュートで2点差とし、食い下がる日体大をやっと振り切った。敗れたとはいえ日体大の善戦は実にすばらしかった。

欧州遠征の成果あがる

めだつGKの進歩

松本重雄（欧州遠征コーチ，教育大出）

総評

この大会は昨年三月の欧州遠征後の初の7人制であり、その点大きな課題があったといえる。結果は大きな成果があがった。それは芝浦工大、大崎電気、日体大が一年間に大きく前進し、大きく進歩の跡を見せてくれた。欧州遠征の成果がこんなに早く出ようとは思わなかった。これほど技術的に見ごたえのあった大会はなかった。自画自賛になるけれど、欧州へ遠征してよかったと思う。この大会をあらゆる角度から分析してみよう。

技術的効果

1 オールラウンドプレーの徹底

いままでは3人攻撃、4人攻撃、あるいは5人攻撃が多かったが、欧州遠征後どのチームも6人攻撃、6人防禦をまがりなりにも行うようになった。

2 個人プレーの前進

芝工大佐藤君の変化に富むシュート技術、大崎電気竹野のディフェンスに移ってからの進歩。たとえばカット、インターセプトである。また7メートルスローの技術上達、ポストプレーからの強引なフェイントをまじえたシュートなど全体的に個人プレーがわれわれの目を楽しませてくれた。

3 ゴールキーパーの進歩

大崎電気福本君のプレー振りが端的に物語っているように、無駄な大声による呼吸の乱れ、緊張感がなくなった。ボールに食い付く果敢さ、よく働く足。加えてサイドからのシュートに対して、遠目のコーナーをつぶしながら、一方的に近目に出足鋭くからだが運ばれていた。他のキーパーも、勝敗にねばっこさを感じたのは良いことだ。

4 セットプレー、ポストプレーの多用

6人攻撃が徹底したためか、その強弱、ボール回しと動きに遅速はある。一応従来のセットプレーの型にポストを利用し、強引なシュートに結びつけた。ボールを回しながら地域的に寄せた動きからのシュート、シュートの際に他のプレーヤをブロックする技術も、そろそろ意識されて行われていた。

5 速攻の時機的着眼の掌握

一言で言うならば速攻の時機が速くなったことだ。たとえばAチームがディフェンスの際、Bチームがシュートした瞬間、そのシュートの結果がどうあろうと、Bチームの特にシュート位置の反対側にあったものは飛び出していた。逆にBチームは味方シュートが成功、不成功にかかわらず、自陣に帰着せざるを得なかった。

6 交代要領がスムーズになった。

プレーヤーの交代が、実に要領を得てきた。現行ルール解釈を有利に活用することを見つけていた。(現行ではレフェリーに届けてからすぐに競技場外に出る習慣があった)。たとえばディフェンスの際、届け出てから割合時間を費して〝さあ、これからオフェンスに移る〟という瞬間、この者が競技場外にもっとも近いところから飛び出す。

次の交代者(競技場にはいる者)は中央線場外附近から速やかにオフェンスに参加すること(これは速攻の第一目標点として、ゴールスローなどを直接受けたりする重要な役割などを果す)。逆もまた真でディフェンスも速く位置すること必至である。

審判的立場

1 ルール解釈の理解と応用

プレーヤー全体がルールをよく理解してきたこと。

2 反則に対する判定の徹底

主として体反則の判定が退場、7メートルスローの増加によって確立し、体反則が是正されてきたこと。

3 ベンチの円滑さ

交代時機、服装、背番号、作戦の伝達、声援などが、スムーズに行なわれてきたこと。

4 レフェリーの確信と立場の明確さが理解されてきたこと。

観衆的立場

1 おもしろさが増加

従来準決勝以上が興味深かったが、特に本大会は準々決勝あたりから、実に楽しめたこと。各プレーの構造になにか魅力あることを期待する態度が見られたこと。

2 観衆の目が肥えてきたこと

観衆の多くなったことはもちろん、観衆自身がルールの理解と、声援に活気ある見方が出てきたこと。特に体反則に対して非難の強いことなどである。

まずかった点

1 いま述べたことがまだ不足がちのチームがあること。

2 得点機の掌握を作戦的に知ること。たとえば芝工大のリードを守るに若さを露出したプレー振り。特色を忘れた走ることの不足、リードを決定づける時機の掌握である。要は試合の盛り上がり、ペースの作り方など、もっと研究する点が多い。

3 体反則の実に多いこと。

4 プレーヤーの体が堅いこと。他のスポーツの動きとかスタイルとかを、チームとしても、個人としてももとり入れるべきだ。フェイント動作の柔軟性に他のスポーツ的動作を応用すべきだ。

その他

1 協会が主催する全国大会は予選制、推薦制を確立すべき時期である。

2 ルール解釈、審判技術、指導普及の統一および伝達を円滑にすること。

第2回全日本実業団大会

大崎電気2連勝（3大タイトル）

愛知紡（女）は初優勝（4大タイトル）

実業団決勝大崎電気対住友化学戦から—大崎金田選手のシュート

高松宮賜杯第2回全日本実業団選手権大会は2月10、11日の両日東京の台東体育館で男子8チーム、女子3チームが参加して行なわれた。男子はAブロック代表の住友化学菊本、（愛媛）、Bブロック代表の大崎電気（東京）との間で争われ、大崎電気が堂々と2連勝した。女子は愛知紡（愛知）が初優勝した。この結果大崎電気は3大タイトル（全日本室内、国体、全日本実業団）、愛知紡は女子で初めて4大タイトル（全日本総合、国体、全日本室内、全日本実業団）を獲得した。なお最終日には高松宮妃殿下が男子決勝戦をご覧になり、優勝チームに高松宮賜杯を授与した。

▽男子予選リーグ

（Aブロック）

自衛隊朝霞（埼玉） 14（7−3 7−9）12 本田技研（三重）

〔本田〕

	S	得	反
GK近藤	0	0	0
桜井	1	1	1
打田	1	0	3
関	2	0	4
松岡	14	7	0
小川	4	1	2
林	4	0	1
市川	0	0	0
堤	0	0	0
木村	0	0	1
後藤	0	0	0
	26	9	12

住友化学菊本（愛媛） 28（14−4 14−6）10 自衛隊岩手（岩手）

〔自衛隊〕

	S	得	反
GK宮下	0	0	0
横田	9	6	1
細谷	2	1	1
丸尾	1	0	2
野田	0	0	5
木田	2	1	2
西山	10	4	1
鬼塚	5	2	2
長野	1	0	0
川野	0	0	0
	30	14	14

〔岩手〕

	S	得	反
GK乗坂	0	0	0
本山	1	0	7
野田	0	0	5
鬼頭	6	3	0
上	6	1	3
田口	8	6	3
佐藤	2	0	0
長山	0	0	0
	23	10	18

〔住友〕

	S	得	反
GK宮崎	0	0	0
上田	1	1	3
夏井	0	0	3
村田	0	0	0
長嶺	1	1	3
中村	1	0	1
北山	18	6	2
伊藤	13	10	0
中野	6	2	1
松井	15	8	1
季原	0	0	0
	55	28	14

本田技研 17（11−5 6−10）15 自衛隊岩手

住友化学菊本 18（12−5 6−7）12 自衛隊朝霞

住友化学菊本 30（15−6 15−4）10 本田技研

（Bブロック）

自衛隊朝霞 36（22−6 14−2）8 自衛隊岩手

大崎電気（東京） 33（13−6 20−2）8 自衛隊武山（神奈川）

柏崎市役所（新潟） 7−0 防大小原台クラブ（神奈川）

◇この試合は小原台クラブが途中の交通事故で会場到着が遅れたため没収試合となった。

柏崎市役所 17（8−7 9−5）12 自衛隊武山

大崎電気 43（21−3 22−1）4 防大小原台クラブ

大崎電気 35（19−3 16−2）5 柏崎市役所

自衛隊武山 17（10−7 7−4）11 防大小原台クラブ

〔武山〕

	S	得	反
GK小林	0	0	0
宮田	0	0	3
安藤	5	4	2
小沢	0	0	0
山下	12	6	5
正木	2	1	2
鶴田	11	6	6
田中	0	0	3
	30	17	21

（三位決定戦）

自衛隊朝霞 16（11−3 5−2）5 柏崎市役所

〔小原台〕

	S	得	反
GK岡崎	0	0	0
武次	0	0	1
佐藤	5	0	3
鈴木	3	3	9
平野	1	1	5
成瀬	2	0	3
米田	3	4	7
森田	3	3	5
	17	11	33

愛知紡戦績一覧表

（36年1月～37年3月）

1 ○ 15—7 西峰クラブ
2 ○ 10—2 全熊谷女高
3 ● 5—6 栃木女高
（以上第7回全日本総合室内 36年1月 東京）
4 ○ 15—4 全尼崎
5 ○ 15—0 三国丘クラブ
6 ○ 8—6 大洋デパート
（以上第13回全日本総合 36年8月 倉敷）
7 ○ 17—4 大垣南高クラブ
8 ○ 14—3 静岡城北クラブ
（以上第13回東海選手権 36年9月 四日市）
9 ○ 12—3 富山女高クラブ
10 ○ 7—6 日体大
11 ○ 6—1 大洋デパート
（以上第16回国体 36年10月 大曲）
12 ○ 17—4 都立桜水商高
13 ○ 9—3 清水女高
14 ○ 14—8 大崎電気
15 ○ 9—6 日体大
（以上第8回全日本総合室内 36年12月 東京）
16 ○ 25—4 中京大
17 ○ 15—8 全半田高
（以上愛知県選手権大会 37年2月 名古屋）
18 ○ 25—3 レナウン
19 ○ 16—3 大崎電気
（以上第2回全日本実業団 37年2月 東京）

＝公式戦記録＝

◎36年度以降　18勝1敗
◎36年度（4月—36年3月）　16戦全勝
◎目下公式戦に16連勝
◎36年度4大タイトル獲得

愛知紡の堅固な防御陣

大崎電気戦績一覧表

（36年1月—37年3月）

1 ○ 不戦勝 桐生クラブ
2 ○ 14—9 全芝浦工大
3 ○ 25—10 墨田川高
4 ○ 11—7 旭桜クラブ
5 ○ 10—8 滴水会
6 ● 14—16 全日体大
（以上第7回全日本総合室内 36年1月 東京）
7 ○ 22—8 法友クラブ
8 ○ 17—8 早 大
9 ○ 20—14 全関学
10 ○ 14—12 全日体大
11 ● 14—17 芝浦工大
（以上第13回全日本総合 36年8月 倉敷）
12 ○ 15—9 明星クラブ
13 ○ 15—4 深大クラブ
14 ○ 18—2 都立五商クラブ
15 ○ 14—9 芝浦クラブ
（以上第14回東京都民体育大会 36年5月 駒沢）
16 ○ 28—2 明正クラブ
（以上国体都予選 36年8月）
17 ○ 12—9 全埼玉
18 ○ 22—5 全茨城
19 ○ 19—6 全神奈川
（以上第16回国体関東予選 36年9月 横浜）
20 ○ 14—2 全岡山
21 ○ 12—6 清商クラブ
22 ○ 11—10 大話クラブ
23 ○ 18—13 桜丘会
（以上第16回国体 36年10月 秋田）
24 ○ 23—10 清水市商高
25 ○ 32—7 明友会
26 ○ 16—9 滴水会
27 ○ 15—10 全日体大
28 ○ 13—12 芝浦工大
（以上第8回全日本総合室内 36年12月 東京）
29 ○ 33—8 自衛隊武山
30 ○ 43—4 小原台クラブ
31 ○ 35—5 柏崎市役所
32 ○ 32—11 住友化学菊本
（以上第2回全日本実業団 37年2月 東京）

＝公式戦記録＝

◎36年1月以降 30勝2敗
◎36年度（4月—37年3月） 25勝1敗
◎目下公式戦に16連勝
◎36年度3大タイトル獲得

〔朝 霞〕

	S	得	反
GK			
宮 下	0	0	0
横 田	3	0	4
細 谷	1	1	5
丸 尾	2	1	6
本 田	10	5	2
西 山	1	1	1
鬼 塚	2	0	4
長 野	10	8	3
野 田	0	0	2
	29	16	27

〔柏 崎〕

	S	得	反
GK内 山	0	0	0
中村(進)	0	0	1
佐 藤	0	0	0
飛 田	2	0	0
中村(良)	3	2	3
遠 藤	5	3	6
品 田	8	0	6
小 田	2	0	0
瀬 下	0	0	0
松 崎	0	0	0
早 川	0	0	0
	20	7	17

（決勝戦）

大崎電気 32（17—6、15—5）11 住友化学菊本

〔住 友〕

	S	得	反
GK宮 崎	0	0	1
上 田	1	0	6
夏 井	2	0	4
村 田	0	0	0
長 嶺	1	0	1
中 村	1	0	1
北 山	18	4	2
伊 藤	11	3	0
中 野	5	1	1
松 井	5	3	3
季 原	0	0	0
	44	11	19

〔大 崎〕

	S	得	反
GK福 本	0	0	0
GK今 野	0	0	1
村 上	3	1	3
高 橋	5	3	9
田 口	9	5	4
金 田	5	4	5
宮 原	7	4	4
竹 野	11	6	7
井 上	5	4	0
高 井	2	1	3
小谷内	6	4	0
	53	32	36

▽女子決勝リーグ

愛知紡（愛知）25（12—0、13—3）3 レナウン工業（東京）

大崎電気（東京）15（8—3、7—2）5 レナウン工業（東京）

〔大 崎〕

	S	得	反
GK古 谷	0	0	0
深 津	1	0	2
横 井	5	2	6
早乙女	6	3	5
竜 沢	4	3	1
宇 井	6	4	2
伊 藤	4	3	2
	26	15	18

〔レナウン〕

	S	得	反
GK山 田	0	0	0
剣 持	1	0	3
桐 原	6	0	2
森	0	0	0
椎 名	3	3	2
穴 田	6	1	3
関	1	1	0
	17	5	10

愛知紡（愛知）16（10—0、6—3）3 大崎電気（東京）

〔愛 知〕

	S	得	反
GK篠 崎	0	0	0
山 崎	1	0	4
宮 本	0	0	1
塚 原	3	3	0
磯 部	10	7	2
青 木	1	1	2
沢 田	8	4	0
山 田	2	0	1
古 谷	1	1	0
下永瀬	0	0	0
	26	16	10

〔大 崎〕

	S	得	反
GK古 谷	0	0	0
深 津	2	0	10
横 井	6	0	4
早乙女	3	0	1
竜 沢	2	0	0
宇 井	3	1	2
伊 藤	7	2	8
	23	3	25

▽エキジビション（東京都高校選手権）

▽男子決勝

都立墨田川 16（9—5、7—4）9 都立一商

▽女子決勝

都立桜水商 15（12—3、3—6）9 都立二商

交通事故にご注意

▽…昨年三月熊本市高を卒業した清田房子さんは十二月下旬、熊本市内の交通事故で死去した。清田さんは熊本市高がインターハイで3連勝したときのレギュラーでCHをやっていた。

▽…また大洋デパートのキャップテンである西村八千代さん（熊本市高出）もことし一月五日県インドア大会の帰途、交通事故で軽いケガをした。病院で静養したので全快し、二十七日から練習を始めた。

▽…全国のみなさんも交通事故にはじゅうぶん注意してください。



優勝チーム大崎電気と二位住友化学のオールメンバーが仲よく一緒に

ヒソヒソ

▽…肥った女性のことを〃女松登〃というが、ハンドボールの女子選手で色の黒いのを〃バルボン〃という。色が黒いといっても生れつきのものでなく、真夏の太陽の下で練習しているとだれでもこうなる。この〃バルボン〃とはなにか。ご存じの人もあるでしょう。そうです。プロ野球の阪急ブレーブスの二塁手をやっているキューバ生れの選手です。真黒い顔に真白い歯、夏になるとこういう女子選手が多い。決してけなしているのではありませんよ。その健康美をほめているのですから誤解しないでください。すでに『第一号バルボン』がいるんです。でも結婚前の乙女ですから名前は遠慮しておきます。われと思わん者は名乗っていただけませんか。

芝浦工大30連勝のあと

――モノ云う同じカマのメシを食った団結――

日本ハンドボール界のNO・1、芝浦工大が昨年公式戦に30連勝した。これは5月14日関東学生春季リーグ戦第一日に立大を破ってから、12月23日の全日本総合室内選手権大会決勝で大崎電気に敗れるまでの記録である。この間に全日本総合選手権に3連勝、全日本学生選手権に4連勝、全日本学生王座決定戦に3度目の優勝、さらに関東学生リーグに春秋優勝（9連勝、10度目）をとげた。三十五年全日本学生王座決定戦で関学に敗れて連勝記録は47連勝で終ったが、再び連勝街道を走ったのは〝あっぱれ〟というほかはない。別に芝浦工大の大鼓持ちをするわけではないが、その努力は大いに賞されていい。別表の成績を見ればそれを十分物語っている。

▽……ひとくちに連勝記録といっても、それに到達するまでには部長、監督、コーチ、選手がひとつにまとまっていなければできない。チームワークのよさ、すばらしい技術、不断の努力と練習、これがうまくマッチしたときに連勝記録が生れる。名門といわれている日体大、教大、早大、慶大、関学が芝浦工大のような連勝記録をつくれないのは、なにかが抜けているのだと思う。芝浦工大の連勝の第一の理由はなんといってもチームワークである。駒沢グランドの近くに合宿して、総勢四十数人がひとつの〝釜の飯〟を食べている。この合宿生活も選手が輪番制で炊事当番を受け持ち、全選手が一緒に食事をする。選手の中には経済的に恵まれない選手もいる。その選手は朝四時に起きて牛乳配達のアルバイトをやっている。このアルバイトは他の大学ではちょっと考えられないことだろう。百戸からの家を自転車で走り回り、食事をすませて大学へ、授業が終れば練習にはいる。アルバイトをやっているからといって、練習を休ませるようなことはさせない。アルバイトと練習は、あくまで別である。このアルバイトで足腰を鍛え。いまではFWのNO・1になっている。この努力、このファイトが、ゲームの上に現われてくる。

芝浦工大30連勝のあと

試合		月日	スコア	相　手	大会名と優勝回数
1	○	5､14	20—8	立　大	関東学生リーグ（駒沢）8連勝、9度目の優勝
2	○	20	13—7	教　大	
3	○	21	12—10	明　大	
4	○	27	19—8	法　大	
5	○	28	17—9	早　大	
6	○	6､4	14—7	中　大	
7	○	11	13—9	日体大	
8	○	28	24—3	大阪学大	全日本学生（豊中）4連勝
9	○	29	9—2	甲南大	
10	○	30	19—3	熊本商大	
11	○	7､1	19—11	日体大	
12	○	2	12—10	中　大	
13	○	8､14	28—7	全教大	全日本総合（倉敷）3連勝
14	○	〃	15—8	京都ク	
15	○	15	16—10	全同大	
16	○	17	21—14	桜丘会	
17	○	18	17—14	大崎電気	
18	○	10､8	26—9	慶　大	関東学生リーグ（駒沢）9連勝、10度目の優勝
19	○	15	11—6	中　大	
20	○	22	9—4	法　大	
21	○	29	23—2	日体大	
22	○	30	14—2	立　大	
23	○	11､3	22—10	明　大	
24	○	5	18—8	早　大	
25	○	12	16—4	中京大	全日本学生王座東日本予選（仙台）
26	○	〃	24—8	東北学院	
27	○	23	18—13	同志社大	全日本学生王座（東京）
28	○	12､21	21—3	明　大	第8回全日本総合室内（東京）
29	○	22	24—3	明星ク	
30	○	22	17—9	立　大	
31	●	23	12—13（決勝）	大崎電気	

（30勝1敗）

▽……30連勝を達成するまでは、必ずしも楽勝とはいえなかった。春のリーグ戦では明大に追い込まれて12―10でやっと勝った。全日本学生の準決勝では日体大と接戦し10―10で延長戦となった。決勝戦では中大に食い下がられて、後半やっと2点差をつけた。全日本総合選手権の決勝でも前半大崎電気と9―9の同点、後半佐藤、北村、越智の活躍で勝つなど苦戦の連続だった。この苦境を乗り越えたところに芝浦工大の強さがあり、どのチームといえどもマネのできない芸当である。これはすべてきびしい合宿生活、不断の練習から生れてきたものといえる。

▽……コーチング・スタッフの存在も大きい。高嶋監督を筆頭に若崎、中沢、稲石、近藤の四人のコーチがいる。リーグ戦には中沢、近藤両コーチ、全日本大会には若崎コーチが参加、松本市での強化合宿には名古屋から稲石コーチが特に参加するという恵まれた環境の中にいる。34―35年の二年間につくった47連勝には及ばないとしても、とにかくりっぱである。

5分間インタビュー

――ことしは戦力が落ちたとか

北川――正直なところ熊本県では最下位というところです。でもこれから伸びる楽しみがあるのでやり甲斐がありますよ。

――どんなチームをつくろうと思っているんですか。

北川――わたしの理想は同一学年による同一チームです。上級生が一人か二人はいっているとなかなかうまくいかない。それはお互いに遠慮するからです。同一学年で七人集めるのは比較的楽なのです。ことに熊本市内では。というのは市内の小、中学生がうちの学校をめざして勉強し、ハンドボールの練習もやっているから……。翌年また七人集めればいい。そうなれば上級生のチームと下級生のチームが毎日練習できるし、技術的にもゆっくり研究できます。まあ一石二鳥というところですね。



熊本市高監督　北川　浩

いままでは優勝をねらうためインスタント式にやっていたが、その主力が抜けたときはいっぺんにガタがくる。これを未然に防ぐのが同一学年の誕生です。

――そういうといままでは無茶苦茶だったというんですか。

北川――そういうことになります。（笑）

――菊池農蚕高や大洋デパートという強いチームがいるので目標になりますね。

北川――その点女子チームは恵まれている。しかしハンドボールをよりいっそう躍進させるためには男子高校の奮起があってほしい。熊本県では名門の済々黌、熊本市商、熊本工がもっと強くなって全国優勝してほしい。この三チームが強くなったときは楽しみですよ。男子の中学生には優秀なプレーヤーが多いので、なんといっても魅力です。

自衛隊のハンドボール

夢は自衛隊全国大会

――西山逸成氏に聞く――

第二回全日本実業団選手権大会に自衛隊関係から四チームが出場した。地方の大会で自衛隊チームは数多く参加しているが、全国大会に四チームが参加したのはこれが初めてである。関東学生リーグには防衛大学が加盟し、いちじは一部に昇格するほどであった。そこで自衛隊のハンドボールはどう普及されているか。自衛隊体育学校長（佐野陸将補＝埼玉県朝霞）の西山逸成氏（日体大出）にいろいろきいてみた。

▽…体育学校は全国の各部隊、各学校から選抜された体育指導者を養成する。期間は六カ月コース（二十週）、指導者の内訳けは体育教官四十人（将校クラス）、体育助教八十人（下士官クラス）の計百二十人。訓練種目としてラグビー、サッカー、ハンドボール、バレーボール、バスケットボールがあり、この六カ月間に全部基本をマスターすることになっている。これらの人は大学、高校時代にはハンドボールを知っているものはほとんどなく、全くのしろうとである。学校の教官養成は第一班が陸上、体操、第二班が球技（ハンドボール、サッカー、バスケット、バレーボール、ラグビー）、第三班が柔道、剣道、銃剣術、相撲、第四班が射撃となっている。

全国で17チーム

▽…いま自衛隊の全国大会で一般の人に知られているのはラグビーだけだが、西山氏は「将来全国ハンドボール大会を開きたい。いまは全国で17チームほどあるが、ラグビーのようにルールがむずかしくないので非常におぼえやすい」とものすごい意気込みである。六カ月コースを終わると各部隊に帰り、体育教官あるいは体育助教としてスタートするが、このほかに防衛大学の卒業生がいる。防衛大の卒業者のうち四十七人は関東学生リーグの出場者である。この四十七人が大なり小なり一人一チームを持っているので、ハンドボールの普及度は非常に高いものがある。スケジュールのことを〝業務計画〟といい、新年度は業務計画を作成して本格的にやって行く方針とのこと。全国大会を開くため〝全国大会設立準備委員会〟を設立して、防衛庁、または自衛隊の上層部と交渉するといっているが、「日本ハンドボール協会からも上層部に交渉してほしい」と希望を述べていた。もし幸いにして全国大会開催が決まると、訓練として参加するという。球技のなかで最も実績を持つのはラグビー、ハンドボールの二種目であり、ラグビーはすでに全国大会を開いている。したがってハンドボールの全国大会もかなり有望とみている。

――ヒソヒソ――

▽…一月二十日の評議員会のあと、高嶋理事長が体協記者クラブで日程を発表した。海外遠征が女子世界選手権、男子のヨーロッパ遠征、男子高校の韓国と三つもあるので記者諸君が驚いた。

「こんなに遠征してもいいんですか」

「第一金はあるんですか」

「どのくらいかかるんだ」

「オリンピックから除外された腹いせですか」

この質問は当然のことである。「あるようでないのが金。ないようであるのが金」……と高嶋理事長が言ったどうか聞き洩らしたが、全国のハンドボール関係者は三つの海外遠征をどう感じとったか。聞きたいものですね。

小倉市の準備OK

全国高校選手権は七月二十九日から小倉市三萩野総合競技場で行われる。地元の小倉市はいまその準備にはいっているが、その受け入れ体制は次のとおり。

（会　場）

▽男子は第一会場が小倉競輪場、第二会場が隣接の小倉陸上競技場。グラウンドの広さは100メートル×55メートル。女子は市民グラウンドに二面コートをつくる。雨の場合は女子を隣接の小倉体育館に移す。練習会場は男子四会場（小倉西高、小倉南高、小倉商高、学大小倉分校）、女子四会場（小倉工高、小倉商高、小倉西高、小倉南高）。

（交通機関）

小倉より西鉄バスで約15分（20分間隔）、徒歩なら35分。

（宿　舎）

小倉市内には約二百三十軒の旅館があり、このうちインターハイ関係の旅館は約八十となっている。三食（主食別）で七百円。

（観　光）

若戸大橋の完成は今秋の予定であり、大会中に戸畑市内（小倉市から電車で10分）から完成目前の大橋が見られる。また無法松の一生で有名な小倉名物祇園太鼓の夏祭りは7月10〜12日のため選手たちは見学できないが。大会事務局はなんとかしてこの祇園太鼓を見てもらおうと目下研究中。



ヨーロッパ遠征記

（最終回）

世界選手権日本代表監督　高嶋　洌

要はゲームのできる体育館

前号でチェコの体育館のことに触れたが、あのような考え方はヨーロッパ全体を支配している。ドイツでも、フランスでも、もちろんチェコでもきわめてお粗末な体育館で、堂々と国際試合を行ないなんらはばかるところがない。要は規則に決められたゲームが、出来ればよいのである。それかといって立派な体育館がないわけでない。たとえばドイツのドルトムント体育館、カールスルーエ体育館、フライブルグ体育館や、パリーのクーベルタンスタジアムなどは堂々たるものである。日本と同じように立派な体育館が大都市にあることも、行政上やむを得ないであろう。

水準韓国なみのイスラエル

最後の訪問国イスラエルでは、11人制の試合を三回やった。四十日以上も7人制ばかりで、しかも練習期日がない。そのうえ急に暑い土地にきたため、いろいろ心配したが事故ひとつなく終わることができた。

イスラエルのハンドボールはいまのところ11人制オンリーで、7人制はやっていない。水準はどうも韓国と同じぐらいに考えられる。

1、必要以上のドリブルの多用
2、攻撃正面がせまく小さい
3、パスモーションがおそい
4、走力およびロングシュート力の不足
5、ディフェンスの甘さ

などが欠陥として考えられる。しかしながら

1、気候がいい
2、体格がよい
3、ヨーロッパとの交流が比較的容易にできる

などの諸点から、近い将来恐らく日本の強敵となることは間違いあるまい。

遠征の第三の目的は、数多くの国々を回ることによって、若い選手たちに国際感覚を植えつけると同時に夢を持たせることであった。

この目的はじゅうぶん達したと信じている。風俗、習慣、言語の異なるそれぞれの国々で、よくすみやかに同化し、そしてなじんでくれた。これはフランスとイスラエル駐在の日本大使から、あとから感謝状をいただいたことだけでもじゅうぶんだった。欲をいえばまだ「スポーツマンの遠征

よもやま話

〔第一話〕　共同通信の鷲尾君（現在大阪勤務）から聞いた話。同君は資料収集の目的で全国の大学、高校、実業団、ハンドボール関係者に「アンケート」を出した。発送総数は120通、回答の第1号を待っていたら豊中高（女子）、清水市商高、静岡城北高、中京大の四チームが同時だったそうだ。いずれもハンドボールに熱心なチームで、その回答もよかったとのこと。特に豊中高校は『アンケートが集計できたらお知らせください』と書き添えてあり、わざわざ10円切手を同封してきたとか。また実業団の住友化学菊本（愛媛）から『チームが上阪のさいいつもお世話になり……』と礼をいわれて、同君は眼を白黒させてびっくりしたそうだ。

〔第二話〕　『話題のチーム』で紹介してあるように丸紅飯田の選手たちは文字どおり明朗活達だ。一月の某日、ひょっこり同社を訪れたら10秒以内に飛び出してきたのが松本君（慶大）、白いワイシャツにネクタイ。服もりっぱでどうみても一等社員のスタイルだった。二番目に出てきたのが松本君と同期生の井狩君、これも隆としたスタイル、三番目がワイシャツ姿の矢島君（東大）、その日は大阪地方は〃西高東低〃（専門家並みでしょう）の典型的な冬型の気候でとても寒かった。この矢島君は群馬県出身、〃上州の空っ風〃で鍛えたのかワイシャツ一枚で平気。しかも胸を張って混雑した車の間を器用に走り抜けてめざす喫茶店へ。からだは小さいが、さすがは名CFである。

欧州における審判の方法（完）

日本代表団役員　荒川清美

▽……審判員はそれ以外のもの、すなわちスポーツマンシップに反する行為があった場合は、すぐ敏速果敢にジャッジをくだしている。たとえば味方の反則で相手チームのフリースローになる。相手がフリースローの位置につき、ボールを待っているのにボールが来ない。またボールが来ないばかりか、相手チームがいるフリースローラインとは逆の方向にボールを投げる。このときはボールを投げたプレーヤーに対して2分間退場の罰則を適用する。これは試合をスムースに運営するためである。

▽……試合中の審判員の得点のかぞえ方は、だいたい公式記録員に委せている。中には自分でメモに記入しているものもいる。場内には得点掲示板がなく場内放送だけ。観衆は場内放送をきいてプログラムに得点を記入している。

▽……審判員のホイッスル（笛）の吹き方は日本と異っている。ボールがサイドライン、ゴールラインを通過しても吹かない。フリースローの位置が3ないし4メートル離れても、試合のスピード化をはかる目的で位置は問題にしない。レフェリースローのさい、攻撃チームはフリースローラインの中にはいることはできない。

▽……審判員のジェスチアでいちばん多く使われていたのがオーバーステップ、指四本を伸ばして手を挙げる。二本の指を挙げれば2分間退場、ダブルドリブルはドリブルの形を二度くり返す。ジェスチアはこのくらいだった。審判員のジャッジに対して

とは試合に徹すること」を理解できなかったものもいた。これはこんご徐々に訓練すべき問題である。

ハードな遠征スケジュール

遠征を通じてまず感じたことは、スケジュールは必ずハードなものになるということである。これはわれわれが外国選手を招いた場合でもいえることで、簡単に拒否できるものではない。そこで前号でも触れたようにこれを乗り切るためには、厳格な規律と節制が要求される。これは当然である。このような日常生活の訓練ができていないものは、国際選手としては失格といわねばなるまい。

次に遠征の大きな目的の一つは試合を行なうことである。試合は勝たなければならない。試合に勝つために全知全能を傾ける。それ以外の雑念は総て犠牲にするだけの覚悟と努力がなければ、遠征の成果は挙げられるものではない。そしてこのような遠征を繰り返すことによって必ず日本が近い将来、世界の王座に君臨することを信じて疑わない。

全体水準のアップには招待 トップレベル向上には遠征

選手を強くするには国際試合をより多く行なうことである。このことはあらゆるスポーツの常識である。その国全体のレベルを向上させるためには、強力な外国チームを招いた方がよい。またトップレペルの向上強化には、「訓練につぐ試合」を課した外国遠征が最も効果がある。もちろん両者が併行して行なわれることが良いことは言を待たない。

以上で三回にわたった遠征記を終わる。世界選手権大会会場のメインポールに日章旗が高々と掲げられるのを夢みながら…！

国際広報から

▽キューバ体育連盟は財政的責務を果さない故をもって、国際ハンドボール協会名簿から削除された。

▽ユーゴスラヴィア協会は、ベルグラードのタスマジャン競技場で一九六二年六月三〇日より七月二日までの間七人制ハンドボール国際大会を開催する承認をえた。このタスマジャン記念にはルーマニア・デンマーク・チェコスロヴァキア・ハンガリー・ユーゴスラヴィアの各チームが集ることになる。

▽ポルトガル協会は一九六二年六月六日より八日まで行なわれる七人制ハンドボール第三回ラテンカップを開催する承認をえた。フランス・スペイン・モロッコ・ベルギー協会が招待されている。

選手はいっさい意見を言ったり、不遜な態度をすることはない。このような場合は2分間退場である。だから選手は黙々とプレーを続け、反則を犯さないように注意をはらっている。審判員、選手が反則防止に心がけ、試合のスピード化、スムースな運営に協力している。それでいて選手たちのプレーは少しもロスがない。チェコの記録用紙には審判のジャッジに対して、選手がどのような態度に出たかを記入する欄があった。

▽……私は親善試合で審判員をやったとき、日本のジェスチアを使用した。ドイツではこのジェスチアが珍しかったようで、試合終了後、ドイツ協会から「日本のジェスチアを研究してみたいので説明してほしい」と要望された。私は説明すると同時に「ドイツでも日本のジェスチアを採用してはどうか」と推奨した。ところがドイツ協会は「これを実施することによってスピードが鈍りはしないか」ということで態度を保留今後研究するといっていた。

▽……世界選手権大会の審判員は各国から一人づつ選出されている。日本が出場したCブロックの審判団はデンマーク、アイスランド、ノルウェーの三カ国。日本対チェコ戦はアイスランド、日本対ルーマニア戦はデンマークの審判員、このほかの審判員は門審（ゴールジャッジ）、線審（ラインズマン）は西独が担当していた。

▽……世界選手権大会の決勝戦には一万五千人のファンが集った。ファンはハンドボールをよく知っている。審判員が妥当性を欠くジャッジをすると、ファンは口笛を吹いて足をドタバタさせ、「家に帰れ」とどなり場内は騒然となる。このため審判員は公平にして慎重、厳格にして敏速にジャッジする。フランスではこのような場合、競技場に金を投げ入れ、「家に帰れ」とどなっていた。

▽……以上で欧州における審判方法の一部がおわかりになったことと思うが。これをすぐ日本に採り入れることはできない。よく検討した上で結論を出すつもりでいる。

（了）

新聞から

あるBGの観戦記

▽……男子実業団の岡野バルブチームは会社の社内報〃スペロ〃の2月15日発行の129号に、同社のBGが同チームの観戦記を寄せた。それを同社の小野君が協会に送ってきた。それをご披露しよう。

××××

日曜日の朝、友人から誘われてハンドボールの事を思い出し、三萩野体育館へ足を運んだ。

体育館に入った時は、すでに試合は進行されていた。白のユニフォームに包まれた姿をみて、「さあ、応援をやるぞ」という快感を覚えた。

ウワァーと活気のあふれた若さのエネルギーが、一つのボールに伝わり、腕から腕へと、うつっていた。

ゲームに対して全然ルールを知らない私は、味方の調子の良い時には有頂天になり、はしゃぎたくなる。

又逆に敵におされぎみで、不利になると、火の消えたように元気がなくなっていたが

しかし、余りにも迫力あるゲームを見て、いつとはなしに白熱したふんいきに引きこまれていた。この世は、スポーツの黄金時代というのに、残念ながら、私は全然それに反比例していたといえるが今回のハンドボールの熱戦を観た時から一人前に、スポーツの愛好者のはしくれに入ったように感じられました。

第一戦は見事大勝利、準決勝の試合もいよいよ後半に入り、白熱化して飛び交うボールに観戦の私も夢中になって応援していたが、おしくも、岡野チームは負の審判がくだされた。実に残念でした。

しかし、チームの団結力、汗みどろになって、戦っただけで、十分だったと思う。

スポーツは、勝敗で勝負のつけられない、又別の本当のスポーツが生まれて、きたのを痛切に感じたのである。

今後も、くじけずに大いに練習を行なって、ハンドボールに若さの火花を散らしていく事を期待致したいと思います。（勤労・木村慧子）

技術研究室

ゴール前フリースローについて（第二回）

担当　松本重雄

反則についての考察

最近ハンドボールを初めて見た人や、スポーツライター、あるいは協会関係者の中に、「ハンドボールは体反則が多すぎる。体反則は何回してもよい。得点に結び付かない。体反則した方が得だ」といっている。また「反則数は記録上フリースロー数としたらどうか。ゴールインに結び付くプレーを考えるべきだ。体反則をもっと厳重に罰せよ」など体反則に対する賛否がさかんである。結局この辺でもう一度ハンドボールにおける体反則について解釈を統一する必要があると思う。

そもそも反則の概念を根本から究明してみよう。

欧州的センスから成り立ったハンドボールのルールそのものの解釈は、アメリカ的センスを持つスポーツと大部相違はある。どちらにせよ、反則はスポーツ人にとってお互いを認め合ってプレーしている中で、偶発的に必然的に起り得たことを是正するものである。そのつど、厳正に、かつ反則を犯した側の不利を指摘したものではなかろうか。ハンドボールには、「退場、14メートルスロー、7メートルスロー、フリースロー」などの反則投がある。現行で反則を犯した方が有利と見えるのは、一言で云うと審判法の考え違いである。それにともなうプレーヤー自身の反則に対する根本概念の不足であると思う。

ここであえて私は現在のハンドボールの罰則規定の徹底を提言したい。いまさらなにをいうのかと思うかもしれないが、そのいまさらの判定の伝達に統一を欠く状態を一掃したいからである。そしてプレーヤーの立場においても単に有利に甘んじない、ゴール前フリースローの得点に結び付くプレーをマスターしなければならないと思っている。またディフェンスについても、つねにボールを対象とした基礎理念に立つ動作を必要とされている。

フリースロー（ゴール前）の生かし方

（直接シュート）

▽強肩と巧投、正攻法と技巧法

11人制、9人制のゴールの広さ、距離の相違はあっても、強肩による遠目コーナーに決勝点を決めるだいご味は、プレーヤーにとって一生忘れ得ぬものと思う。19メートル(11人制)からオーバースローで、ドロップをきかしたスロー(キーパーの位置が最大極点で、ゴールコーナーを最小極点に至る曲線)。あるいは9メートル(7人制)からオーバースローは無理としても、ショールダースローによる相手ディフェンスの上げられた手の脇、またサイドスロー、アンダースローによって相手方の腹、脇からのシュートなど。スローのくふうと努力によって成功させたとき、プレーヤーとして満足できるプレーである。

近ごろ、からだの柔軟性を生かして（スロー後、フリースローラインを越えてもよいのだから）の倒れ込み、手首を生かしてタイミングを狂わす各種スローなどが研究されているのを見のがさず、各自の腰のよさ、目の動き、三秒の活用など大いに練習するべきである。

▽シュートのフェイント

1、スローによるフェイント
2、時間差（タイミングをずらす）
3、目の動き
4、スタイル

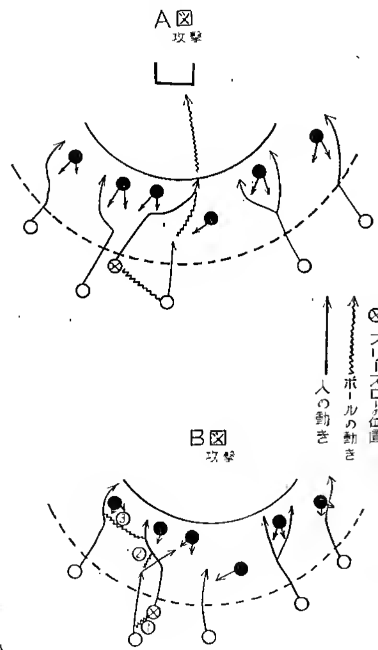
▽シュートの機会

1、ディフェンスの頭の上
2、ディフェンスの手脇左右振り分け
3、ディフェンスの脇腹左右
4、ディフェンスの手の上げ下げ
5、ディフェンスの前進後退の虚
6、キーパーの重心移動の弱点
7、キーパーの呼吸の乱れ
8、味方プレーヤーの動き（ギマン的動作）による機会

（間接シュート）

▽時間差と地点差

現在、我々がよく見るプレーに、フリースローを一回他の者に渡して、その渡された者がシュートする方法が多く使われている。その成功率も高いように思われてい




ゴール前のフリースロー（全日本実業団決勝から）

る。実際、一人の強肩者、あるいは巧投者が自由にからだを動かして加速度と体さばきによる（特にジャンプシュート、ロングシュート）好プレーは、直接シュートよりも確実とされている。しかしこのプレーのみにたよると、逆にディフェンスからすれば防ぎよい相手となることも見のがせない。一応間接フリースローの成功する条件をうかがえば、攻撃者のパスワーク、相手に対するブロッキング、シューターの最高時間3秒プラスアルファーの活かし方および、シュート地点の最高（3歩プラスアルファー）位置のずれ、などによるディフェンスの乱れ、キーパーの虚を突くことが根本とされている。この基本理念を元に、より作戦的ないくつかの動きが、チームのなかにあっていいと思う。

▽例として図の説明

A、Bの図は、フリースローを離した者の動きを主体としている。

1、ボールを離して前進、相手方をブロックし、その相手の裏側に回り込む。

2、ボールを渡されたものは、三歩、三秒のタイミングをフルに活かして、シュートのモーションにより相手をじゅうぶんに引きつけてからパスを離す。

3、他の者（攻撃者）は広がった攻撃範囲を、それぞれ一対一的に相手を引きつける。

4、他の者（攻撃者）もいつパスがきてもよい位置に、相手を引き離すことに心がける。

5、ボールは横パスをなるべくさけ、フリースローラインとゴールエリアライン内を、ジグザグなパスが通ることを原則とする。

C図はフリースロー地点に近い者以外が動いて、地点差をつけるプレーである。

1、A、Bの図にあるフリースロー者、いちばん近い者による相手をブロックするプレーを、他の者がフォローしてディフェンス全体のずれを利用してサイドにボールをさばく。

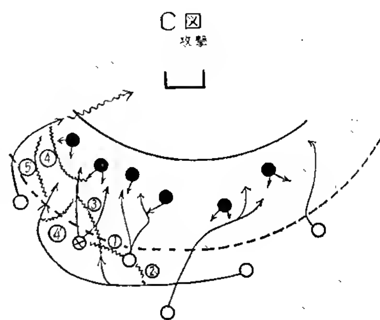
▽全体的な注意事項

1、攻撃に際してボールを持ったものは、シュートか、ドリブルか、パスかの三つの要素を含む動作の訓練を身につけること。

2、従来の単なるクロスプレーによるギマン動作を走り抜けるのみならず、立ち止りブロッキングから裏側に回り込む（ディフェンスの穴）動作を身につけること。

（ディフェンスについて）

1、相手チームのポイントメーカーをつねに注意すること。



2、ボールを持ったものに、早くボールを投げられない位置までつけること。（最低50センチ、1メートルないし1メートル50センチでは巧者はシュートチャンス）。

3、つねにボールに手がいくこと。からだをマークすることはいちばん悪い。

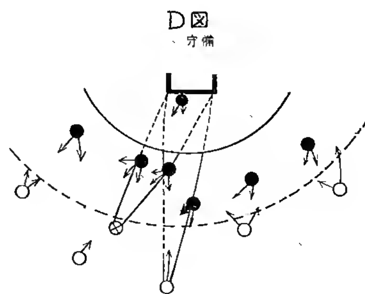
4、ゴールの両隅をつねにかくす位置と、キーパーにシューターの見える位置をあけること（D図）。

5、キーパーにシュート方向をあらかじめ示し（サイン）、一方を確保すること。

6、パスした者を注意すること。

7、6メートルの範囲はゴール前ばかりでなく、特に横側とか、シューターと思われるもののマークが案外有利であること。

8、横走り者と一緒に走ることなく、一歩前進して走る方向を変えること。



（宿題＝高校生向き）

キーパーの虚について、一つの宿題を出します。

◎シュート成功率はキーパーの呼吸のどの時機でしょうか（ご解答ください）。

おめでた

▽…大崎電気の今野邦彦監督(26)と竹野奉昭主将(25)の二人が合同結婚式をあげる。仲人は大崎電気の渡辺社長で、四月四日午後五時から明治記念館。

◎今野君の花嫁さんは尾崎ひかりさん(24)＝北陽電気社長尾崎一義氏の長女、大阪府吹田市片山旭ケ丘＝。女子美大出身。

◎竹野君の花嫁さんは日体大出身の山下敦子さん(24)＝東京都世田谷区上馬町一ノ三六、香川県観音寺市出身＝

地方だより

玉名農高に栄冠

▽…第二回熊本県学校対抗教職員大会（36年11月23日、済々黌高）

▽一回戦

花陵中 6（3―1、3―4）5 藤岡中

▽二回戦

玉名農高 7（5―0、2―0）0 熊本市商高

京陵中 7（7―0、0―1）1 菊池農蚕高

花陵中 6（1―4、5―1）5 済々黌高

大津中 6（3―3、3―1）4 益城中

▽準決勝

玉名農高 14（5―3、9―2）5 京陵中

大津中 7（4―1、1―4、2―1）6 花陵中

▽決勝

玉名農高 16（10―5、6―4）9 大津中

▽…第二回熊本県高校室内大会（36年12月3日、済々黌高）

▽男子一回戦

熊本市商 16（7―3、9―3）6 九州学院

済々黌 13（7―5、6―2）7 熊本

熊本商大付 22（6―11、12―7、4―2）20 熊本商

天草 21（12―1、9―2）3 君ヶ渕電波

▽準決勝

済々黌 11（8―7、3―1）8 熊本商大付

熊本市商 12（8―2、4―4）6 天草

▽決勝

熊本市商 7（4―4、3―2）6 済々黌

▽女子一回戦

熊本市立 12（6―3、6―3）6 尚絅

▽準決勝

菊池農蚕 17（8―2、9―0）2 信愛女学院

水俣 7（5―2、2―4）6 熊本市立

▽決勝

菊池農蚕 12（5―3、7―4）7 水俣

済々黌OBが優勝

▽…第二回熊本県室内総合選手権大会（1月3―4日、済々黌高）

▽男子一回戦

熊本市商OB 16（10―2、6―1）3 熊本学園クラブ

水俣高クラブ 6（3―3、3―2）5 熊本市教職員クラブ

九州学院 7（4―3、3―4）7 天草高B（抽選勝ち）

日産自動車 16（11―3、5―3）6 君ヶ浜電波高

熊丘会 5（0―0、5―1）1 全熊本商高

済々黌高A 12（7―3、5―2）5 水俣市教職員クラブ

全天草 7（3―0、4―0）0 自衛隊健軍

▽二回戦

熊城会 6（3―2、3―3）5 水俣高校ク

九州学院 7（3―0、4―4）4 済々黌高C

日産自動車 12（5―6、7―4）10 熊本高

熊本市商OB 17（6―0、11―4）4 済々黌高B

城北教員クラブ 12（5―1、7―5）6 熊丘会

済々黌高A 9（5―3、4―3）6 天草高A

済々黌OB 15（9―0、6―0）0 全天草

熊本市商 12（7―1、5―4）5 熊本商

▽準々決勝

熊城会 12（9―2、3―4）6 九州学院

熊本市商OB 16（9―1、7―4）5 日産自動車

城北教員クラブ 6（1―3、5―3）6 済々黌高A（抽選勝ち）

済々黌OB 19（7―5、12―6）11 熊本市商

▽準決勝

熊城会 16（10―5、6―8）13 熊本市商OB

済々黌OB 19（7―5、12―6）11 城北教員クラブ

▽決勝

済々黌OB 12（8―4、4―7）11 熊城会

▽女子一回戦

菊池農蚕高 10（4―1、6―1）2 熊本市高

水俣高 7（4―2、3―2）4 尚絅高

▽準決勝

大洋デパート 17（11―5、6―4）9 菊池農蚕高

熊本商大クラブ 17（7―2、10―0）2 水俣高

▽決勝

大洋デパート 7（3―4、4―2）6 熊本商大クラブ

大阪では高津ク

▽…大阪府総合選手権大会（36年12月10日、17日、三国丘高）

▽決勝

高津ク 19（11―8、8―7）15 大阪ク

メンバー次のとおり

〔高津〕		〔大阪〕
辻本（大阪府大）	GK	鷹見（芝浦工大OB）
石崎（京大） 田中（阪大）	FB	八田（関学OB） 望月（日体大OB）
鈴木（高津高） 高田（大阪府大） 服部（関学）	HB	安部（関学） 山本（日体大OB） 東（日体大OB）
西原（慶大） 松倉（高津高） 中江（同志社大） 浅野（京大） 林（大阪歯大）	FW	丸岡（日体大OB） 大橋（佐野工高） 村中（関学OB） 荘林（神戸大） 井上（日体大OB）
	交代	村田（日体大OB）

同志社大が初優勝、

▽第六回京都室内選手権大会は1月15日、21日の二日間、同志社大学体育館で行なわれた。男子は同志社大が初優勝、女子は京都女高OGが6連勝した。

▽男子一回戦

同志社大 28（13―5、15―1）6 桃山クラブ

立命大 27（11―7、16―8）15 西京クラブ

全同大 16（9―6、7―7）13 教員クラブ

▽準々決勝

同志社大 34（20―1、14―8）9 京都市役所

洛東クラブ 24（7―2、17―5）7 大谷クラブ

立命大 7（4―0、3―0）0 平安クラブ

全同大 16（8―6、8―7）13 伏見クラブ

▽準決勝

同志社大 21（10―5、11―6）11 洛東クラブ

全同大 14（8―5、6―6）11 立命大

▽決勝

同志社大 17（7―2、10―6）8 全同大

▽女子一回戦

京都女高OG 18（10―0、8―0）0 京藤クラブ

明徳クラブ 12（6―4、6―4）8 KGS

▽決勝

京都女高OG 9（5―4、4―0）4 明徳クラブ

操山、天城高に辛勝

▽第十七回岡山県高校新人大会（1月20日、21日、井原高、精研高）

▽男子一回戦

倉敷工 12（4―0、8―1）1 関西

岡山工 7（3―1、4―1）2 勝間田

津山商 5（3―2、2―1）3 青陵

倉敷商 10（4―3、6―1）4 玉野

▽準々決勝

操山 8（2―0、6―1）1 倉敷工

岡山工 6（2―4、4―1）5 矢掛

津山工 8（4―2、4―2）4 津山高

天城 7（2―3、5―2）5 倉敷商

▽準決勝

操山 12（6―1、6―0）1 岡山工

天城 6（5―1、1―2）3 津山工

▽三位決定戦

津山工 10（2―1、8―1）2 岡山工

▽決勝

操山 6（1―1、2―2、延長 1―1、2―1）5 天城

▽女子リーグ
青陵 2(2-0 0-1)1 津山
井原 9(4-0 5-1)1 青陵
井原 不戦勝 津山
(順位) 1 井原 2 青陵 3 津山

話題のチーム⑨ 丸紅飯田(大阪)の巻



▽…近畿地方でたったひとつの男子実業団チーム、とにかくおもしろい存在のチームだ。プロ野球、大相撲のように一人の選手に対して「〇〇選手後援会」がある。会員はいずれも同じ職場の女性。試合があると彼女らはパン、寿司、まんじゅうなどをせっせと運び、「しっかりやってね」と女性同士で張り合う。彼女らはいまや猛烈なハンドボールファン。「あんたのシュートはコントロールがないのね」となかなか手きびしい。(ハンドボール—恋愛—結婚となるかどうかは聞きもらした)(注＝寝屋川高(女)出身者が三人いるとか)。

▽…部員十八人、チームができたのは昨年六月。まだ〃ゼロ歳〃である。松本君(熊本高—慶大)が三十四年に入社した当時は二、三人の同好者がいただけ。昨年四月に矢島君(群馬県富岡高—東大)ら六人が入社したのでチームづくりにふみ切った。いまは慶大4、神戸大3、東大2、関学1が主力、練習は夏だけ。ヒマをみて高校チームと練習試合をやっている。

▽…「人びとの善意に包まれているチーム」でもある。スパイクは運動具店の好意で三カ月月賦、ユニホームは高くて頭を悩ましていたが、井狩君(三国丘高—慶大)のお父さん(大丸百貨店副社長)がこの話を聞いて寄付してくれた。ユニホームのお蔭でやっと一人前のチームになった。四月から予算がもらえるようになり、それまではすべて自費だった。会社の先輩がポケットマネーを出してくれたり、村田先生(三国丘高)、中出先生(寝屋川高)、光島先生(八尾高)らが指導してくれた。

▽…松本、井狩、矢島の三君はいう。「四月の新入社員が待ち遠しい。社内回覧で彼らの趣味の欄を見るのが楽しみです。ハンドボールと書いてあるかどうかを見るのです。ことしは何人いるかな。そうして早く強くなりたい。大崎電気のように。また彼女らのために……」。

▽愛媛県東伊予地区高校新人大会(1月15日、新居浜工高)
▽男子一回戦
今治工 12(9-0 3-0)0 今治南
▽準決勝
新居浜東 9(5-3 4-5)8 今治工
新居浜工 15(7-3 8-1)4 今治西
▽決勝
新居浜工 15(8-0 7-5)5 新居浜東
▽女子リーグ
新居浜東 9(4-1 5-0)1 新居浜西
新居浜東 5(0-1 5-1)2 今治西
今治西 3(2-0 1-0)0 新居浜西
(順位) 1 新居浜東 2 今治西 3 新居浜西

▽…福井市中体連主催第一回福井市中学校七人制選手権大会(2月3日、福井市体育館)
▽男子一回戦
明倫 14-12 進明
明道 10-9 成和
▽男子決勝
明倫 5-4 明道
▽女子リーグ戦
成和 3-2 進明
成和 22-1 明倫
進明 11-0 明倫
(順位)
1 成和 2勝
2 進明 1勝1敗
3 明倫 0勝2敗

東海学生では中京大

▽…第五回東海学生室内選手権大会は1月14、15の二日間、愛知県岡崎市の愛知学芸大学で行なわれ、中京大が三年連続優勝した。

(Aグループ)
中京大 25-3 名工大
岐阜大 16-7 名工大
中京大 31-11 静岡大
岐阜大 19-8 静岡大
中京大 27-10 岐阜大
静岡大 16-6 名工大

(Bグループ)
名大 13-8 愛知学大
三重大 23-8 県三重大
名大 14-7 県三重大
愛知学大 22-12 三重大
愛知学大 19-4 県三重大
名大 22-6 三重大

(三位決定戦)
岐阜大 10(3-5 7-2)7 愛知学芸大

(優勝戦)
中京大 35(19-1 16-6)7 名大

この結果中京大学は二年連続、東海学生の3大タイトル(春秋11人制および室内)を独占した。

早大が優勝
＝三大学室内が復活＝

復活第一回早・慶・明三大学室内大会は12月9日東京の早大記念会堂で行なわれ、早大が2勝をあげて優勝した。この大会は昭和31年11月に明大体育館で行なわれていらい五年ぶりの復活。このときは法大が特別参加したが、昨年から三大学による定期戦として新発足した。

早大 20(12-7 8-7)14 慶大
慶大 18(10-3 8-7)10 明大
早大 26(14-8 12-14)22 明大
(順位) ①早大 ②慶大 ③明大

二つの定期戦(11人制)結果

▽…第15回慶明定期戦(東京小石川)
慶大 11(4-5 7-5)10 明大
対戦成績 明大の8勝7敗
▽第1回関大・中京大定期戦(名古屋)

関西大 21（9―6 7―10 2―2 3―3 引分）21 中京大

▽…**第三回三重県総合7人制選手権大会**は1月14日津市で行なわれた。男子は鵜の森クラブ、女子は大安クラブが優勝した。なおこの大会で実業団部門（別掲）が設けられた。

▽一般男子準決勝
鵜の森ク　棄　権　四商OB
大安ク　21―2　TIM

▽同決勝
鵜の森ク 21（10―2 11―3）5 大安ク

▽女子準決勝
上野高　15―1　四日市商
大安ク　22―1　津女子高

▽同決勝
大安ク　22―3　上野高

▽高校男子決勝
四日市工　26―12　四日市商

かがり火ク優勝

▽…**第四回岐阜県総合室内選手権大会**（1月21日、大垣スポーツセンター）

▽男子準決勝
かがり火ク　8―7　白梅ク
全大垣農高　13―4　岐山高

▽同決勝
かがり火クラブ 12（7―5 5―3）8 全大垣農高

▽女子準決勝
加納高　7―5　大平洋工業
大垣南高　4―2　大垣北高

▽同決勝
大垣南高 8（6―2 2―1）3 加納高

高校勢が上位独占

▽…**第一回金沢市室内総合選手権大会**（1月28日、金沢市野田中体育館）

▽準決勝
金市工高A　13―5　金沢商高A
県立工高A　15―10　金沢商高B

▽決勝
金沢市立工高A 18（10―8 8―7）15 県立工高A

愛知紡績強し

▽…**愛知県室内選手権大会**は2月4、11の両日名古屋金山体育館で開かれた。一般男子二回戦でここ数年間、東海地区で不敗を誇っていた桜丘会が中京大に11―9で敗れる波乱があった。中京大が桜丘会に勝ったのは初めて。

▽一般男子準々決勝
中京ク　19―15　新三菱重工
一宮ク　16―4　中京教員ク
愛商ク　11―10　名大ク
中京大　22―5　上野町公民館

▽同準決勝
一宮ク　15―13　中京ク
中京大　24―9　愛商ク

▽同決勝
中京大 21（13―4 8―11）15 一宮ク

▽一般女子決勝リーグ
全半田高 26（14―2 12―0）2 中京大
愛知紡 25（13―1 12―3）4 中京大
愛知紡 15（6―3 9―5）8 全半田高
（順位）①愛知紡②全半田高③中京大

新潟県協会が誕生

地方球界の動き

▽…昨年十二月五日に新潟県ハンドボール協会が正式に日本ハンドボール協会に加盟した。1964年（昭和39年）の国体は新潟県下で開かれるのに、それまで新潟にはハンドボール協会がなく、ハンドボールの普及率も〃0〃にひとしかった。新潟国体のハンドボール会場は柏崎市に内定しており、地元柏崎市の関係者は一日も早く協会を設立しようと努力してきた。会長は近藤祿郎氏（柏崎市体育協会長、新潟県議）、理事長は渡辺五郎兵衛氏（柏崎市で旅館を経営、柏崎市ハンドボール協会理事長）でことしの一月から本格的に仕事を始めた。

▽…新潟県は雪国であり、インドアスポーツとしてバスケットボール、バレーボールが盛んである。むかしはバスケットボールが強く、〃新潟王国〃とさえいわれたほどである。このバスケットボールの普及している新潟県に、ハンドボールが食い込もうとするのだから関係者の努力は大変である。新潟県協会の渡辺理事長は昨年十二月の第八回全日本室内総合選手権のとき上京した。「ハンドボールはズブのしろうとですので勉強のため上京しました。柏崎市の市民はハンドボールを知らないのでこれから大いにPRしなければならない。その手はじめに夏の合宿を柏崎でやってもらうようにお願いしたい。また第九回全日本室内総合選手権を柏崎市で開催したいと日本ハンドボール協会に申し入れました」となかなかの張り切りかたである。

▽…すでにチームづくりにとりかかり、五月までには高校チームが5ないし6チームできる見通しだ。新潟県協会は中学三年、高校一年の選手を新潟国体の選手にする構想で、まず7人制でスタートする。それにはハンドボールの指導者がほしいといっている。戦前の日独対抗に出場した日体大の山田（現在柏崎市常盤高校勤務）、布川（現在高田市高田高校勤務）がいるが。既成スポーツに押されてハンドボールには手が出ない状況である。四月の新学期になれば〃新潟国体〃を旗じるしに県当局がハンドボール育成に乗り出すことになっている。

▽**渡辺理事長の話**　三十九年に国体があるのにハンドボール、ボクシング、ホッケー、ボート、重量あげ、馬術の協会がなかった。柏崎市でハンドボールをやるというので、とにかく協会を設立しなければどうにもならない。それで有志が集ってようやくできた。合宿にはぜひ柏崎へきていただきたい。ゴールポストもあり体育館もある。PRのため各チームの協力をお願いしたい。（連絡先　柏崎市本町五丁目旅館佐渡五＝責任者渡辺五郎兵衛、電話柏崎２３２５）

準備活発な高山市

▽…昭和四十年の第二十回国体開催地に決まった岐阜県高山市のハンドボール熱も担当なものである。

昨年十二月十六日に高山市ハンドボール協会が生まれた。これを契機として全市をあげてハンドボールの普及に乗り出しており、その成果が大いに注目されている。

高山市のある飛弾地方は従来からスキーと山岳（登山）以外のスポーツはあまりふるわなかった。柏崎市の場合とは趣きを異にしているが、それだけにこの地区にとって〃新しい〃スポーツであるハンドボールに対する熱意は高い。

▽…岐阜日日新聞（2月1日付け）によれば「市内各中学校ではだいたい全生徒がルールをおぼえてしまった。最近の体育の時間は男女とも雪一色のグラウンドに出て元気な練習ぶり。市立南小学校のグラウンド整備も雪どけとともに始まるはずで、市民の間に〃国体ムード〃が盛りあがって来た」とある。「国体のハンドボールを引き受けたからには立派にやろう」という高山市の努力と熱意は立派。市をあげての異色チームが、中央に登場するのもそう遠い日ではあるまい。

大分県協会も発足

▽…大分県協会は2月4日正式に発足、会長に松井慶重氏、理事長に疋田忠氏を選出した。また昭和四十一年の第二十一回国体（大分県）のハンドボール会場は中津市に内定している。

▽高校男子決勝

桜台高 13（5—8、8—4）12 東海高

▽…**第一回愛知県実業団室内選手権大会**は12月3日、名古屋市の松蔭高で行なわれた。参加を予定されたNHK名古屋と名古屋市役所が準備が整わなかったため、昨年同様、東洋レーヨンと新三菱重工の決勝となり、練習量にまさる新三菱重工が二連勝した。

▽一回戦

新三菱重工 30—3 東洋レB

▽決勝

新三菱重工 22（12—1、10—3）4 東洋レーヨンA

▽…**第一回三重県実業団選手権大会**（七人制）は1月14日、三重県総合の一部門として津女子高コートで、東芝三重と本田技研鈴鹿の両チームの間で行なわれ、東芝三重が15—14で優勝した。

男女とも徳山高

▽…**国体選手強化高校招待大会**は広島県の修道高(男子)、呉三津田高（女子）を迎えて2月4日正午から山口県徳山市の徳山高、徳山小学校の二カ所で行なわれ、男女とも徳山高が勝った。

▽男子一回戦

徳山高 10（3—3、7—2）5 修道高

▽男子二回戦

徳山高 13（8—3、5—3）6 修道高

▽女子一回戦

徳山高 15（8—1、7—1）2 呉三津田

▽女子二回戦

徳山高 16（7—0、9—1）1 呉三津田

男子は北部ク

▽…**福岡県室内選手権大会**（4日小倉体育館）

(男子一回戦)

北部ハンドボールクラブ 8—5 香椎高OB

「高校男子」

▽一回戦

博多工 23—6 八幡工

香椎 11—7 小倉西

西南学院 12—2 田川中央

小倉工 18—1 南筑

▽準決勝

博多工 13—9 香椎

小倉工 16—6 西南学院

▽決勝

博多工 12—8 小倉工

″大崎電気表彰″

読売新聞社好例の日本スポーツ賞ハンドボール部門の36年度の受賞者は、東京の大崎電気工業（男子）に決まり一月末表彰された。

▽男子準々決勝

北部ハンドボールクラブ 16—12 小倉工高OB

岡野バルブ 15—6 博多工高OB

自衛隊幹候校 21—4 六本松クラブ

宗像高クラブ 12—5 自衛隊第四特科連隊

▽男子準決勝

北部ハンドボールクラブ 13—6 岡野バルブ

宗像クラブ 13—9 自衛隊幹候校

▽男子決勝

北部ハンドボールクラブ 13—5 宗像高クラブ

岐阜、高校優秀選手を表彰

岐阜県協会は一月、高校優秀選手を選出し、賞状とトロフィーを贈った。

▽男子 赤堀努(岐阜商)、衣斐基夫(加納高)、川瀬芳郎(大垣郎)、国枝宏一郎(大垣南)、尾藤昊(加納高)、堀部正勝（岐山高)、渡辺千里(加納高)。

▽女子 赤塚たづ子(大垣南)、田中喜久子(大垣南)、高橋美智子(大垣南)、原幸子(加納高)、林治子(大垣南)、尾藤峰子（加納高)。

北農クに初栄冠

▽…**第一回長野県総合室内選手権大会**（2月3、4日小諸商高）

▽男子一回戦

上田高 25—10 上田クラブ

▽男子二回戦

屋代東高 10—9 上田高

北農クラブ 不戦勝 信州大

鳩丘クラブ 7—6 北農高

小諸商高クラブ 10—6 坂城クラブ

▽男子準決勝

北農クラブ 15—5 屋代東高

小諸商高クラブ 5—2 鳩丘クラブ

▽男子決勝

北農クラブ 18—8 小諸商高クラブ

▽女子一回戦

北農高 8—5 小諸商高

▽女子決勝

北農高 7—4 上田城南高

▽…**大阪府高校新人大会**（2月25日、大阪府立体育会館）

▽男子準決勝

三国丘 16—5 佐野工

寝屋川 7—5 天王寺

▽男子決勝

三国丘 17—11 寝屋川

▽女子準決勝

梅花 7—4 布施女

寝屋川 10—3 大谷

▽女子決勝

寝屋川 9—2 梅花

▽**大阪府室内総合選手権大会**（2月24、25日、大阪府立体育館）

▽男子準々決勝

佐野工ク 18—12 春日丘ク

高津ク 16—9 鳳クラブ

全関大 10—7 宗形製作

豊陵会 30—3 泉大津ク

▽男子準決勝

高津ク 12—5 佐野工ク

豊陵会 19—14 全関大

▽男子決勝

豊陵会 13—11 高津ク

関西学連の就職先

▽**同志社大** 今藤恵三(日興証券)、中江義雄(朝日新聞大阪本社)、河内山紀雄(伊藤忠運輸)、石橋茂二(大阪窯業)、林佳弘(安田生命=東京)

▽**関大** 高村武彦（名古屋で家事の高末急送に従事)、三木隆夫(日本郵船)、柏木辰郎(家事)、日留田信之(家事)、熊本孝之(未定)

▽**関学** 香山肇(阪急百貨店)、仲田俊夫(東京中央卸売市場)、山麿豊(安田生命=東京)、安部誠司(朝日生命=東京)、服部勝一(家事の五十嵐電機に従事)、山田茂士(東京プレス工業)

▽**神戸大** 根岸健太郎(日興証券)、上谷善彦(教員)

▽**京大** 金光千尋(帝国人絹)、奥田良胤(NHK)、川野晴雄(京大大学院)、佐竹宏文(京大大学院)、津田実(日商)

▽**甲南大** 山本拓郎(家事)、小倉和彦（塩野香料KK)、弓削慶裕(同和火災)

▽**大阪府大** 辻本陽之助(味の素)、薗都雄(伊藤忠商事)、小菅暲一(富士製鉄)

新役員きまる

▽**関西学生連盟** 委員長村田陽之(関学)、副委員長林宏幸(桃山大)、同前川俊博(立命大)、会計増田昌弘(同志社)、庶務村中滋(京大)

▽**桃山学院大** 部長馬場太郎（日体大出)(監督を兼任)、主将北垣義明(明石高)、副将岩津行(桜塚高)、マネージャー林宏幸(桃山大)

▽**芝浦工大新役員** 部長三浦元秀、監督高嶋冽、コーチ(主)中沢重夫、コーチ近藤金博、主将北村尚奕、副将久保勉、主務長谷川吉延、副主務山根徹雄、三浦敏彦

投書欄

チームワークが大事

ことしまた海外遠征があるとのこと、新聞で知りました。マイナースポーツといわれるハンドボールが女子世界選手権、男子チームの欧州遠征、高校選抜チームの韓国遠征は立派です。こんなことはいままでになかったことです。行くからには日本最強チームを編成することです。芝浦工大、大崎電気のピックアップチームがいちばんいいのではないでしょうか。昨年の遠征は日体大、関大、関学の選手が加わりましたが、うまくいかなかったとか聞いています。遠征するからにはチームワークがいちばん大事です。それを念頭において最強チームを編成し、よい成績をあげてください。（愛知、山崎静夫）

日本チームが海外遠征するにはチームワークが大切です。ほんとうにハンドボールを愛する優秀な選手だけで編成してください。（東京都中野区、梨木道子）

先号の時評に一言

本誌第8号の時評〝奪起せよ大学ＯＢ連〟に一言したい。

文中の時評子の言い分は、大学ＯＢの任務（？）は実業団チームの結成のみにあるかのようである。

これは、いささか極言であり、ましてや素人に恥ずかしくないかに至っては暴言である。なるほど、ハンドボールに無縁の人たちが、この競技の良さを知ってくださって熱を入れてくれるということはすばらしい。

しかしだからといってハンドボール部の各大学ＯＢが大学を卒業して会社にはいってから、すぐハンドボールチームを結成できると時評子はまじめに考えておられるのだろうか。

社会人の生活になれて少しの余裕ができなければ、チームを主宰することはむずかしいのが現実である。

もちろん大学を卒業して、会社に部があればどれだけうれしいかわからない。各ＯＢがハンドボールに限りない愛着を感じていることは、いまさらくどくど述べる必要はなかろう。時評子のような考え方があるとすれば、これは全く遺憾にたえない。

全国にいくつかある実業団の大半は、実はそうした大学連ＯＢが苦心して育成したチームであることをも、時評子はご存じないのだろうか。努力はしているのである。その他の大学ＯＢも、後輩の指導やクラブのメンバーとしていまだにその情熱を燃やしているのである。大学ＯＢが素人ほど情熱がないというのは、あまりにもなにかの一断面だけを見ての曲解と私は云いたい。（長野、一ＯＢ）

質問欄

問 昨春の世界選手権（室内）のとき日本の出場した試合における主審名を教えてください。（愛知・月岡生）

答 対チェコ戦はアロニウス氏（スウェーデン）、対ルーマニア戦はクヌトセン氏（デンマーク）でした。

問 戦後、最初の全日本総合選手権大会が行なわれた愛知県の一宮送球場はまだありますか。（東京・村木 等）

答 昨春までは「送球場」の名を残してこの地方の各種スポーツに利用されていました。昨夏陸上競技場に改設され、現在は「一宮陸上競技場」になっています。今年九月の学生東西対抗の開催候補地になっているのは、古いプレーヤーやファンにとってはなつかしいことでしょう。

問 ハンドボールが日本に伝わってから二十五年以上になります。わたしは昔のハンドボールがどのように行なわれてきたか知りたい。本誌に「ハンドボールの歴史」とかいうものを掲載するプランはありませんか。（静岡・渡辺和子）

答 高嶋理事長がかなり古い資料を持っています。なにしろ二十五年前の新聞の切り抜きやら、パンフレット、プログラムがたくさんあるので。いまその整理に追われています。できれば次の第10号から「ハンドボールの歴史」とかいうものを連続掲載してみたいと思っています。

問 高嶋理事長さんが一月に熊本へお出かけになったことを聞きました。本部の方が地方へ行くのはいいことです。四国の方へもきて大いに啓蒙、指導してください。（新居浜・一高校生）

答 できるだけ多く地方へ行って地元の方たちと接するのはいいことです。新居浜には住友化学をはじめ高校チームがたくさんあるのでぜひ行くよう本誌から理事長に伝えておきます。（係より）

編集後記

▽…高松宮妃殿下を囲んでの座談会は、新しいシーズンを迎えるにあたって、実にタイムリーだったと思う。こういう筆者もこの座談会のメンバーだが…。自画自讃で申しわけないが、スポーツ座談会で宮さまをお呼びしたのは画期的なことである。ご感想をおきかせください。

▽…一月に全国の高校、大学、社会人チームにアンケートを出した。この試みも初めてなので心待ちしていた。ところが回収率は6割強、せめて8割ぐらいはほしかった。アンケートの狙いは高校生の新メンバー、協会への注文、7人制－11人制の3点だった。

▽…7人制－11人制は7人制がやや多かった。7人制を支持するもの、11人制を支持するもの、それぞれ長所、欠点をあげていた。これは実に貴重なデーターである。これを機会に協会のとるべき道を示してほしい。

▽…地方の声もなかなか捨てがたいものがある。協会の重要なポストを占める人たちは、これをどうとるか。第三者としては興味を持っている。なんらかの形で出てくると思うので、次号にその反響を掲載してみようと思う。

▽…〝話題のチーム〟は好評を博しています。おもしろいチームがありましたらお知らせください。本誌も徐々にやわらかくなり、読みやすくなりました。すばらしいアイデアがありましたらお願いします。（ふぐ）

日本ハンドボール協会編
ハンドボール　第九号
昭和三十七年三月二十五日印刷
昭和三十七年三月三十一日発行
発行所　東京都千代田区神田駿河台ノ六
日本ハンドボール協会　電話（261）九五一一～五　振替東京八三四八番
編集兼発行人　的場益雄
定価五十五円　（〒）二十円